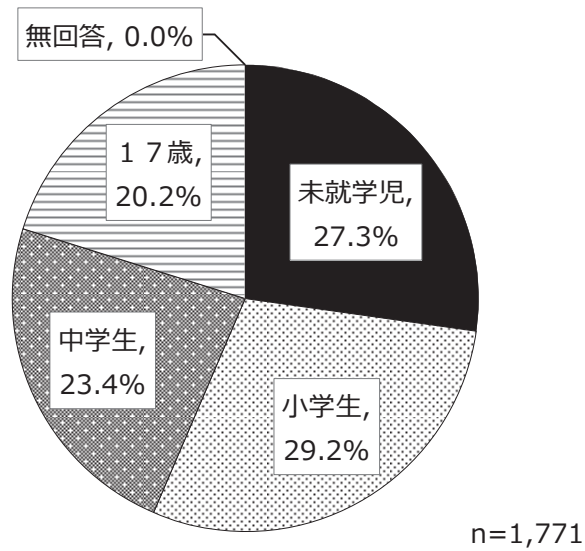


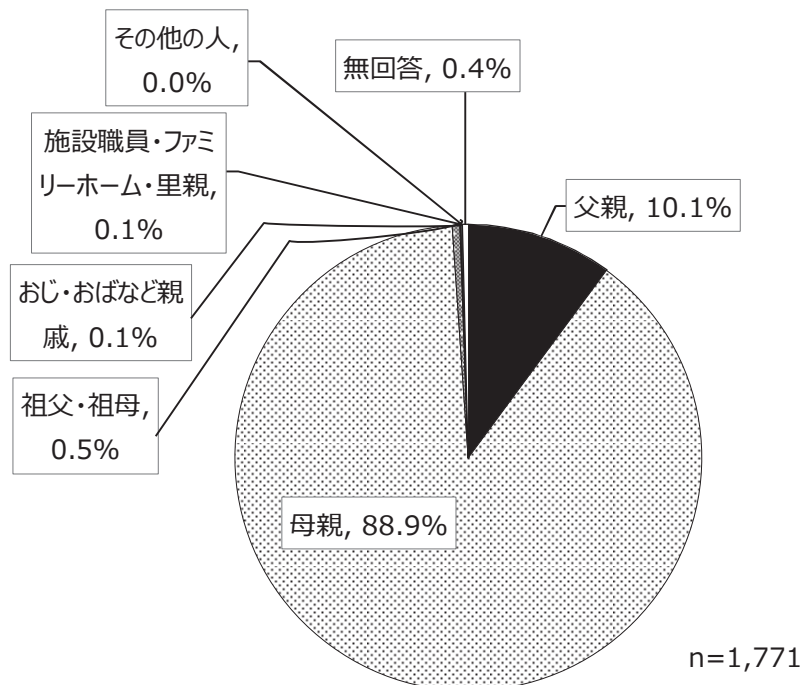
Ⅲ 保護者調査の結果

1 属性

(1) 子どもの属性

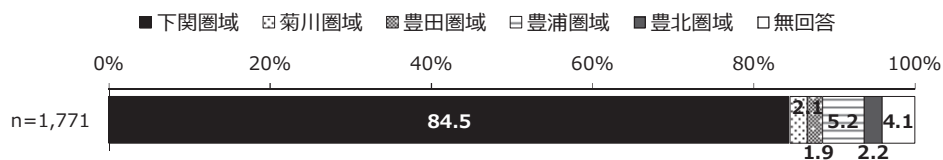
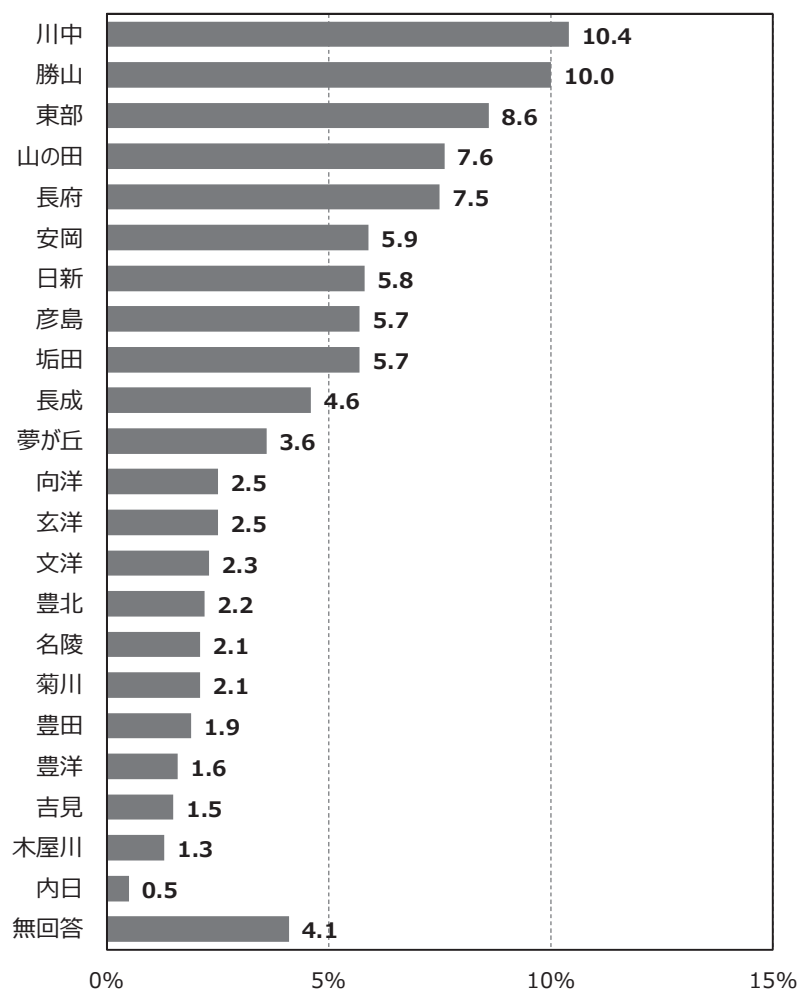


(2) 記入者の続柄



(3) 居住地域

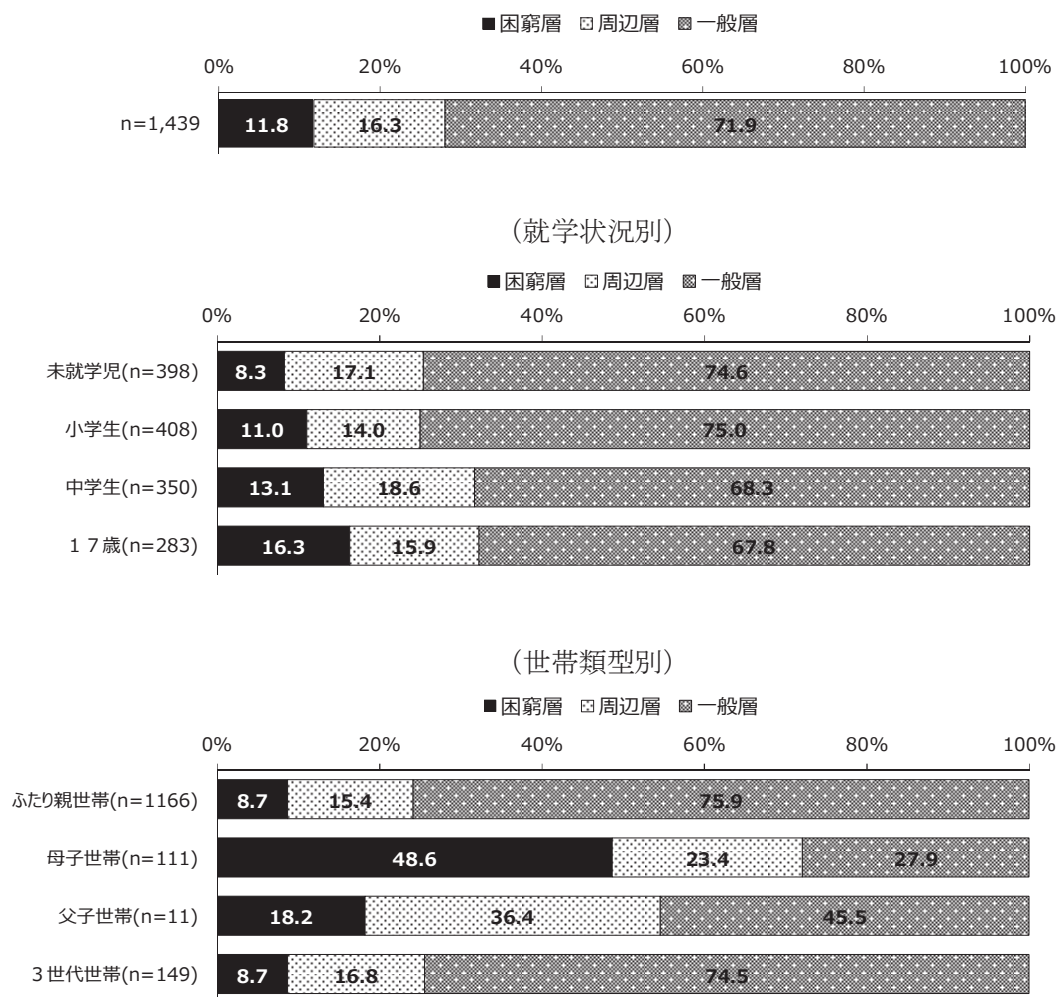
n=1,771



2 生活困難層の状況

生活困難層の分類について、困窮層は11.8%、周辺層は16.3%、一般層は71.9%となっている。
就学状況別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて困窮層の割合も増えている。
世帯類型別にみると、母子世帯で困難層の割合が約5割となっている。

【生活困難層の分類】



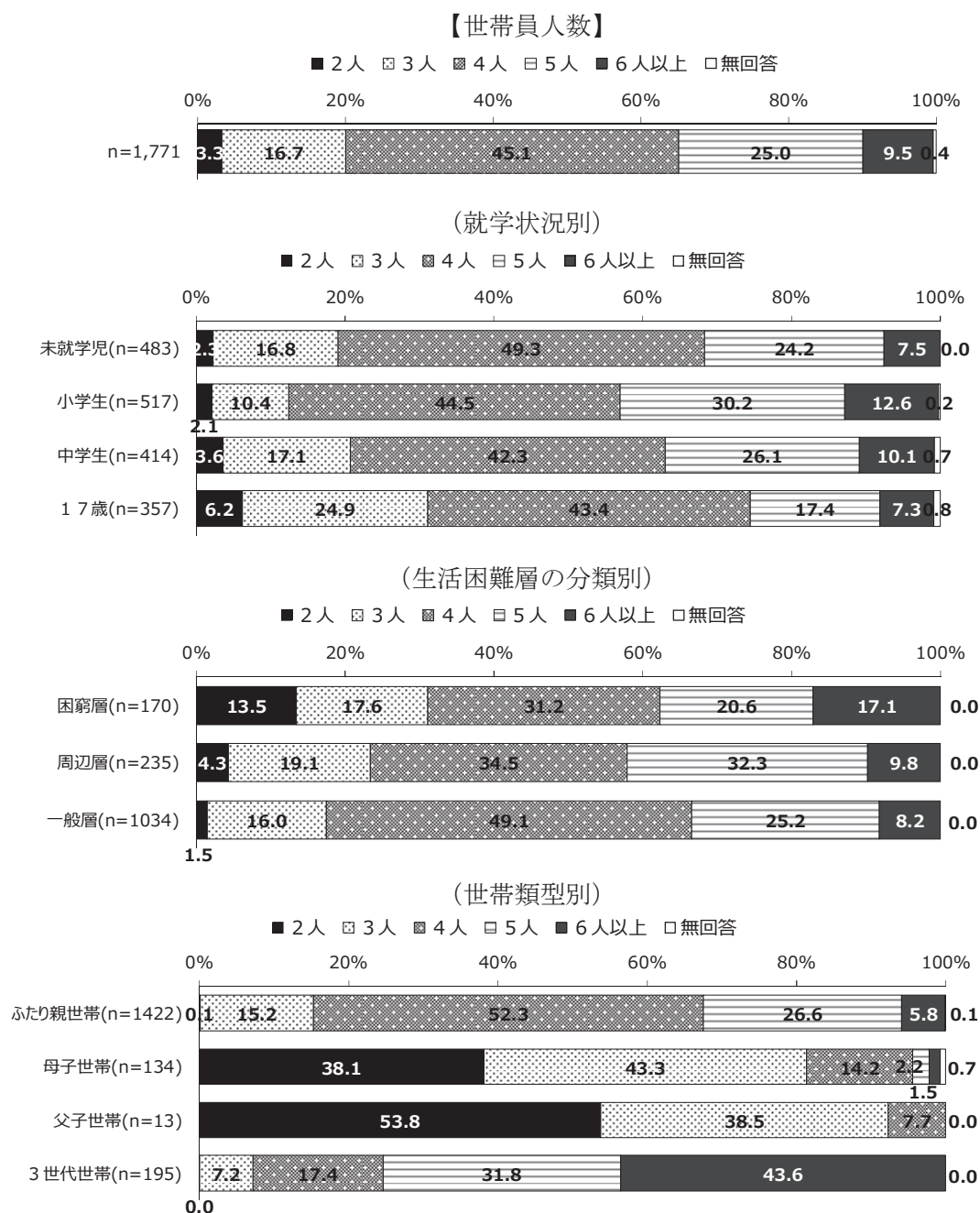
3 世帯の状況

問3（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

（1）世帯員の人数は何人ですか。あなたとお子さんを含めた人数を記入してください。

世帯員人数について、「4人」と回答した割合は45.1%と最も高く、次いで「5人」25.0%となっている。

世帯類型別にみると、「4人」と回答した割合はふたり親世帯が52.3%と最も高く、「3人」と回答した割合は母子世帯が43.3%と最も高く、「6人以上」と回答した割合は3世代世帯が43.6%と最も高くなっている。



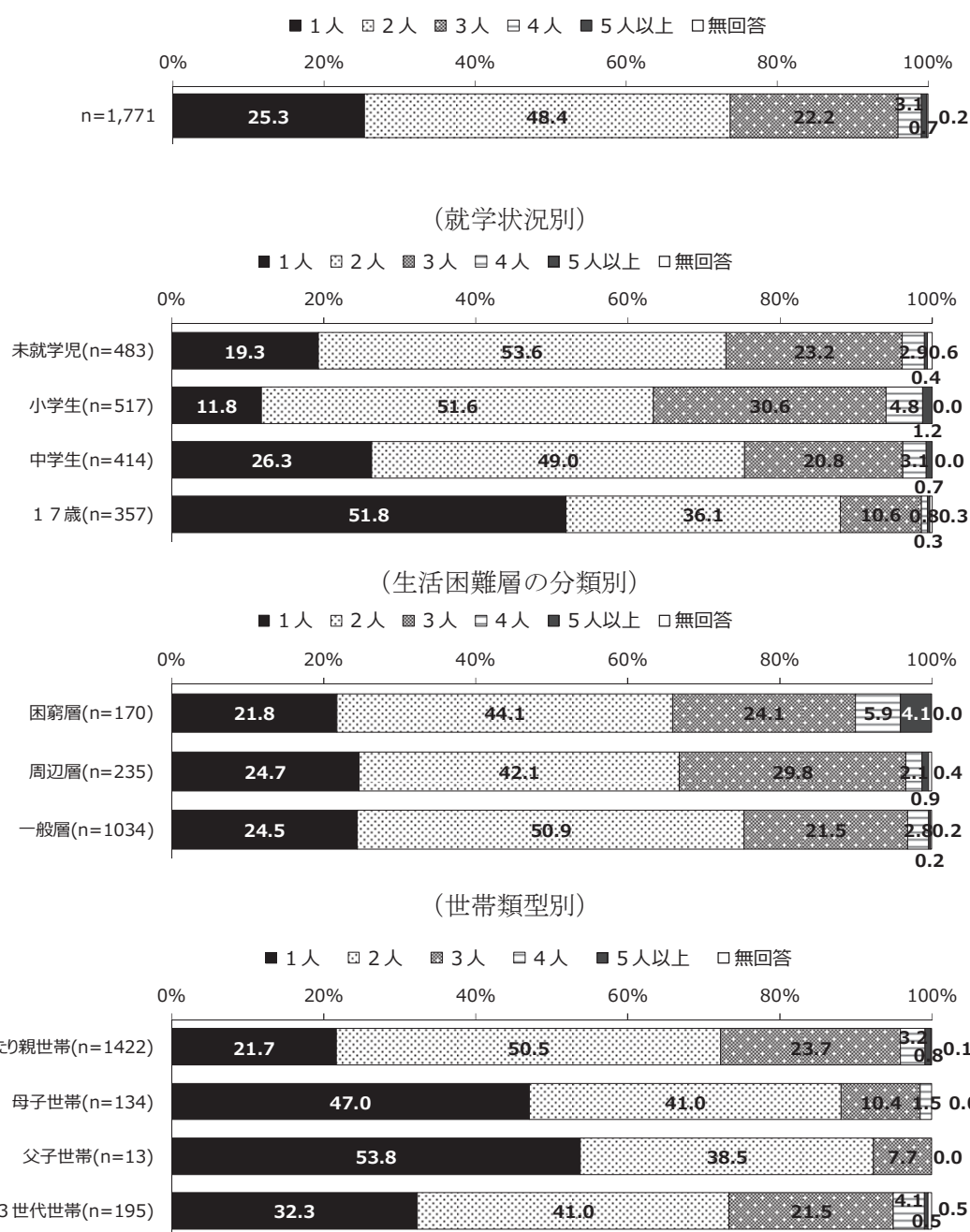
問3（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

（2）世帯員のうち、お子さん（平成30年4月1日現在までに18歳に達する方まで）の人数を記入してください。

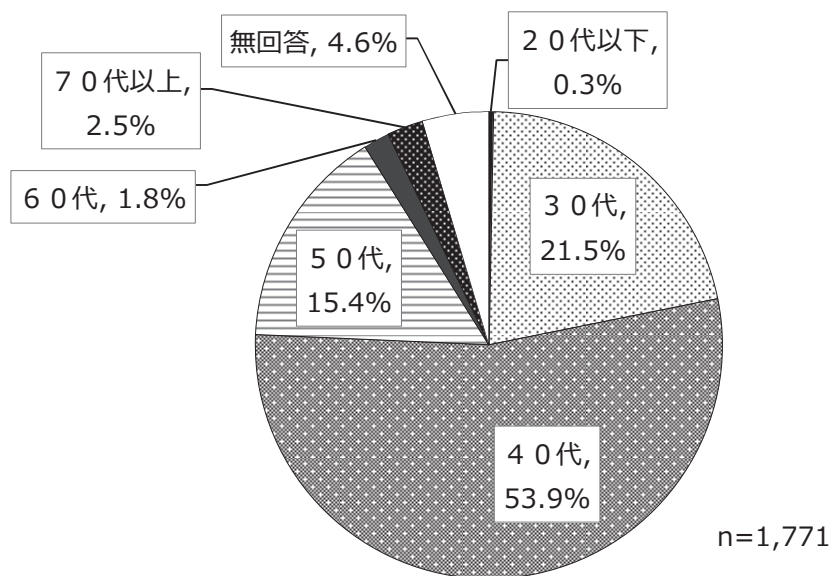
子どもの人数について、「2人」と回答した割合は48.4%と最も高く、次いで「1人」25.3%、「3人」22.2%となっている。

就学状況別にみると、「1人」と回答した割合は17歳で51.8%と半数を超えている。

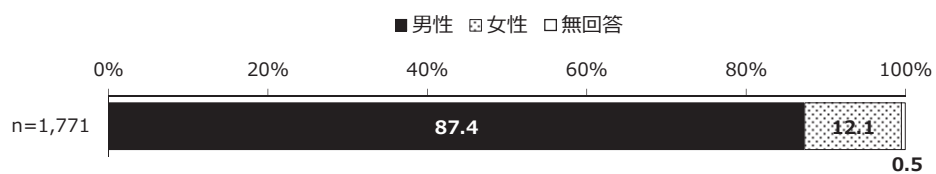
【子どもの人数】



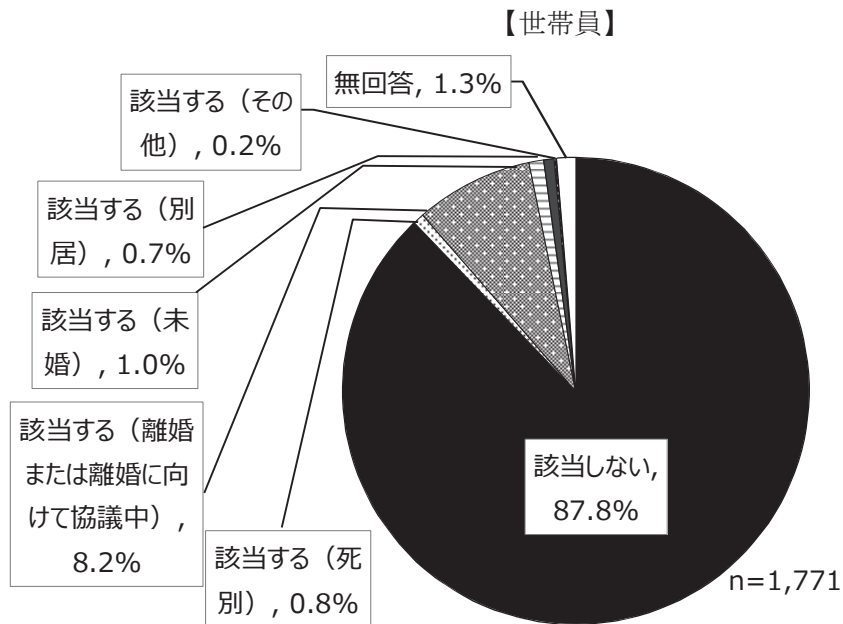
(3) 世帯主の年齢



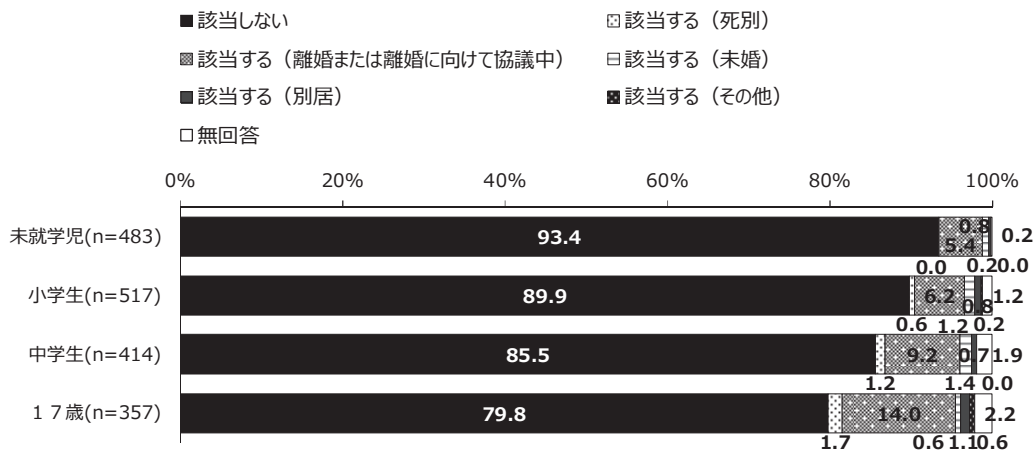
(4) 世帯主の性別



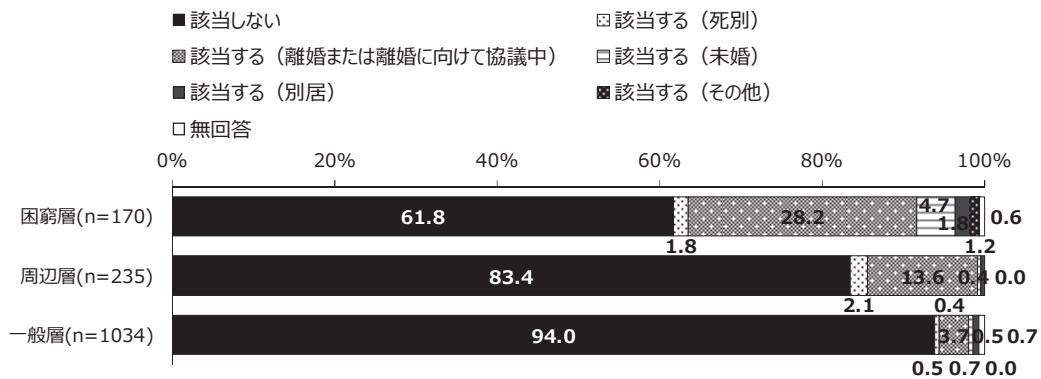
「ひとり親世帯」の割合



（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



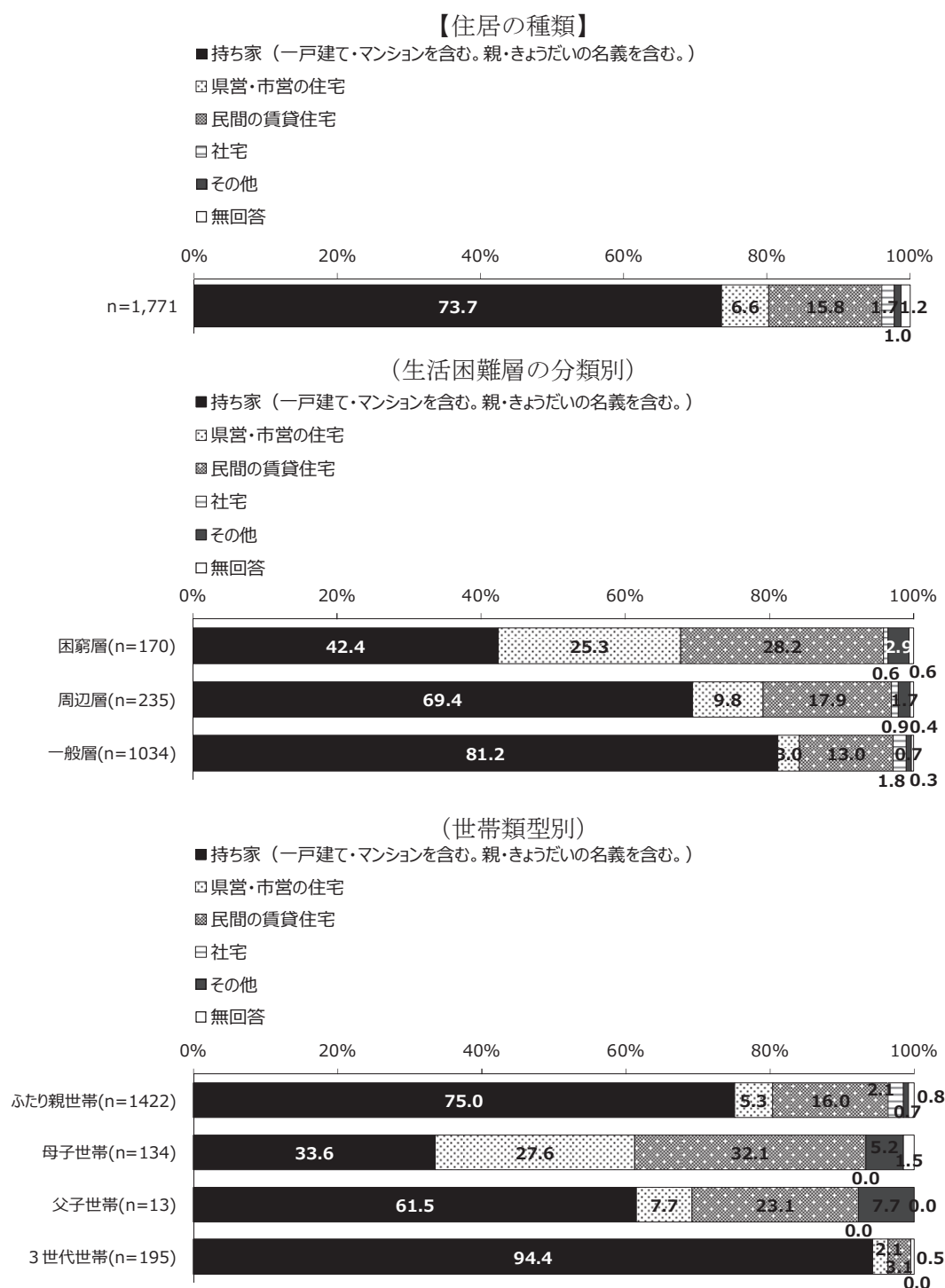
問6（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。また、ひと月あたりの家賃もお答えください。

住居の種類について、「持ち家（一戸建て・マンションを含む。親・きょうだいの名義を含む。）」と回答した割合は73.7%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、「持ち家」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では42.4%となっている。

世帯類型別にみると、母子世帯では「持ち家」と回答した割合は33.6%となっている。



問 6-1 (就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者)

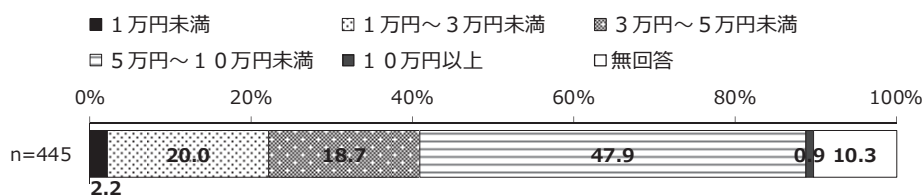
家賃はひと月あたりどのくらいですか。

※回答者は、住居を「県営・市営住宅」、「民間の賃貸住宅」、「社宅」、「その他」と回答した保護者。

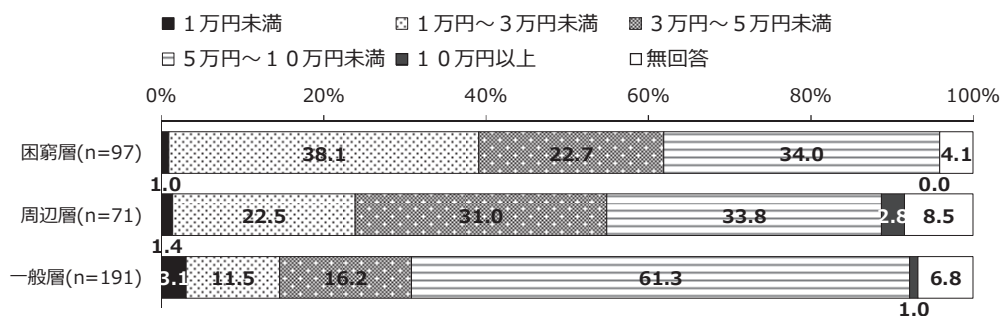
ひと月あたりの家賃について、「5万円～10万円未満」と回答した割合は47.9%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「1万円～3万円未満」、周辺層、一般層では「5万円～10万円未満」と回答した割合が、最も高くなっている。

【ひと月あたりの家賃】



(生活困難層の分類別)



4 子どもの状況

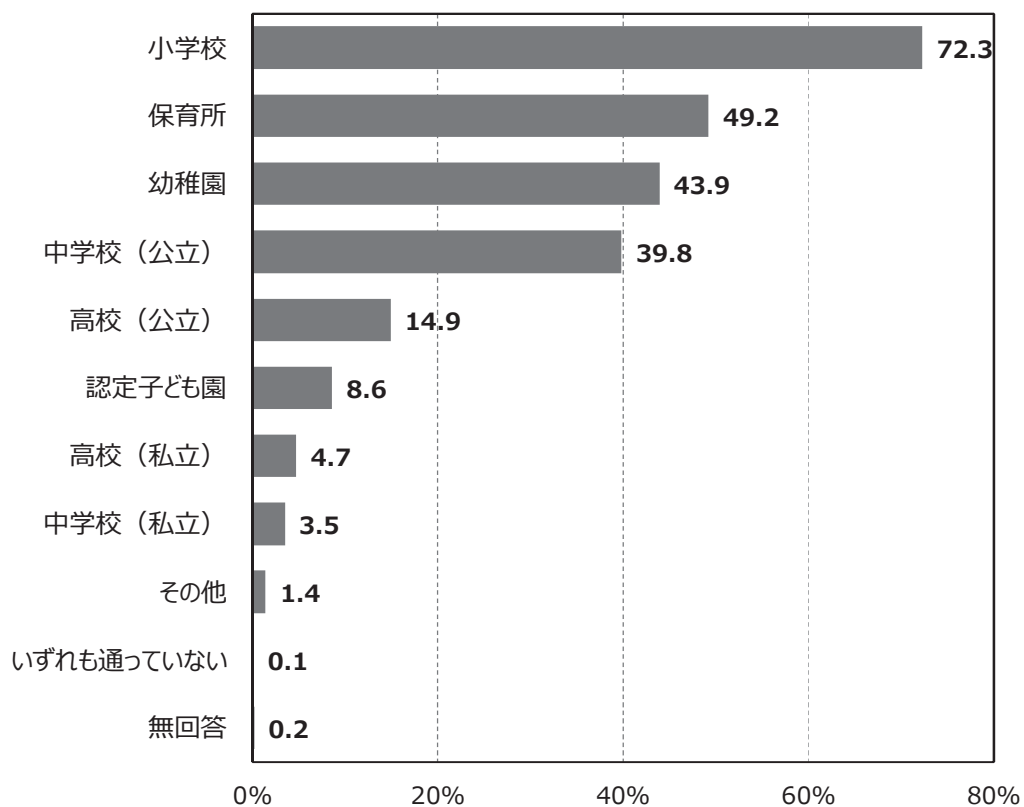
問7（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんが通ったことのある（通ってる）教育機関をお答えください。（複数回答可）

子どもが通ったことのある（通っている）教育機関について、「小学校」と回答した割合は72.3%と最も高く、次いで「保育所」49.2%、「幼稚園」43.9%となっている。

【子どもが通ったことのある教育機関】

n=1,771



問 8（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

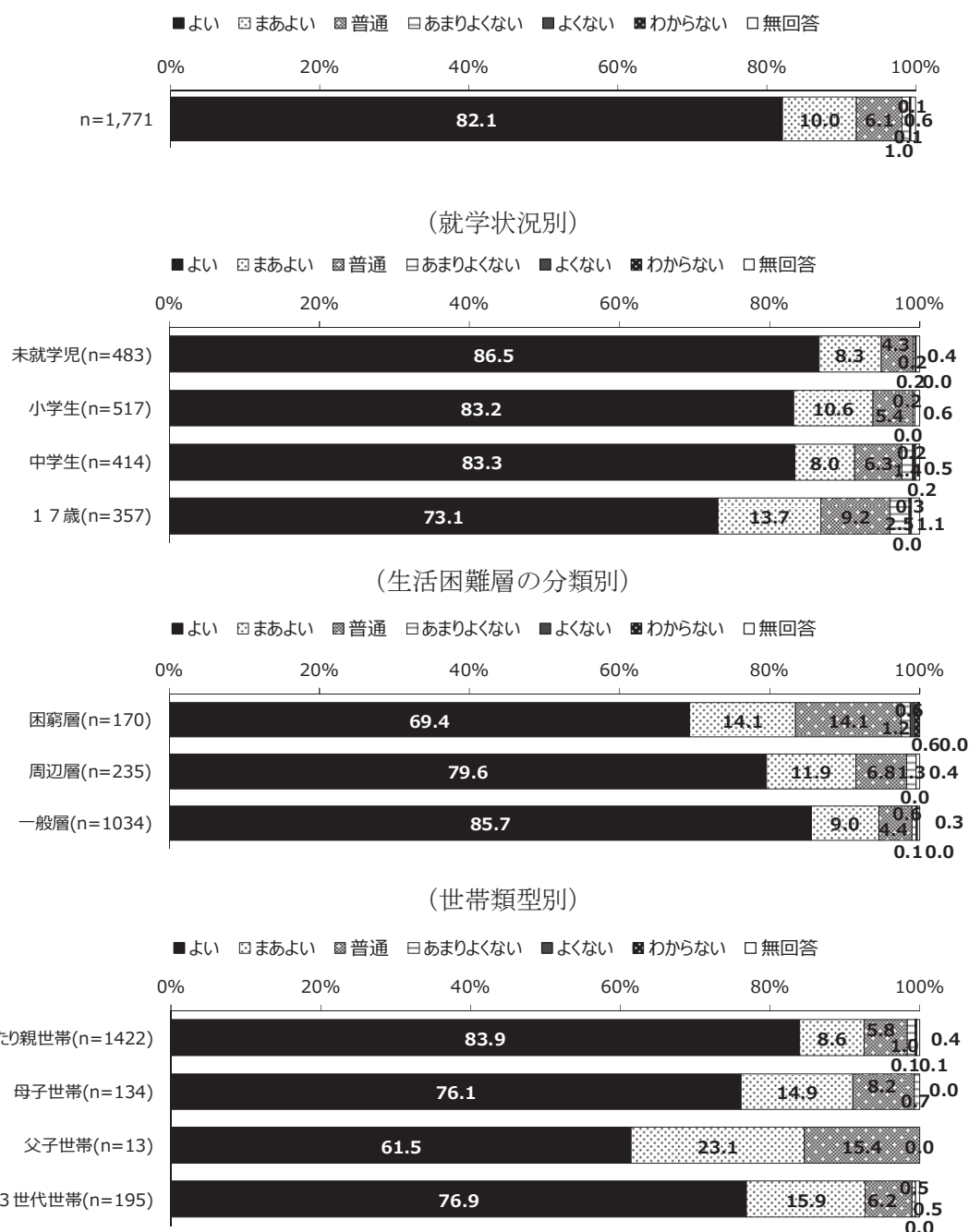
お子さんの現在の健康状態はいかがですか。

子どもの健康状態について、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）と回答した割合は全体の9割を超えている。

就学状況別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて『よい』の割合は低くなっている。

生活困難層の分類別にみると、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では83.5%となっている。

【お子さんの健康状態】

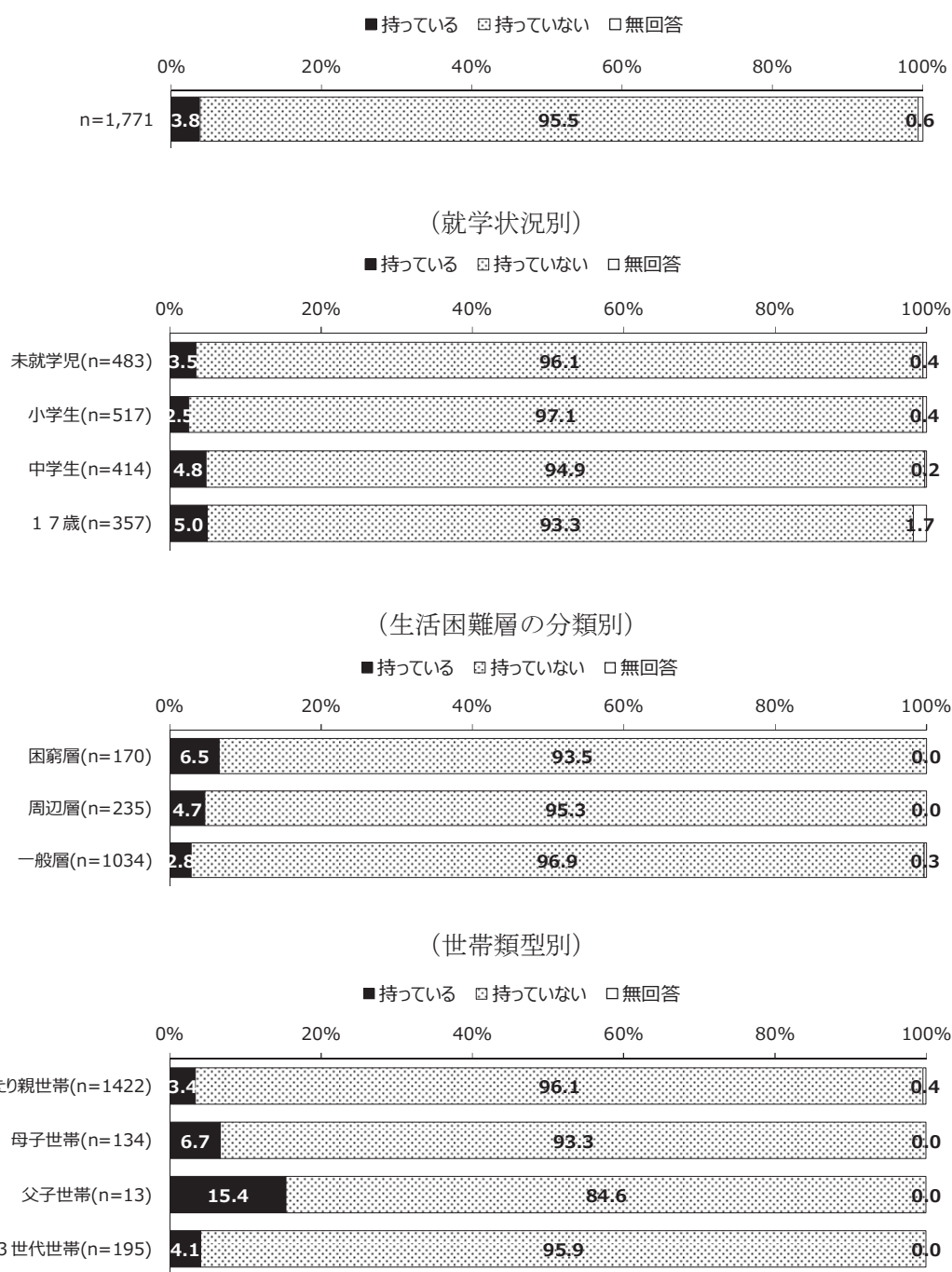


問9（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

子どもの障害者手帳の有無について、「持っていない」と回答した割合は全体で95%を超えている。

【子どもの障害者手帳の有無】

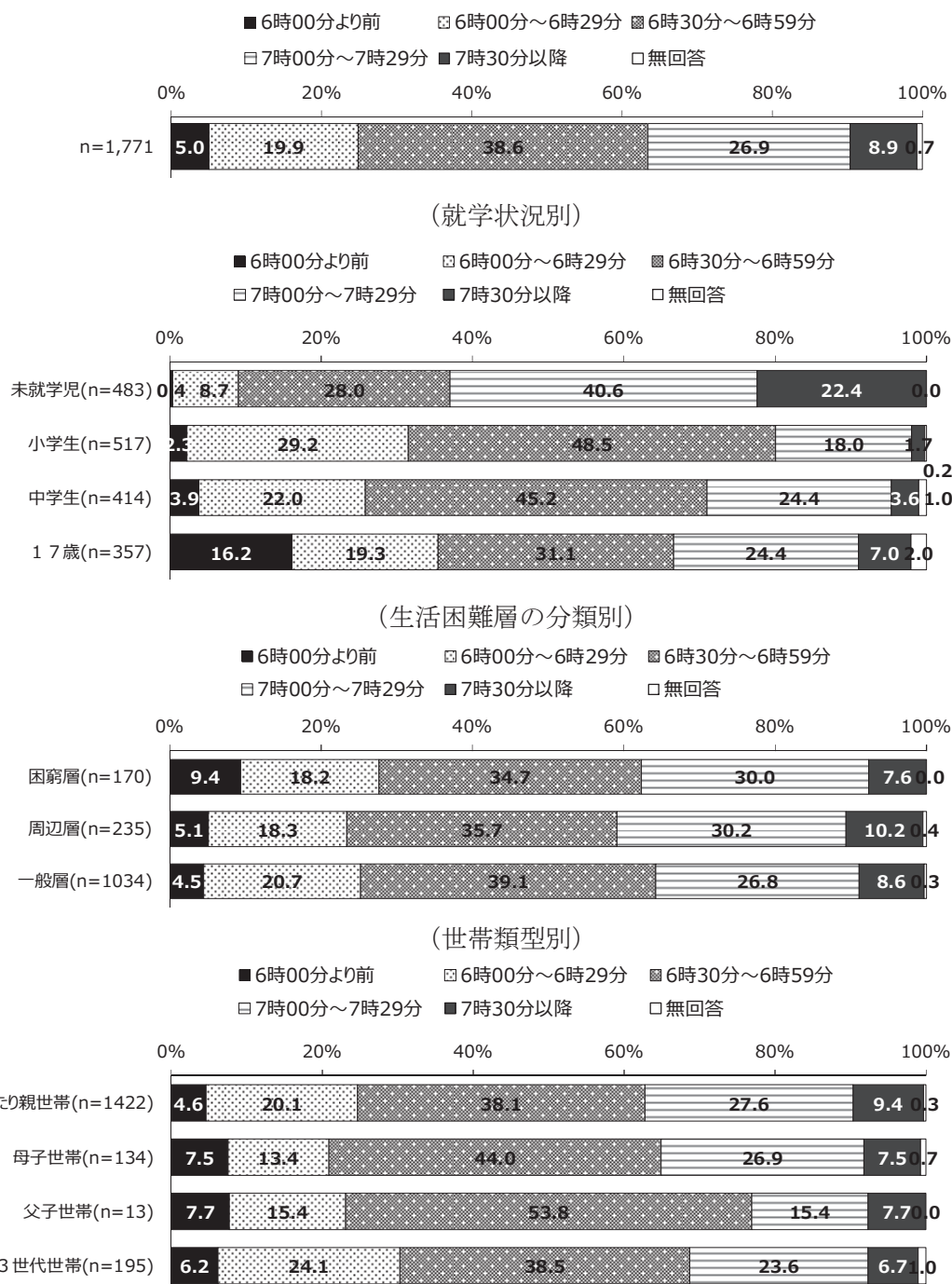


問 10（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんの、ふだん（月曜日～金曜日）の起床時間・就寝時間をお答えください。

子どもの起床時間について、「6時30分～6時59分」と回答した割合は38.6%と最も高く、次いで「7時00分～7時29分」26.9%となっている。

【子どもの起床時間】

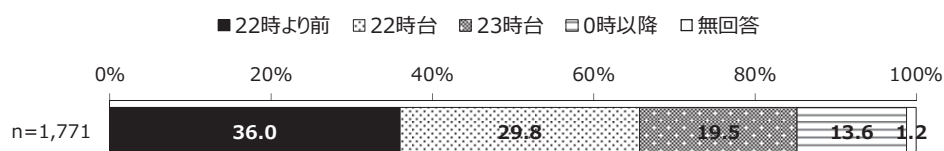


子どもの就寝時間について、「22 時より前」と回答した割合が 36.0%と最も高く、次いで「22 時台」29.8%となっている。

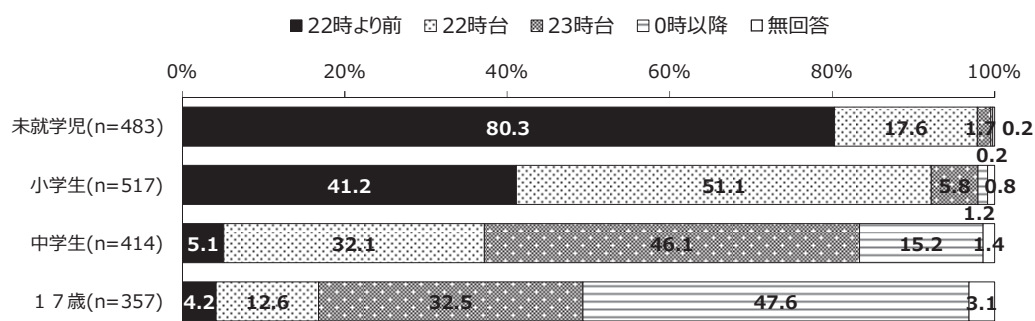
就学状況別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて就寝時間が遅くなる傾向にある。

世帯類型別にみると、『23 時以降』（「23 時台」と「0 時以降」を合わせた割合）と回答した割合は、ふたり親世帯では 30.8%であるのに対し、母子家庭では 51.5%と高くなっている。

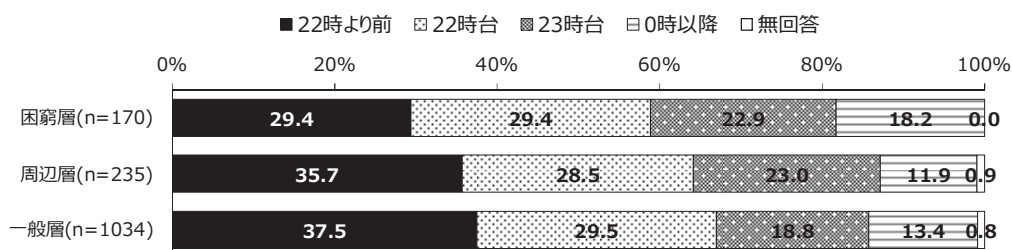
【子どもの就寝時間】



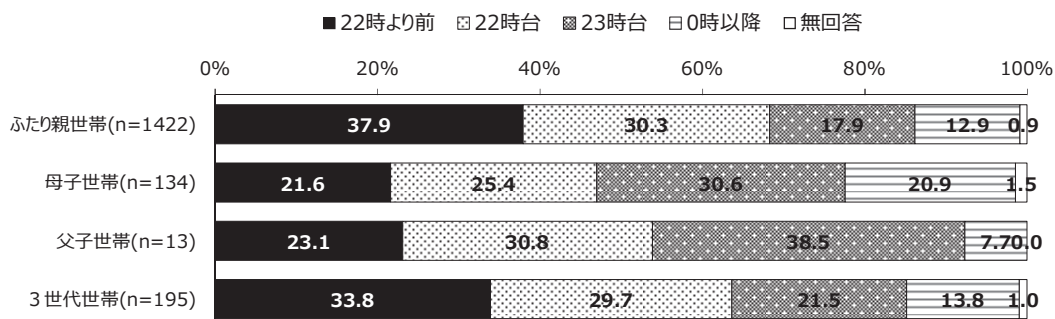
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)

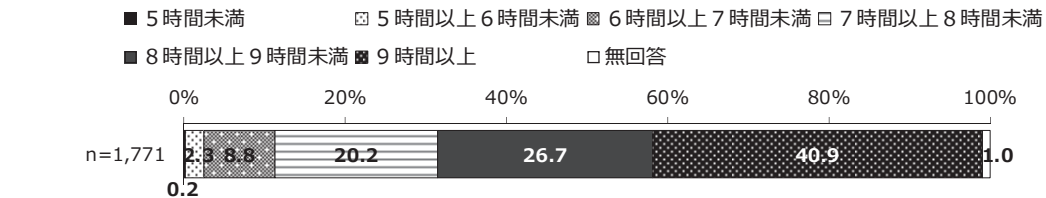


起床時間と就寝時間の関係から子どもの睡眠時間をみると、「9時間以上」と回答した割合が40.9%と最も高く、次いで「8時間以上9時間未満」26.7%となっている。

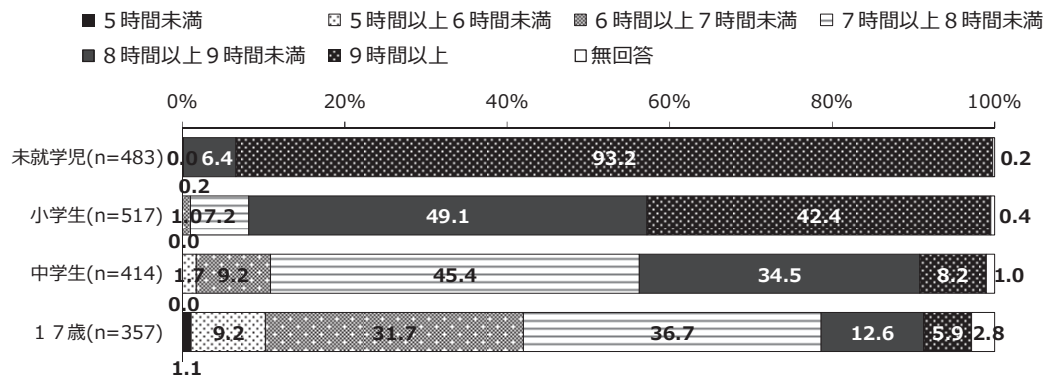
生活困難層の分類別にみると、困難度が高いほど、睡眠時間が短い子どもの割合が高くなっている。

世帯類型別にみると、『8時間以上』（「8時間以上9時間未満」と「9時間以上」を合わせた割合）と回答した割合は、ふたり親世帯で69.5%であるのに対し、母子家庭では52.3%と低くなっている。

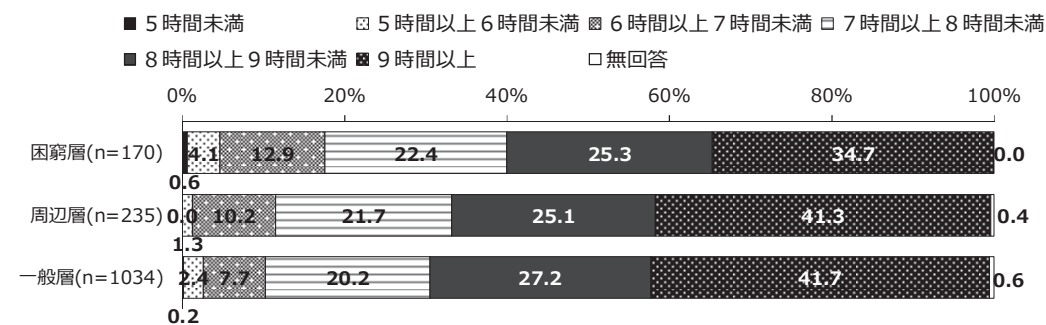
【子どもの睡眠時間】



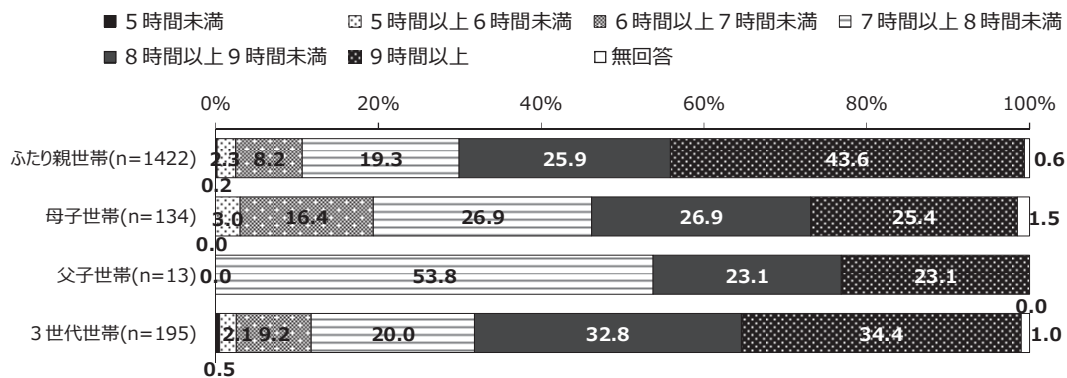
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



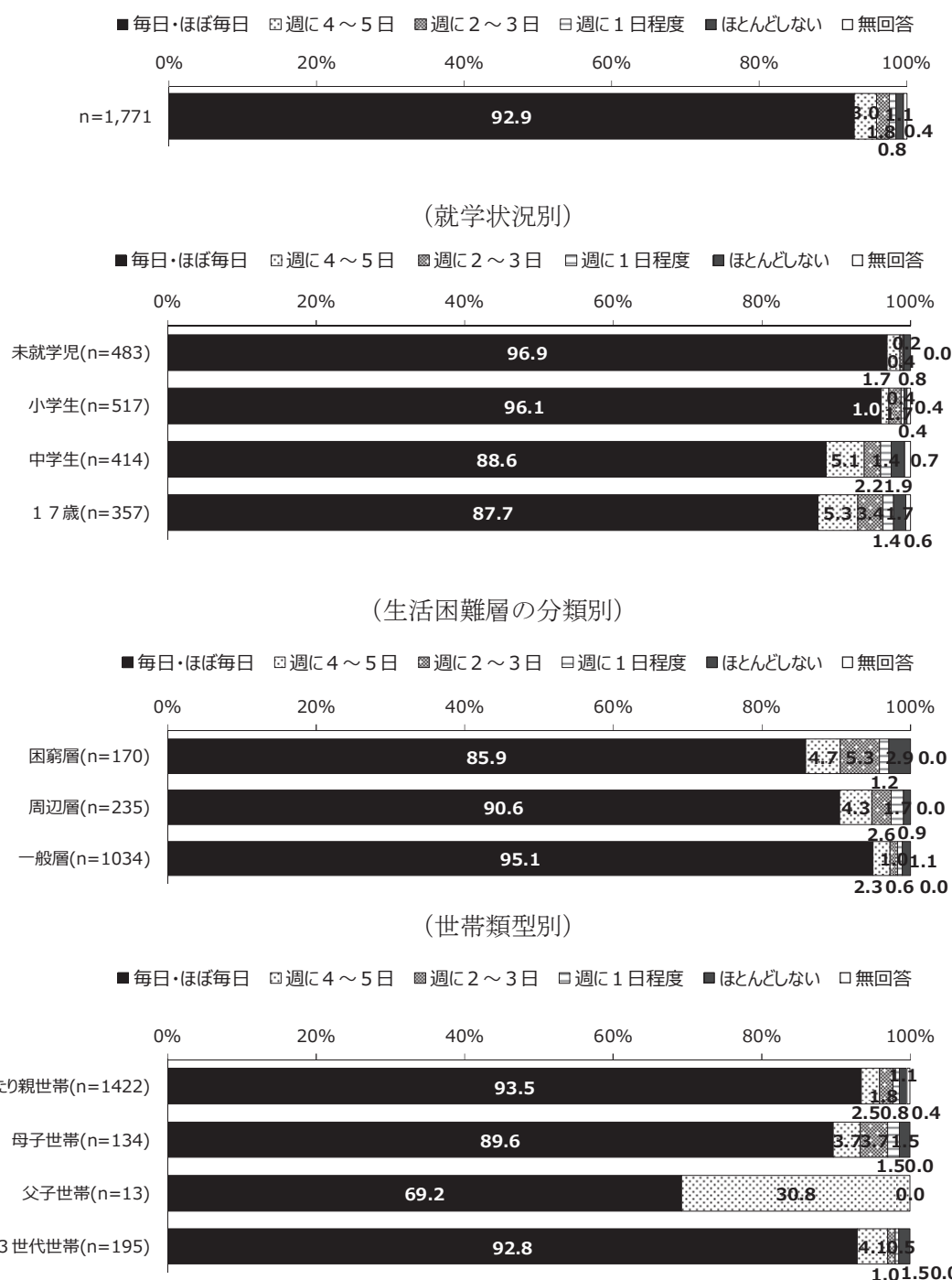
問 11（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）・問 5（小中学生・17歳）
次の①～④について、あなた（お子さん）の生活習慣をお答えください。

① 朝ごはんを食べる

朝ごはんを食べる習慣について、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は92.9%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

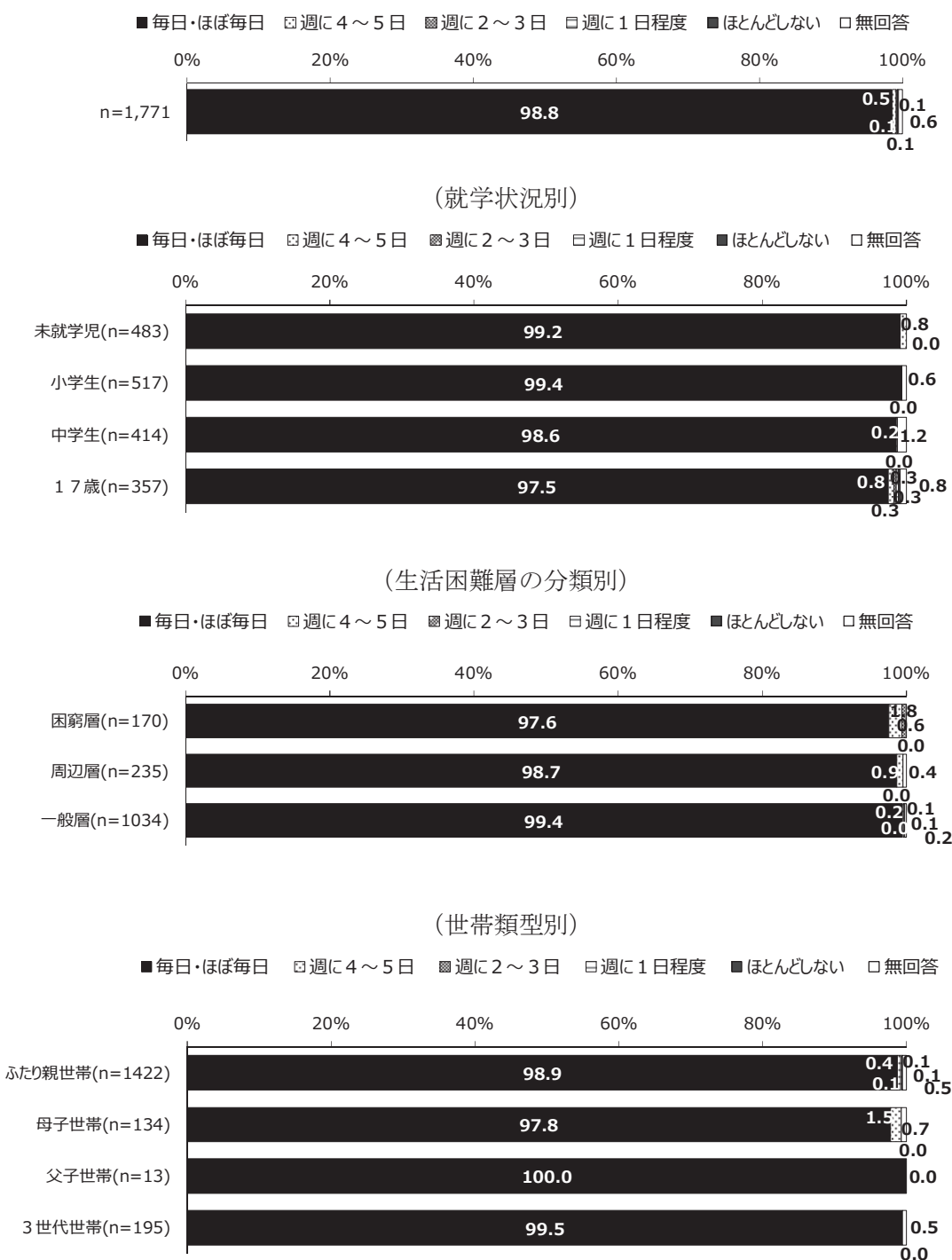
【朝ごはんを食べる】



② 晩ごはんを食べる

晩ごはんを食べる習慣について、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は98.8%となっている。
生活困難層の分類別、世帯類型別にみても、概ね同様の傾向にある。

【晩ごはんを食べる】

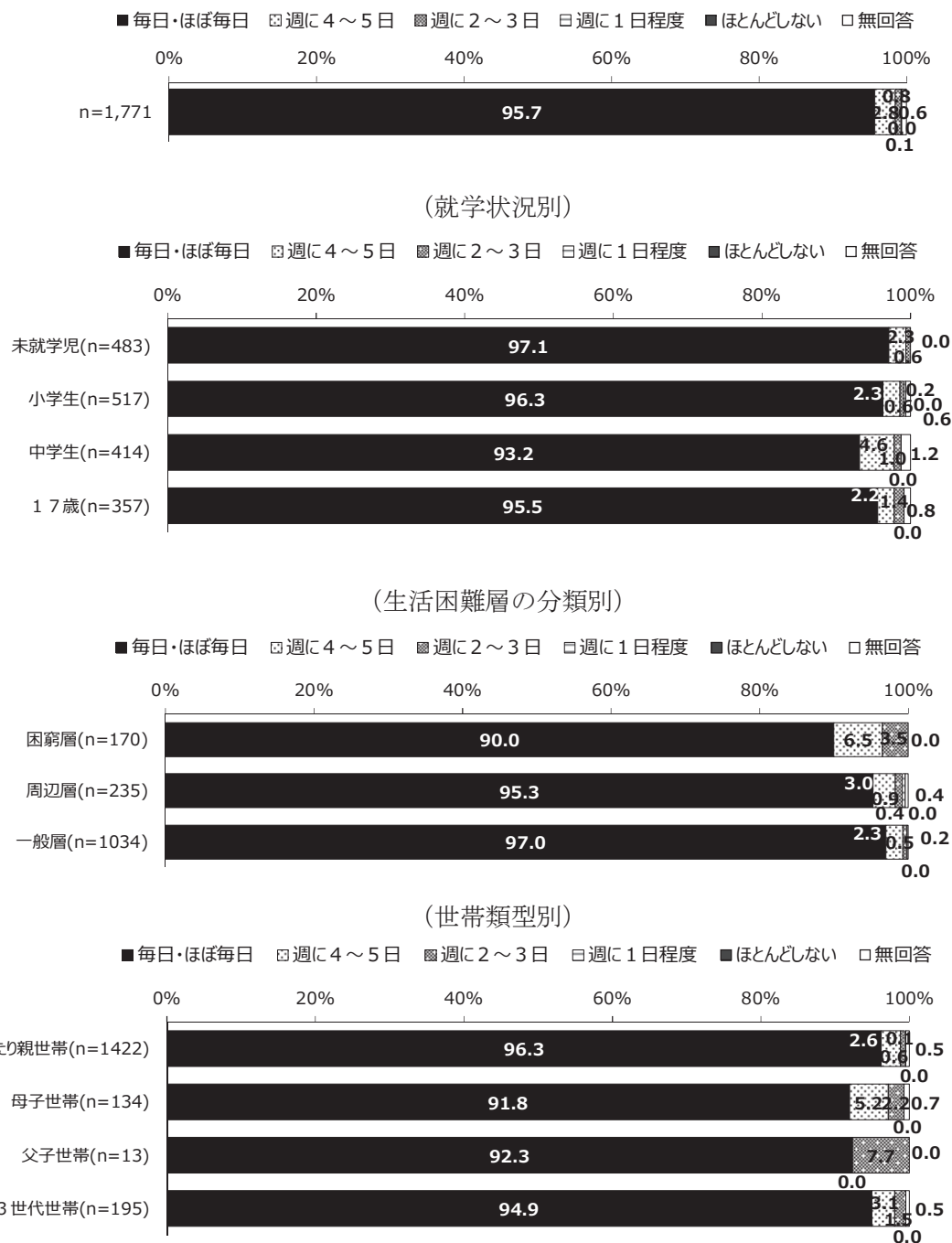


③ お風呂に入る

お風呂に入る習慣について、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は95.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が90.0%とやや低くなっている。

【お風呂に入る】



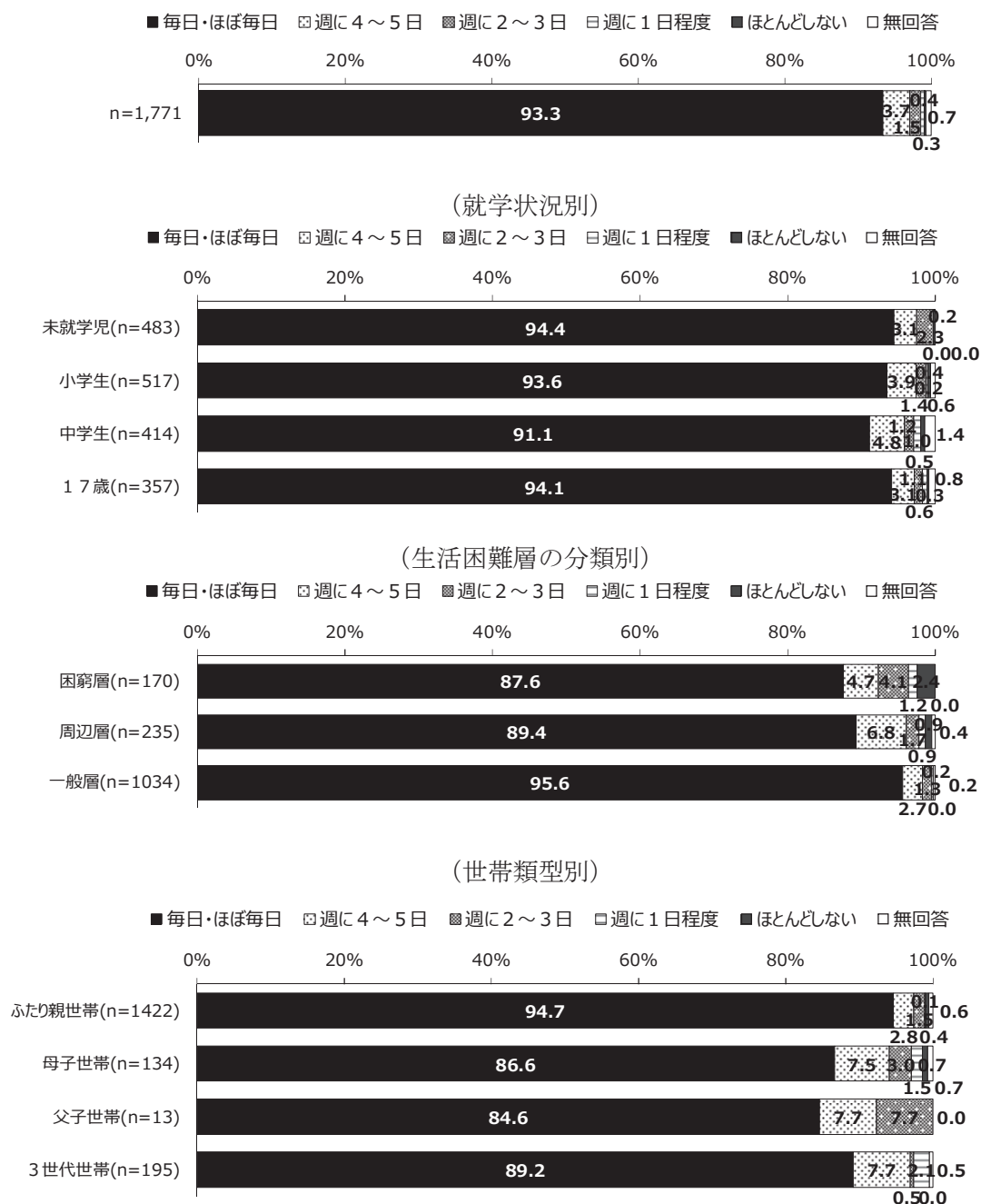
④ 歯磨きをする

歯磨きをする習慣について、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は93.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は、困窮層、周辺層で9割を下回っている。

世帯類型別にみると、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は母子世帯で86.6%と低くなっている。

【歯磨きをする】



問 12（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんは朝食／夕食を子どもたちだけで食べたり、あるいは、一人で食べたりすることがどのくらいありますか。

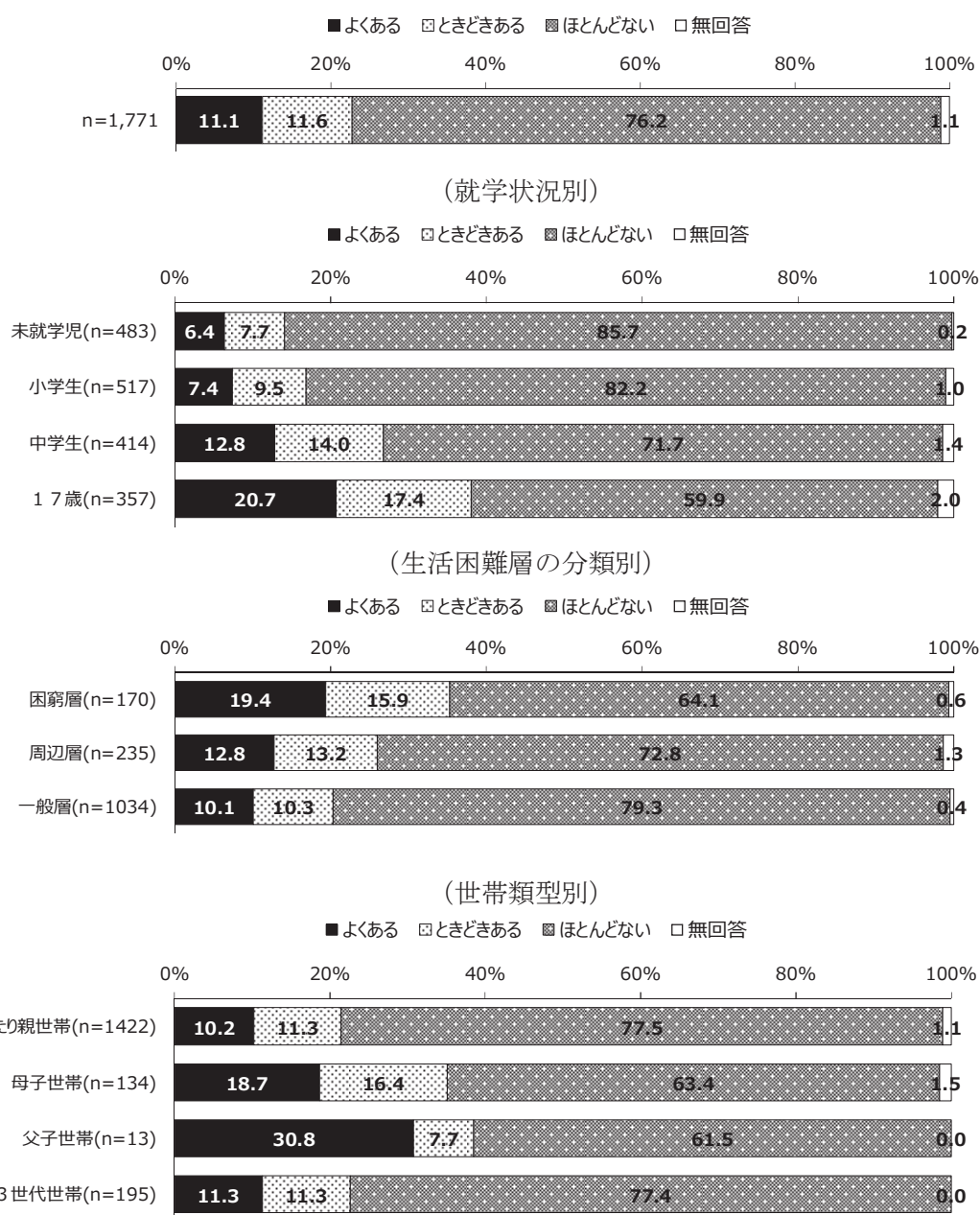
【朝食】

子どもが朝食を一人で食べる頻度について、「ほとんどない」と回答した割合は 76.2%となっている。

就学状況別にみると、「よくある」「ときどきある」と回答した割合は子どもの年齢が上がるにつれて高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、「よくある」「ときどきある」と回答した割合は、一般層で 20.4%であるのに対し、困窮層では 35.3%となっている。

【子どもが朝食を一人で食べる頻度】



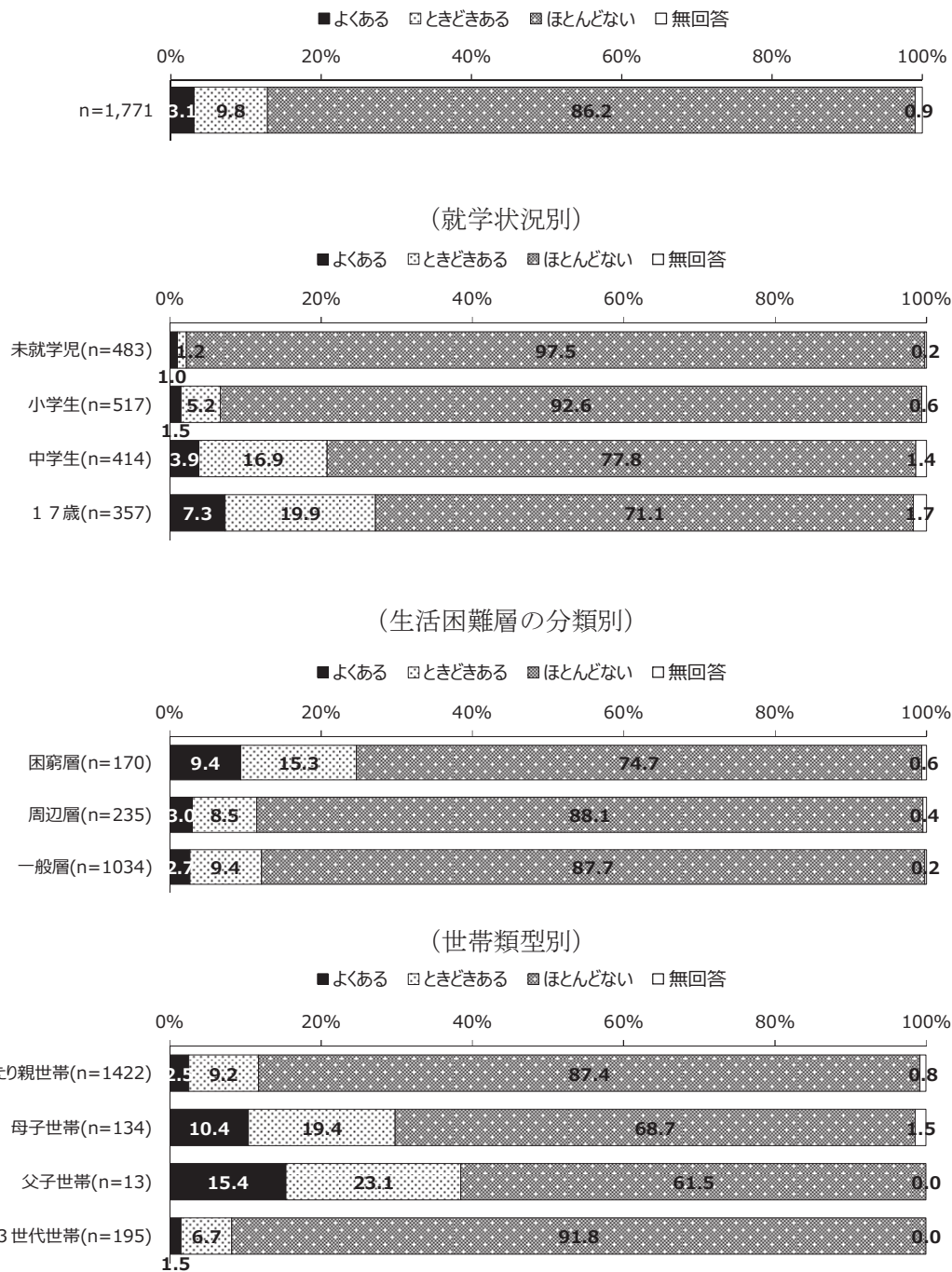
【夕食】

子どもが夕食を一人で食べる頻度について、「ほとんどない」と回答した割合は 86.2%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「よくある」「ときどきある」と回答した割合は、全体で 12.9%であるのに対し、困窮層では 24.7%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「よくある」「ときどきある」と回答した割合は、ふたり親世帯で 11.7%であるのに対し、母子世帯では 29.8%と高くなっている。

【子どもが夕食を一人で食べる頻度】



問 12-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

子どもたちだけ、あるいは、一人で食事をする事が出来ないような居場所があれば、利用させたいと思いますか。

※回答者は、問 12 で朝食／夕食を「よくある」、「ときどきある」と回答した保護者。

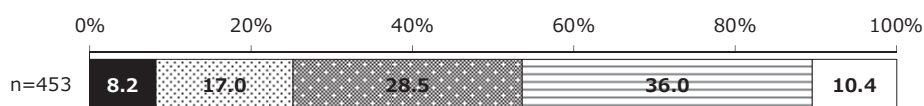
子どもが一人で食事をする事が出来ないような居場所の利用希望について、「利用させたい」と回答した割合は 8.2%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「利用させたい」と回答した割合は、困窮層で 18.2%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「利用させたい」と回答した割合は、母子世帯で 14.3%と高くなっている。

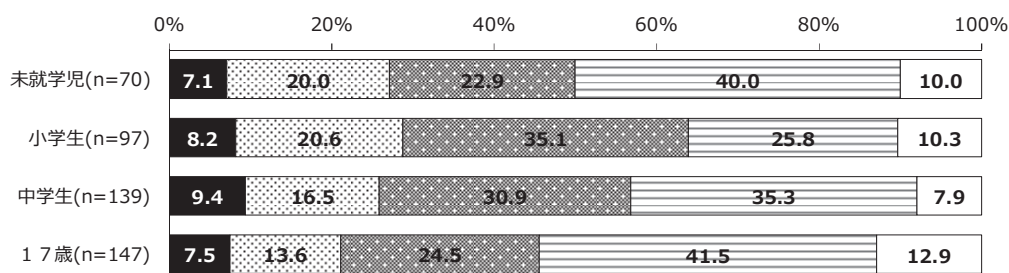
【子どもが一人で食事をする事が出来ないような居場所の利用希望】

■ 利用させたい □ どちらかという利用させたい ■ どちらかという利用させたくない □ 利用させたくない □ 無回答



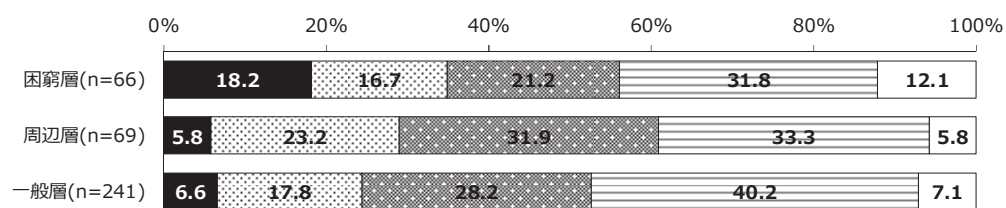
（就学状況別）

■ 利用させたい □ どちらかという利用させたい ■ どちらかという利用させたくない □ 利用させたくない □ 無回答



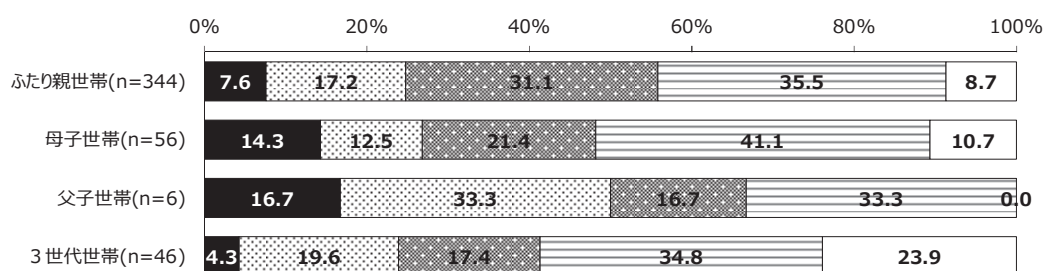
（生活困難層の分類別）

■ 利用させたい □ どちらかという利用させたい ■ どちらかという利用させたくない □ 利用させたくない □ 無回答



（世帯類型別）

■ 利用させたい □ どちらかという利用させたい ■ どちらかという利用させたくない □ 利用させたくない □ 無回答



問 13（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

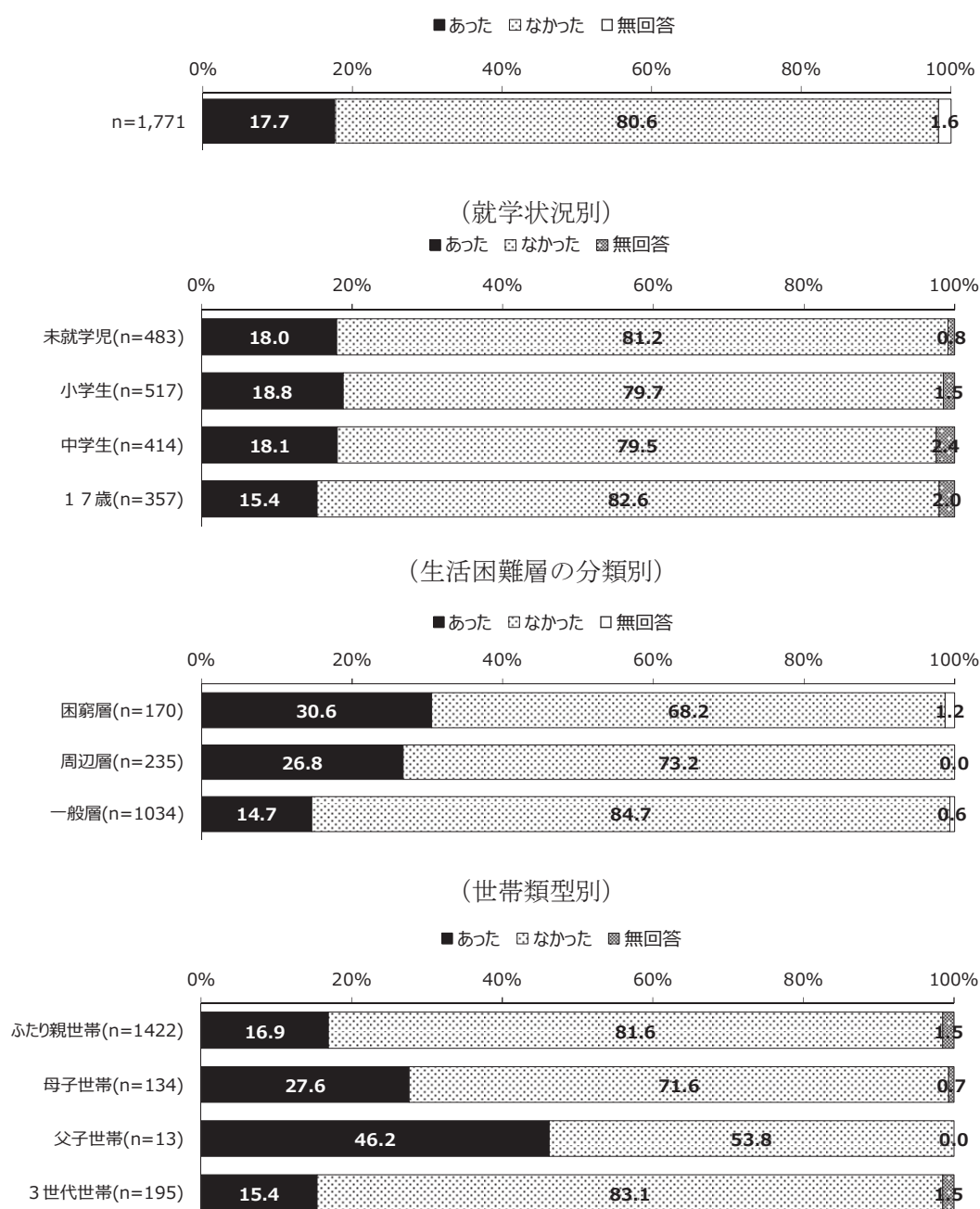
過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。

過去1年間の医療機関受診の取りやめの有無について、「なかった」と回答した割合は80.6%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「あった」と回答した割合は、困難度が高いほど高くなっており、困窮層では3割を超えている。

世帯分類別にみると、「あった」と回答した割合は、母子世帯で27.6%と高くなっている。

【過去1年間の医療機関の受診の有無】



問 13-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

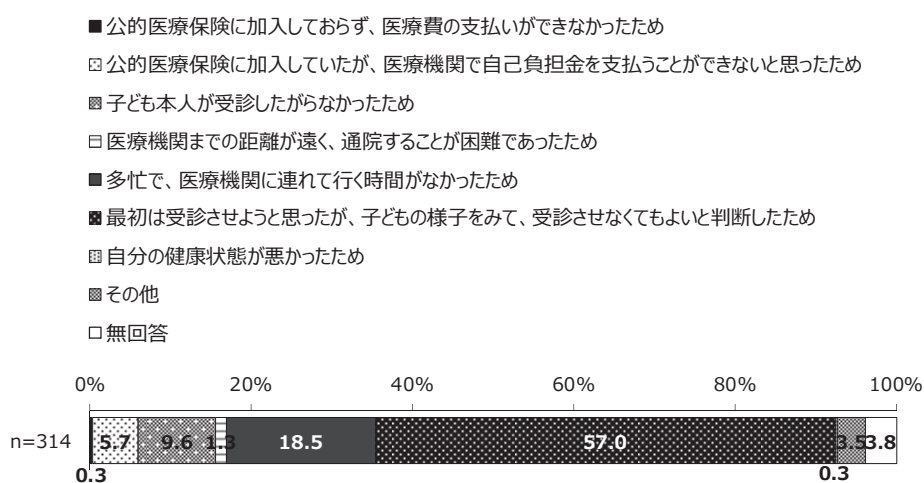
その理由は、何ですか。

※回答者は、医療機関を受診させなかったことが「あった」と回答した保護者。

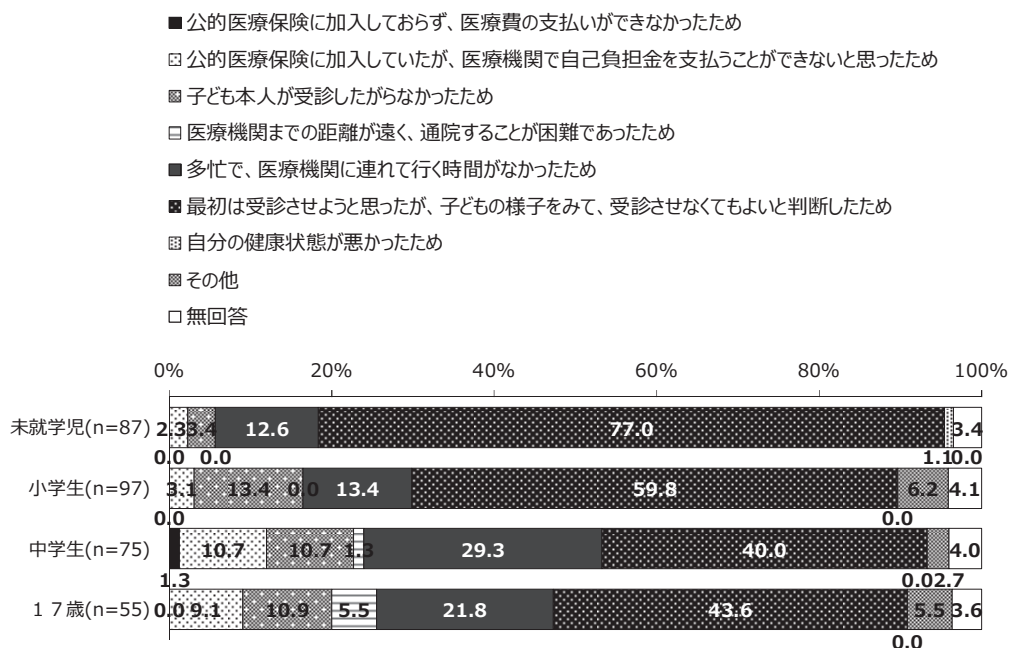
医療機関を受診させなかった理由について、「最初を受診させようと思ったが、子どもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」と回答した割合は57.0%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」と回答した割合は、困窮層で26.9%と高くなっている。

【医療機関を受診させなかった理由】

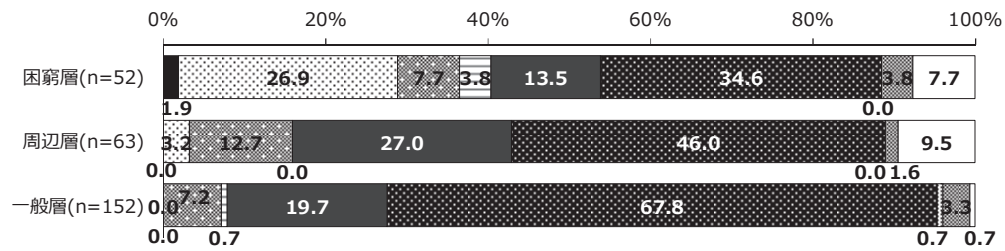


（就学状況別）



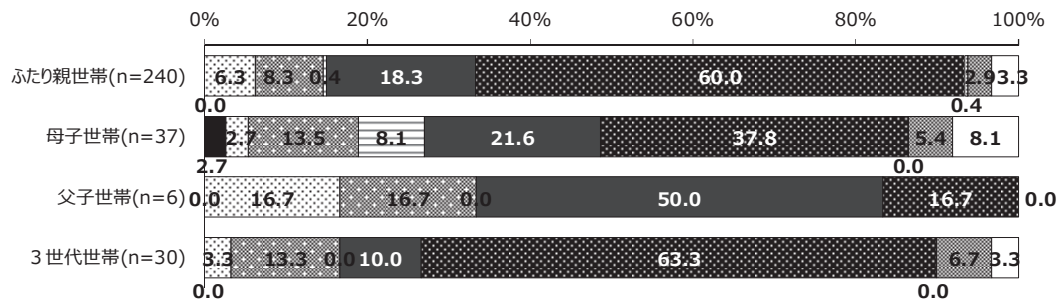
(生活困難層の分類別)

- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 子ども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他
- 無回答



(世帯類型別)

- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 子ども本人が受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- その他
- 無回答

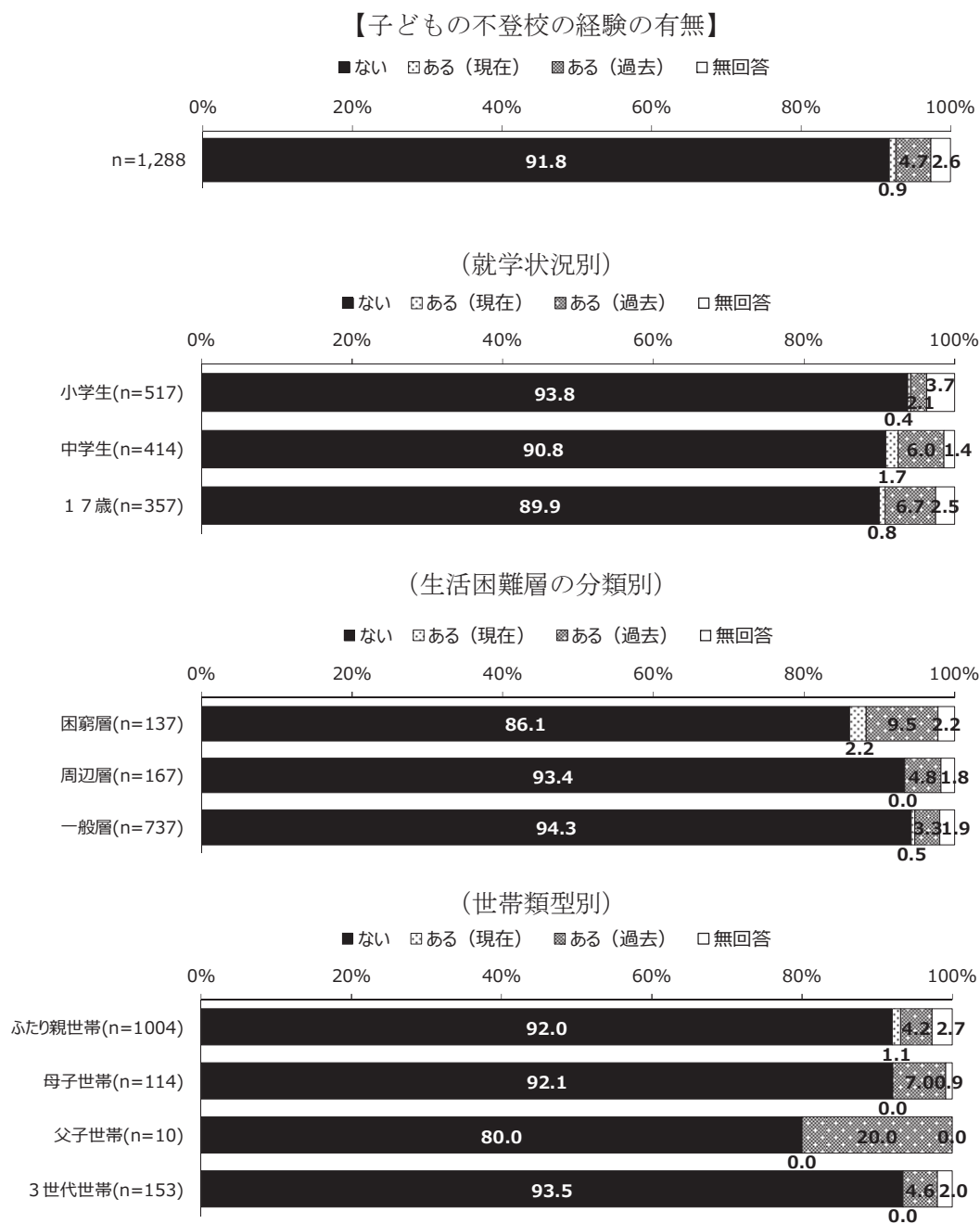


問 14（小中学生保護者・17 歳の保護者）

お子さんは不登校になったことはありますか。

子どもの不登校の経験の有無について、「ない」と回答した割合は全体で 91.8%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、『ある』（「ある（現在）」と「ある（過去）」を合わせた割合）と回答した割合は、困難度が高いほど高くなっている。



問 15（小中学生保護者・17 歳の保護者）

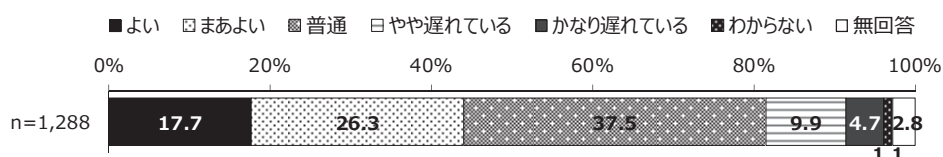
お子さんの学校の成績はいかがですか。

子どもの学校の成績について、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 44.0%、小学生で 50.3%、中学生で 39.1%、17 歳で 40.6%となっている。

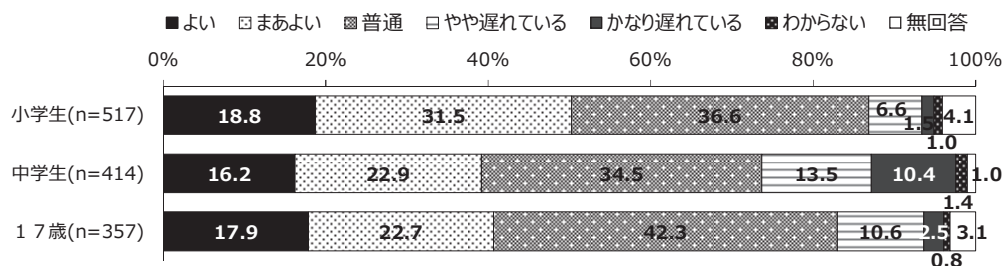
生活困難層の分類別にみると、『よい』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

世帯類型別にみると、『よい』と回答した割合はふたり親世帯で 44.6%、3 世代世帯で 45.1%、母子世帯で 40.3%と、母子世帯で低くなっている。

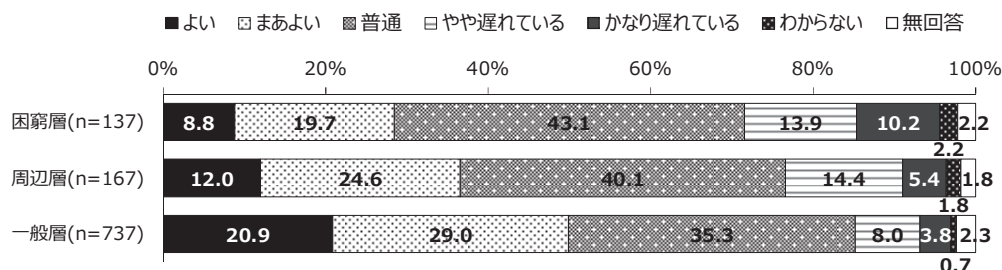
【子どもの学校の成績】



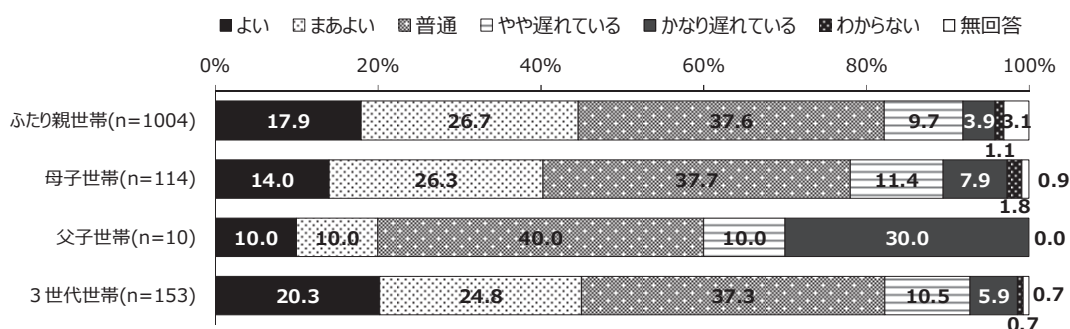
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



5 子どもとのかかわり

問 16（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたのご家庭では、お子さんと次の①～⑥のようなことをすることができますか。

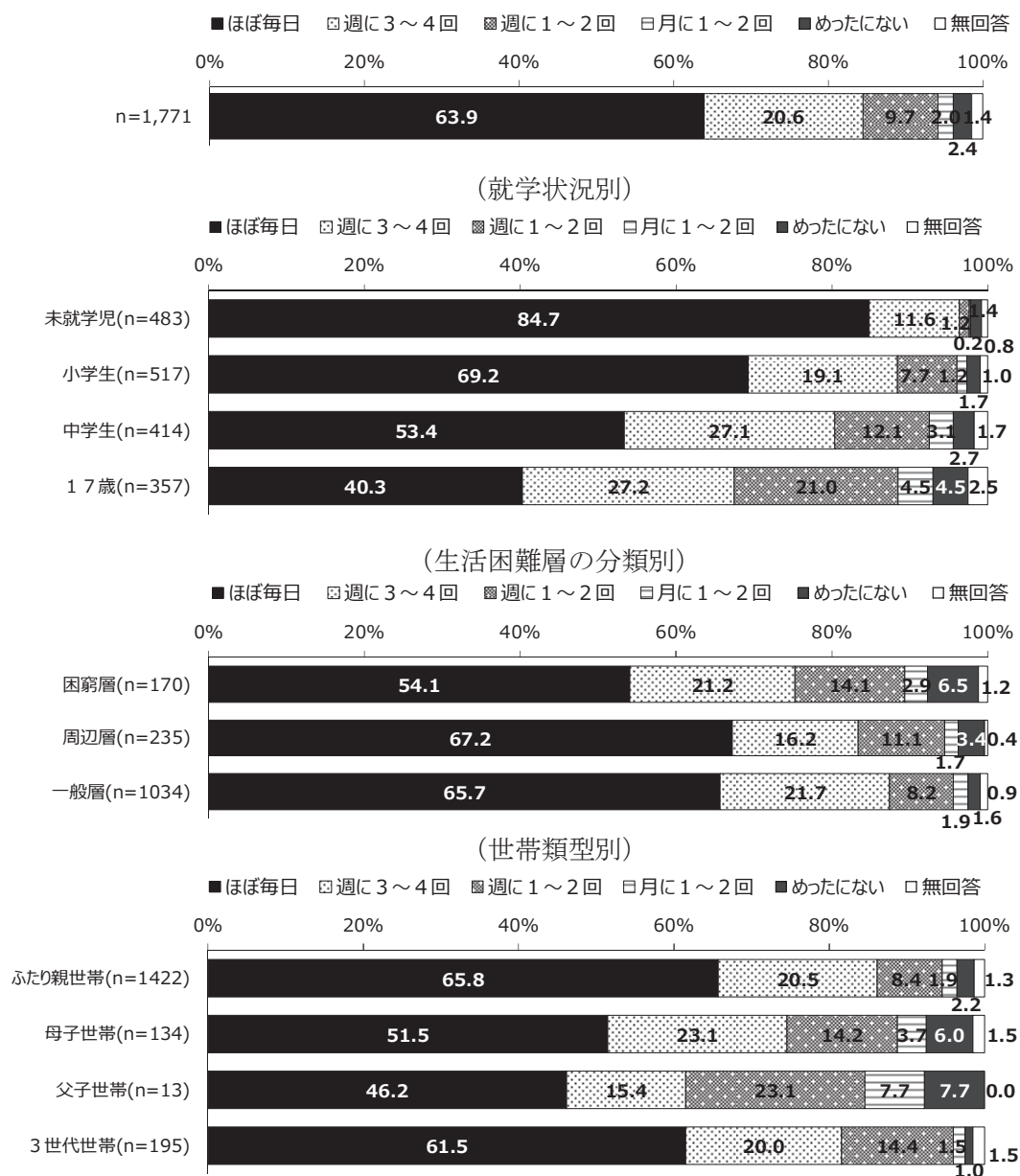
① 保育所・幼稚園・認定こども園、学校の生活の話をする

子どもと保育所・幼稚園・認定こども園、学校の生活の話をするについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は全体で 63.9%、未就学児で 84.7%、小学生で 69.2%、中学生で 53.4%、17 歳で 40.3% となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ほぼ毎日」と回答した割合は一般層で 65.7%、周辺層で 67.2%、困窮層で 54.1%と、困窮層で低くなっている。

世帯類型別にみると、「ほぼ毎日」と回答した割合はふたり親世帯で 65.8%、3 世代世帯で 61.5%、母子世帯で 51.5%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもと保育所・幼稚園・認定こども園、学校の生活の話をする】

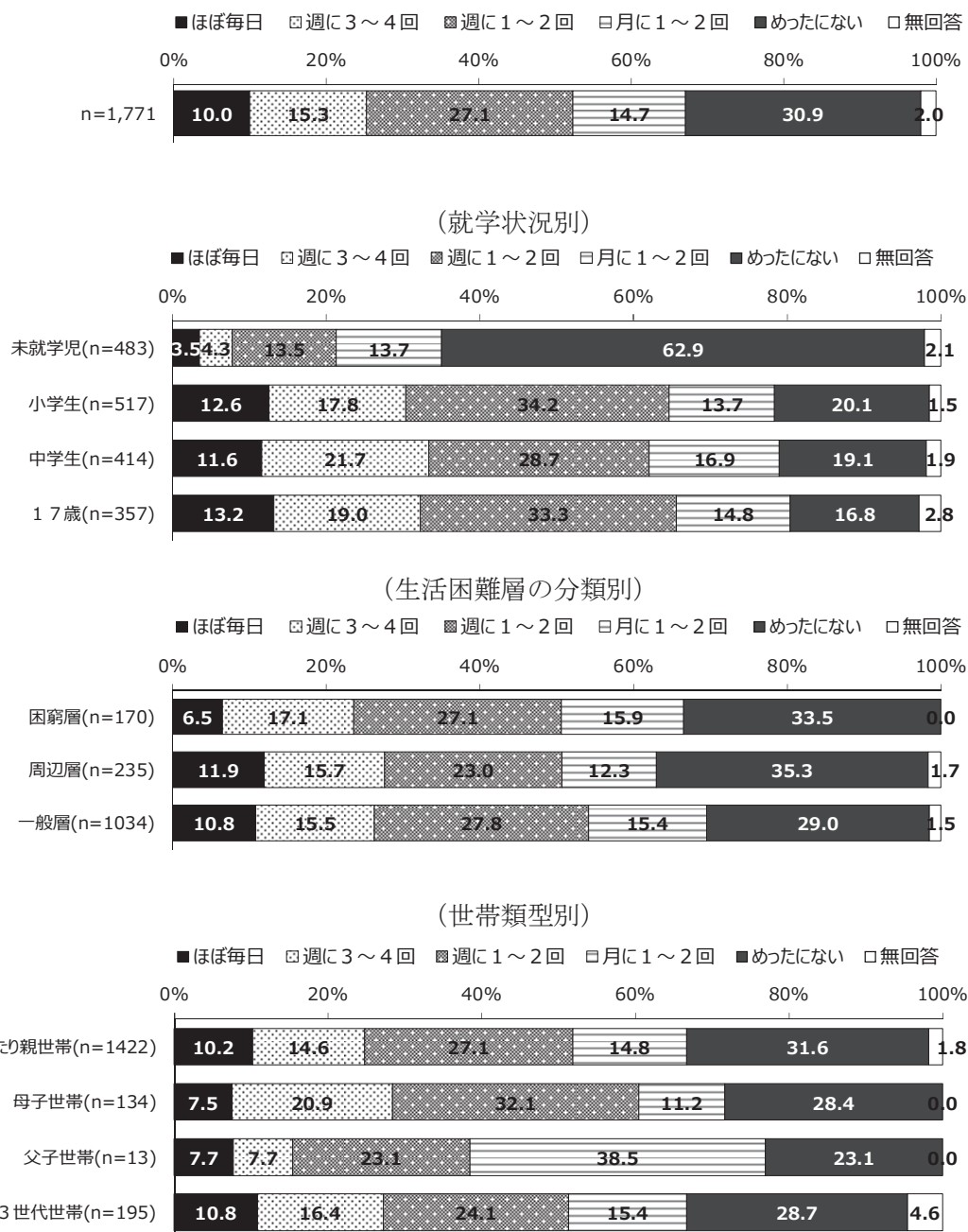


② 政治経済・社会問題等のニュースの話をする

子どもと政治経済・社会問題等のニュースの話をすることについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は全体で10.0%、未就学児で3.5%、小学生で12.6%、中学生で11.6%、17歳で13.2%となっている。

生活困難層の分類別、世帯類型別で大きな差はみられない。

【子どもと政治経済・社会問題等のニュースの話をする】



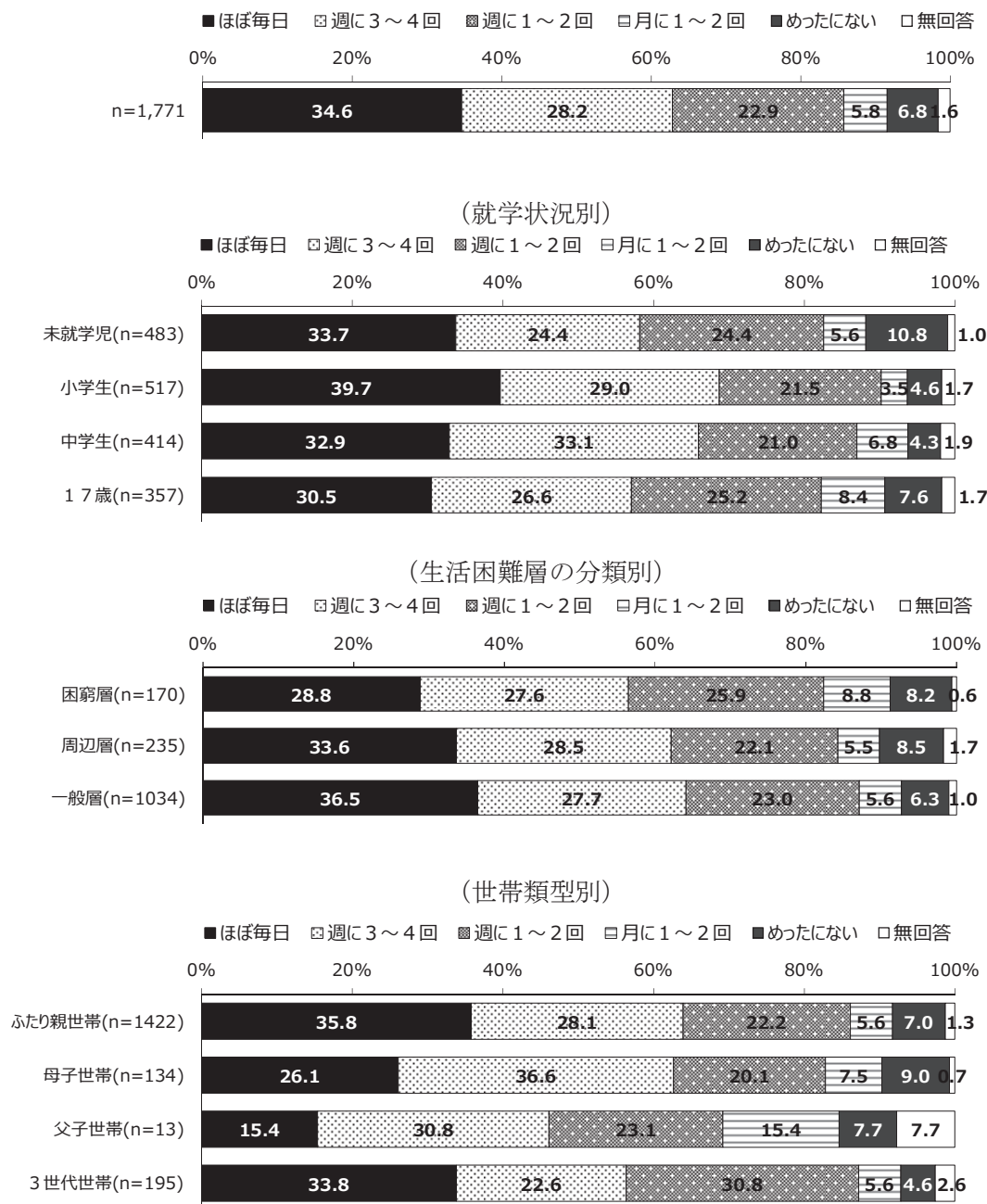
③ テレビ番組（ニュースを除く）の話をする

子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をするについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は全体で 34.6%、未就学児で 33.7%、小学生で 39.7%、中学生で 32.9%、17 歳で 30.5%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ほぼ毎日」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

世帯類型別にみると、「ほぼ毎日」と回答した割合はふたり親世帯で 35.8%、3 世代世帯で 33.8%、母子世帯で 26.1%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする】



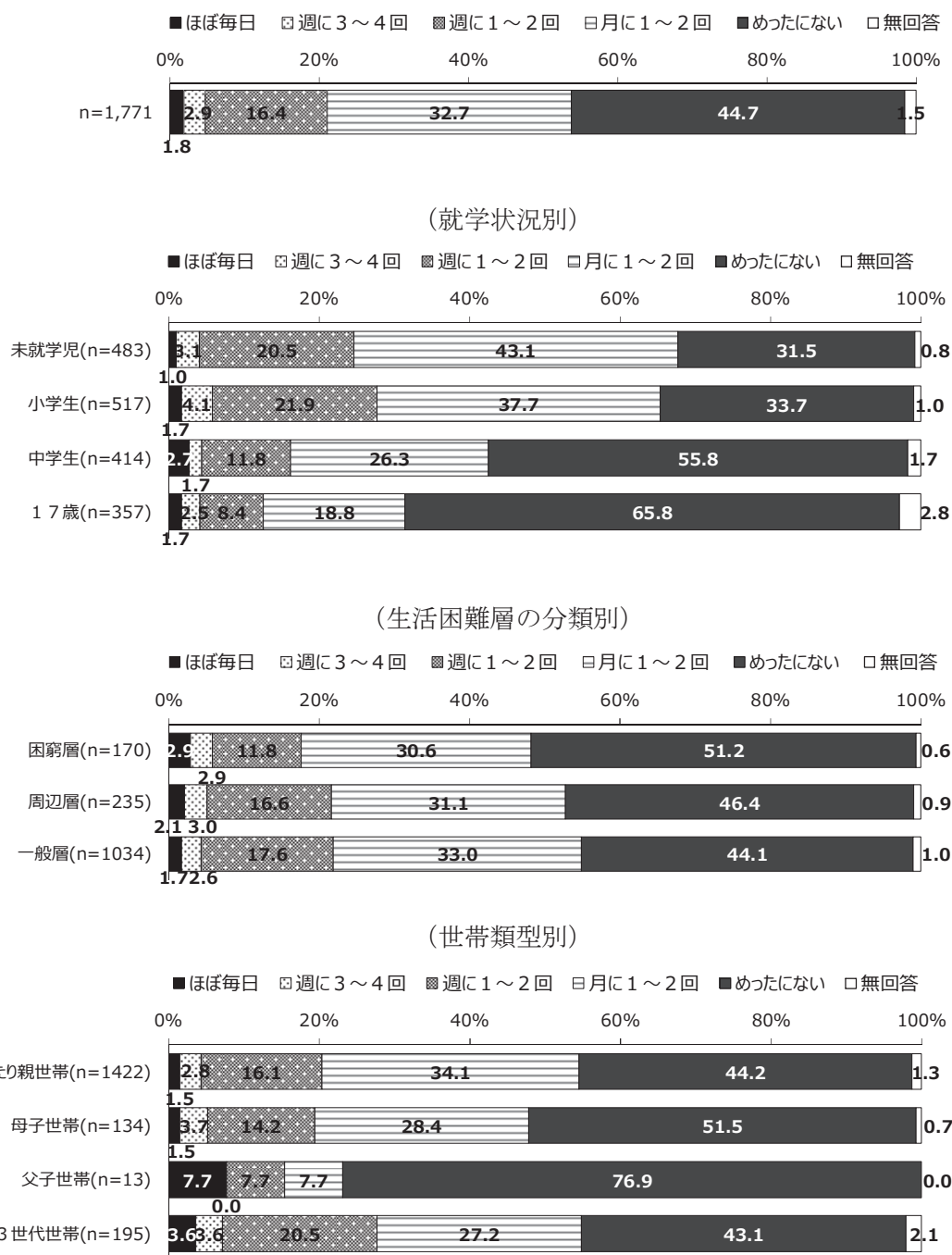
④ 一緒に料理をする

子どもと一緒に料理をするについて、「めったにない」と回答した割合は全体で 44.7%、未就学児で 31.5%、小学生で 33.7%、中学生で 55.8%、17 歳で 65.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「めったにない」と回答した割合は困難度が高いほど若干高くなっている。

世帯類型別にみると、「めったにない」と回答した割合はふたり親世帯で 44.2%、3 世代世帯で 43.1%、母子世帯で 51.5%と、母子世帯で高くなっている。

【子どもと一緒に料理をする】



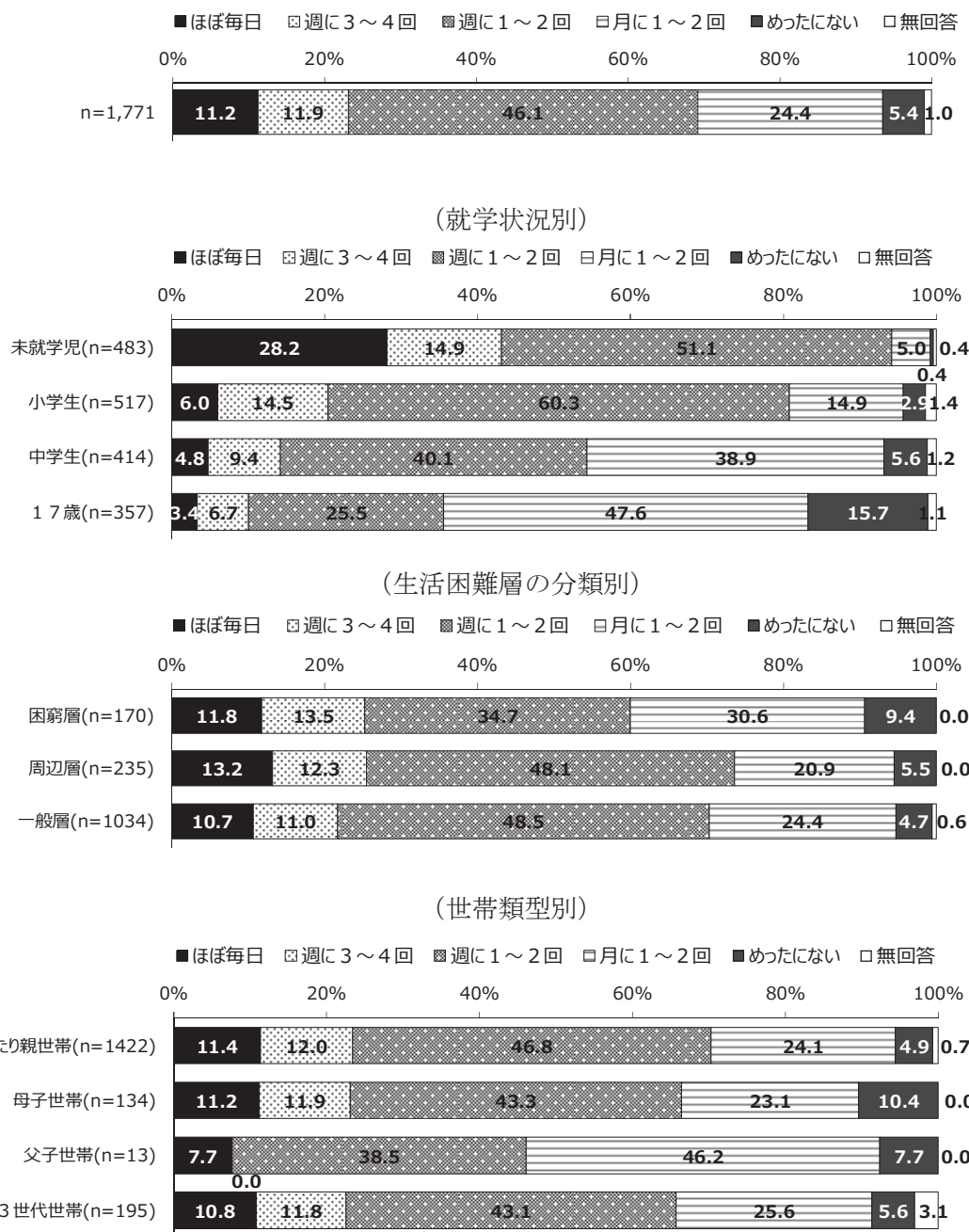
⑤ 一緒に外出をする

子どもと一緒に外出をするについて、「めったにない」と回答した割合は全体で5.4%、未就学児で0.4%、小学生で2.9%、中学生で5.6%、17歳で15.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「めったにない」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっている。

世帯類型別にみると、「めったにない」と回答した割合はふたり親世帯で4.9%、3世代世帯で5.6%、母子世帯で10.4%と、母子世帯で高くなっている。

【子どもと一緒に外出をする】



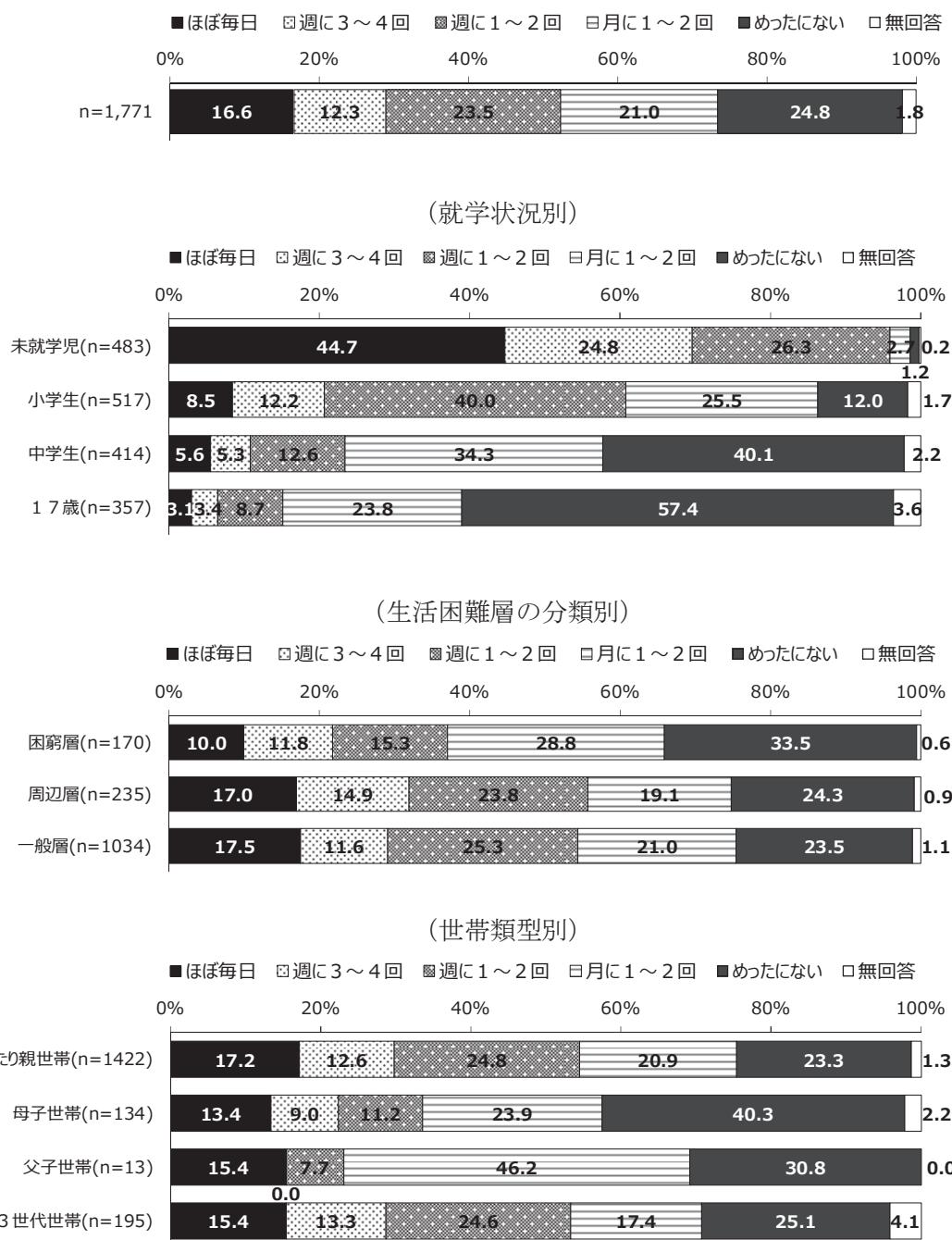
⑥ 一緒に遊ぶ

子どもと一緒に遊ぶについて、「めったにない」と回答した割合は全体で24.8%、未就学児で1.2%、小学生で12.0%、中学生で40.1%、17歳で57.4%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「めったにない」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっている。

世帯類型別にみると、「めったにない」と回答した割合はふたり親世帯で23.3%、3世代世帯で25.1%、母子世帯で40.3%と、母子世帯で高くなっている。

【子どもと一緒に遊ぶ】



問 17（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたのご家庭では、お子さんと次の①～⑤のような体験をしましたか。

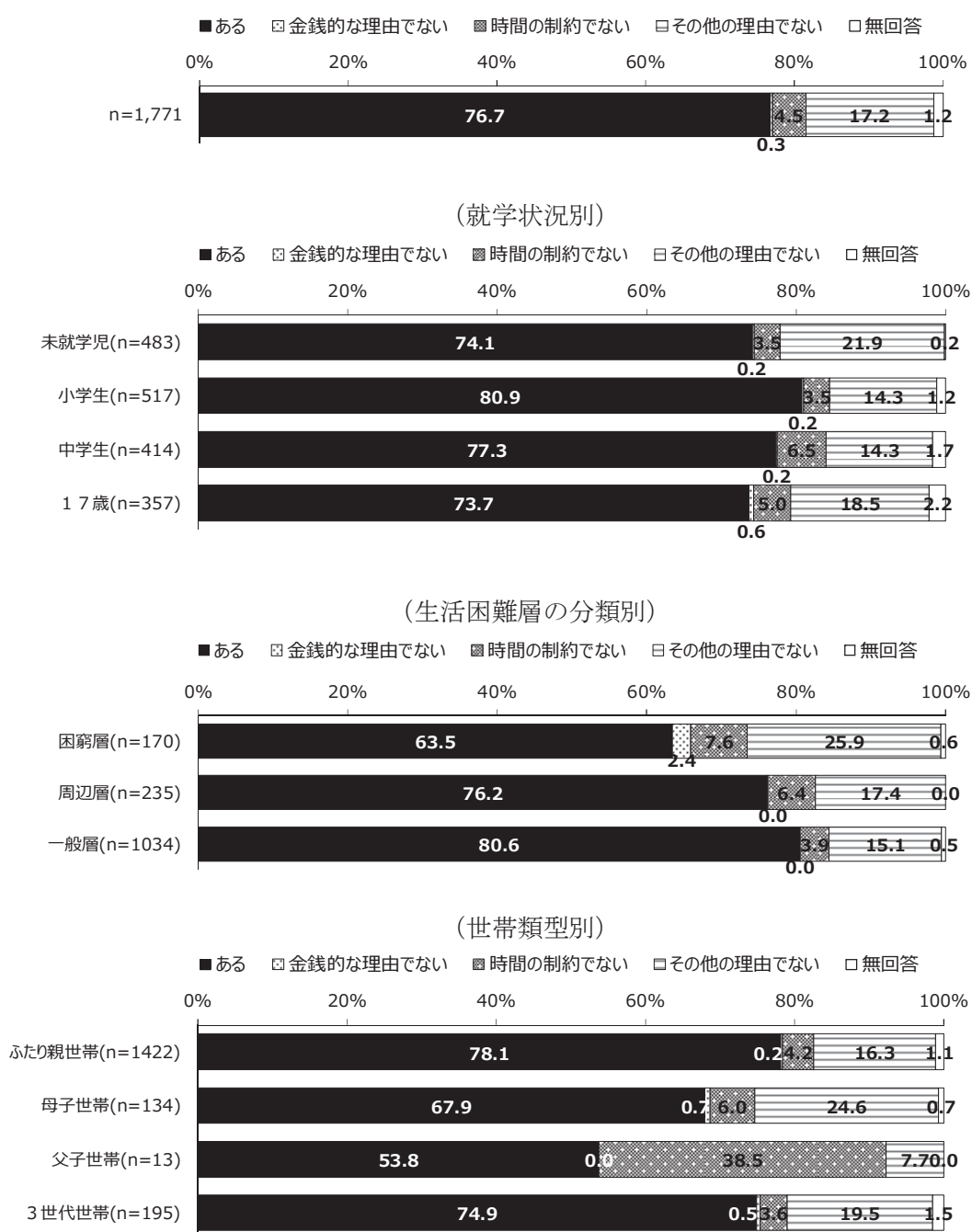
① 海水浴に行く

子どもと海水浴に行くについて、「ある」と回答した割合は全体で 76.7%、未就学児で 74.1%、小学生で 80.9%、中学生で 77.3%、17 歳で 73.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ある」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

世帯類型別にみると、「ある」と回答した割合はふたり親世帯で 78.1%、3 世代世帯で 74.9%、母子世帯で 67.9%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもと海水浴に行く】



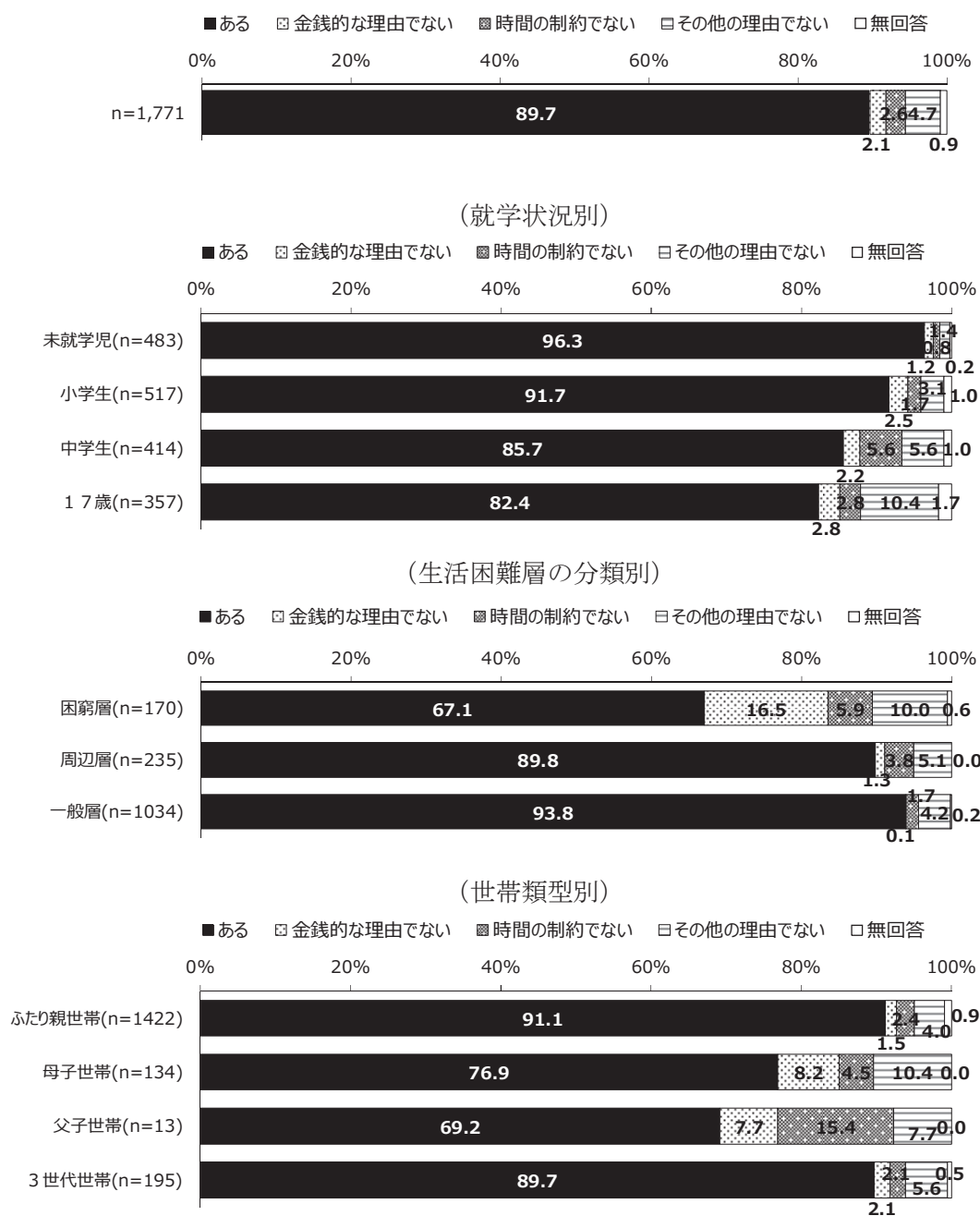
② 水族館・博物館・美術館などに行く

子どもと水族館・博物館・美術館などに行くについて、「ある」と回答した割合は全体で 89.7%、未就学児で 96.3%、小学生で 91.7%、中学生で 85.7%、17 歳で 82.4%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ある」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「金銭的な理由でない」と回答した割合が 16.5%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「ある」と回答した割合はふたり親世帯で 91.1%、3 世代世帯で 89.7%、母子世帯で 76.9%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもと水族館・博物館・美術館などに行く】



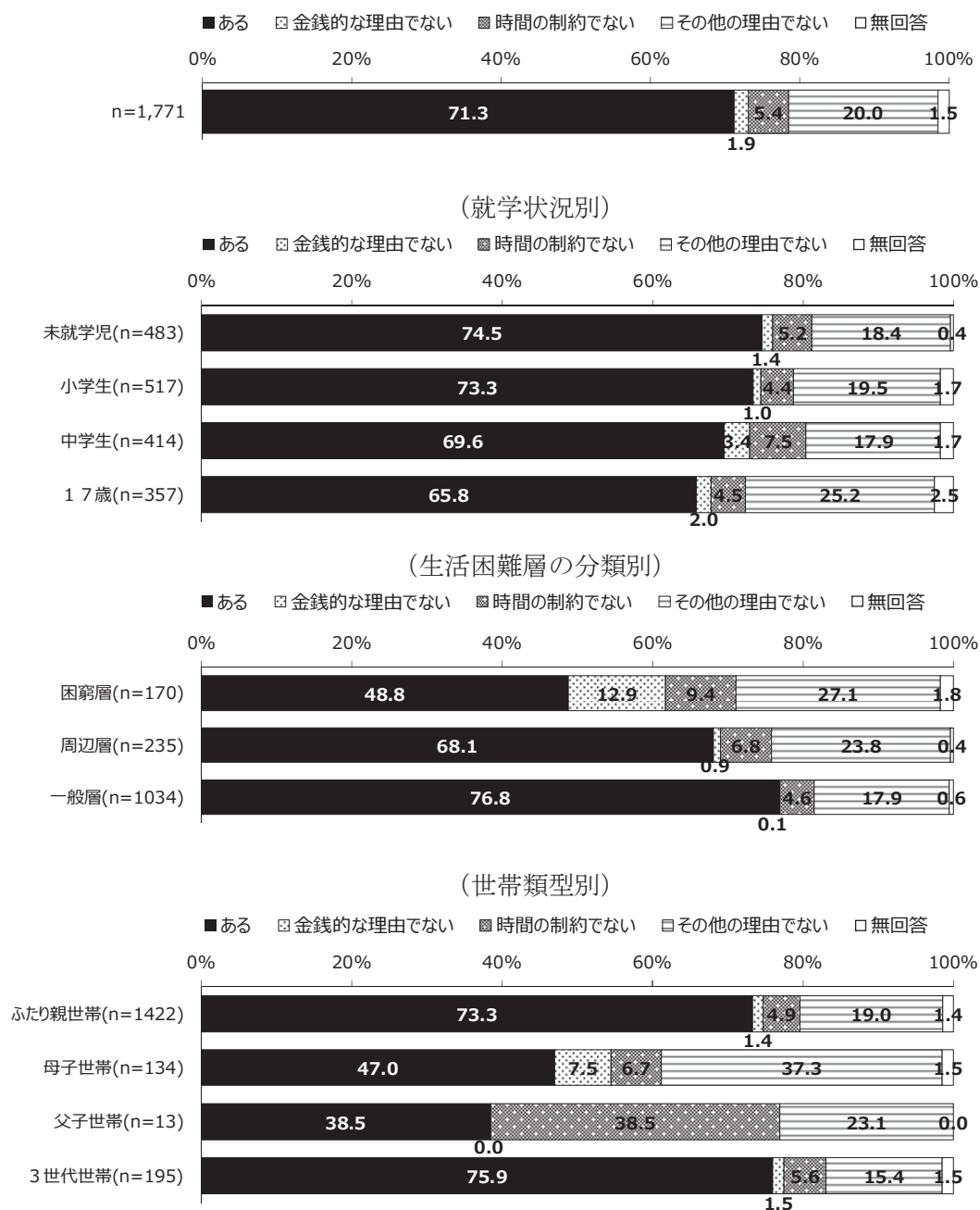
③ キャンプやバーベキューをする

子どもとキャンプやバーベキューをするについて、「ある」と回答した割合は全体で 71.3%、未就学児で 74.5%、小学生で 73.3%、中学生で 69.6%、17 歳で 65.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ある」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「金銭的な理由でない」と回答した割合が 12.9%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「ある」と回答した割合はふたり親世帯で 73.3%、3 世代世帯で 75.9%、母子世帯で 47.0%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもとキャンプやバーベキューをする】



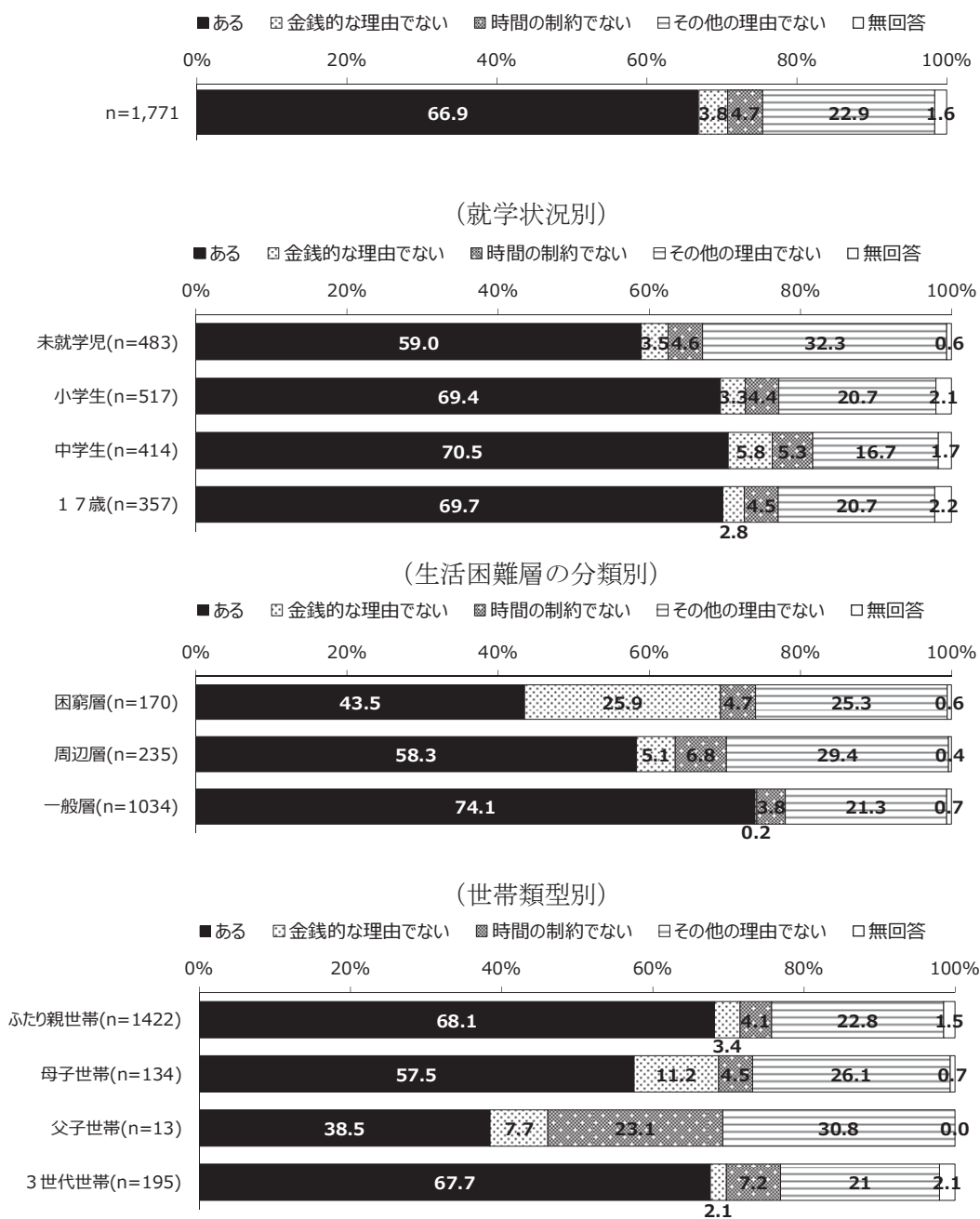
④ スポーツ観戦や劇場に行く

子どもとスポーツ観戦や劇場に行くについて、「ある」と回答した割合は全体で 66.9%、未就学児で 59.0%、小学生で 69.4%、中学生で 70.5%、17 歳で 69.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ある」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「金銭的な理由でない」と回答した割合が 25.9%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「ある」と回答した割合はふたり親世帯で 68.1%、3 世代世帯で 67.7%、母子世帯で 57.5%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもとスポーツ観戦や劇場に行く】



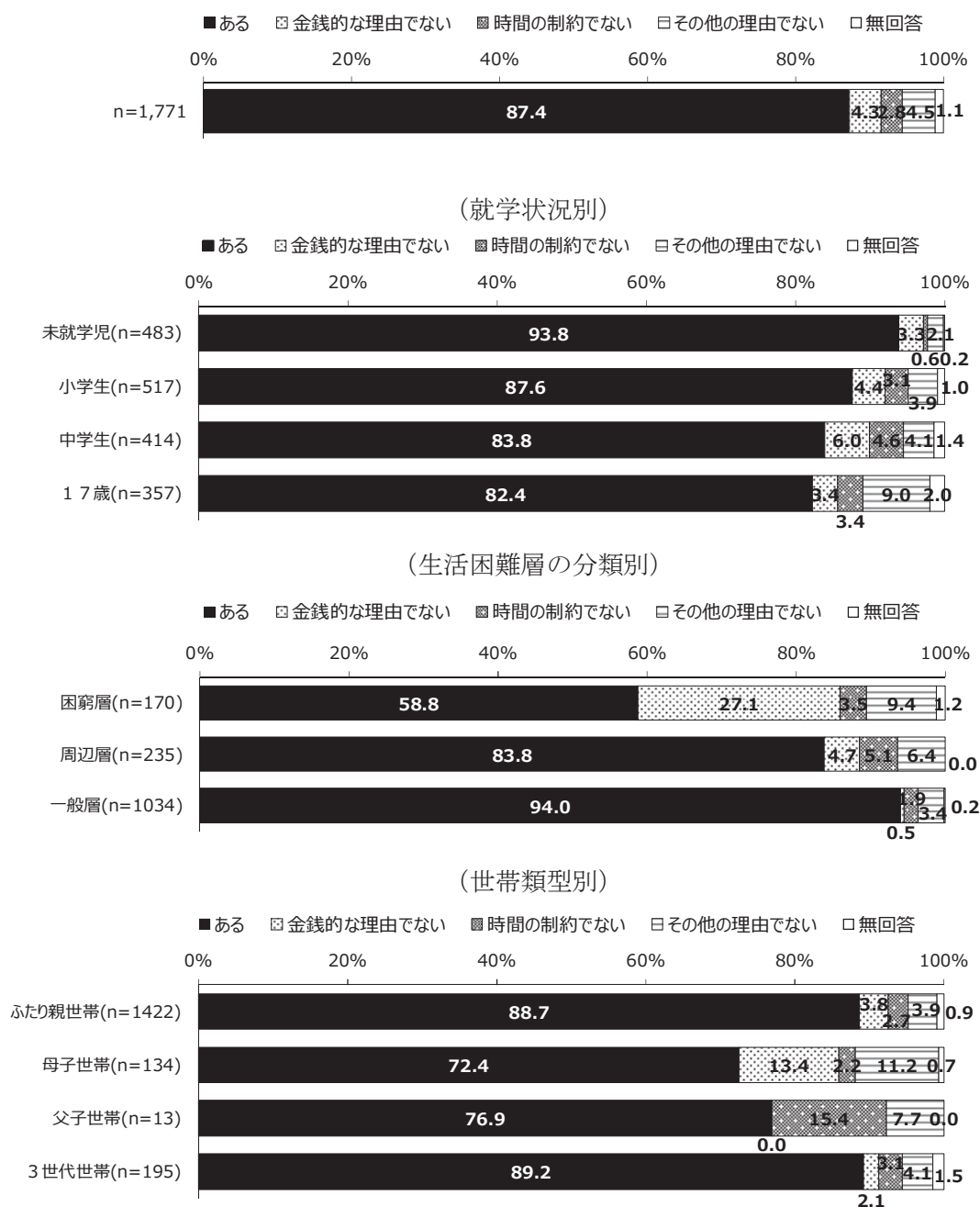
⑤ 遊園地やテーマパークに行く

子どもと遊園地やテーマパークに行くについて、「ある」と回答した割合は全体で 87.4%、未就学児で 93.8%、小学生で 87.6%、中学生で 83.8%、17 歳で 82.4%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ある」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「金銭的な理由でない」と回答した割合が 27.1%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「ある」と回答した割合はふたり親世帯で 88.7%、3 世代世帯で 89.2%、母子世帯で 72.4%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもと遊園地やテーマパークに行く】



問 18（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたのご家庭では、お子さんと次の①～⑪のようなことをしていますか。

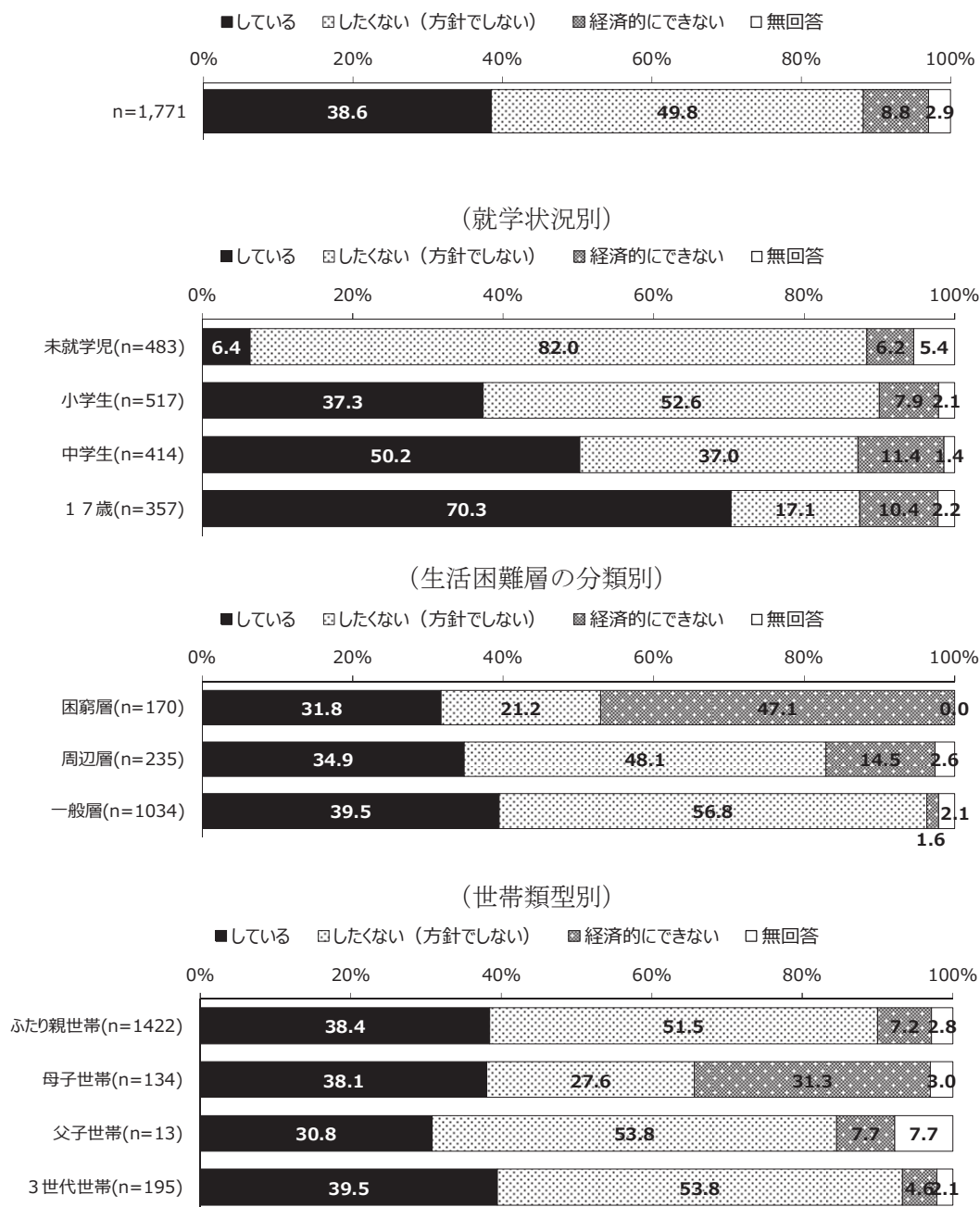
① 毎月お小遣いを渡す

子どもに毎月お小遣いを渡すについて、「している」と回答した割合は全体で 38.6%、未就学児で 6.4%、小学生で 37.3%、中学生で 50.2%、17 歳で 70.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 47.1%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合は3割後半と大きな差がみられないが、母子世帯では「経済的にできない」と回答した割合が 31.3%と高くなっている。

【子どもに毎月お小遣いを渡す】



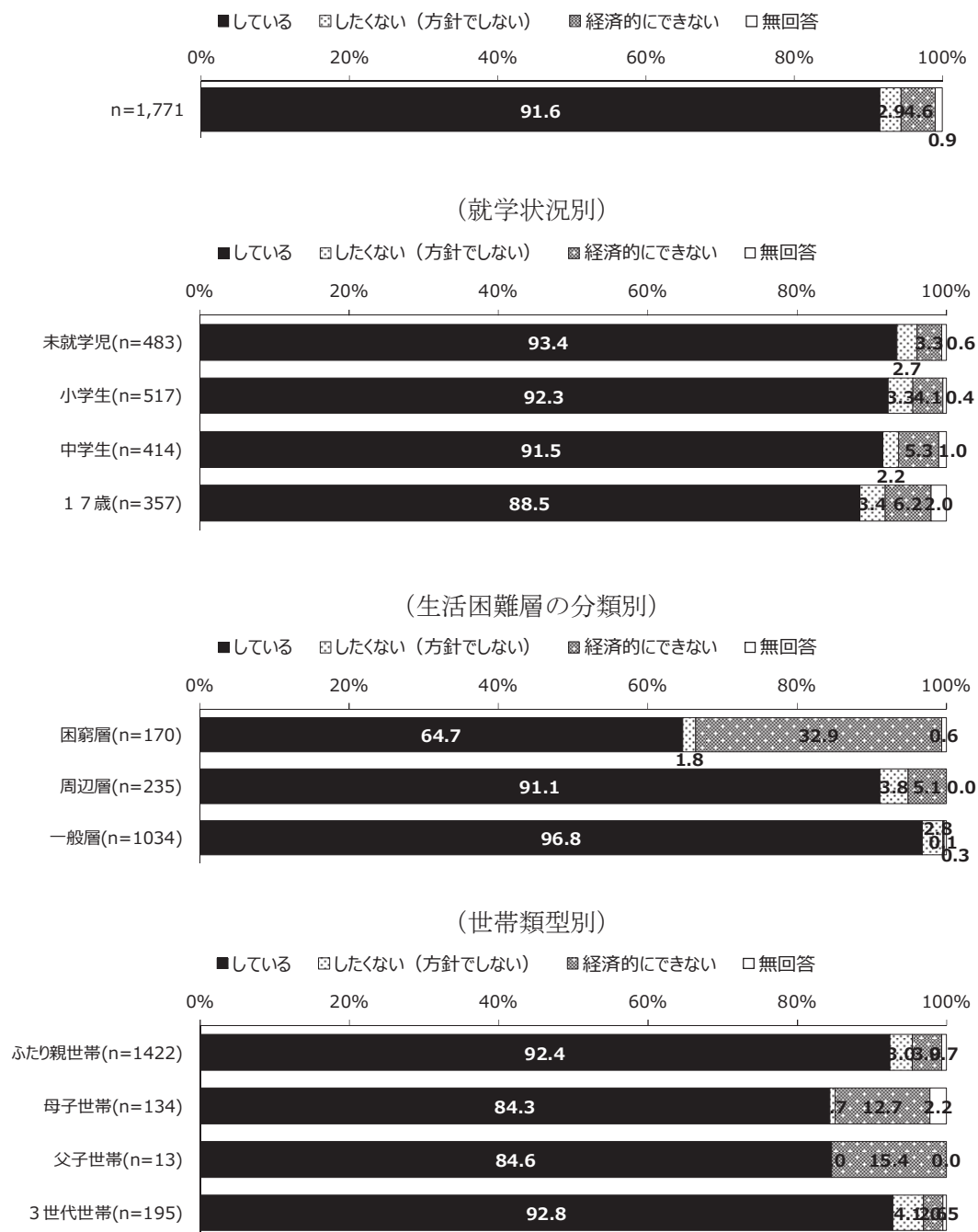
② 毎年新しい洋服・靴を買う

子どもに毎年新しい洋服・靴を買うについて、「している」と回答した割合は全体で 91.6%、未就学児で 93.4%、小学生で 92.3%、中学生で 91.5%、17 歳で 88.5%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 32.9%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で 92.4%、3 世代世帯で 92.8%、母子世帯で 84.3%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもに毎年新しい洋服・靴を買う】



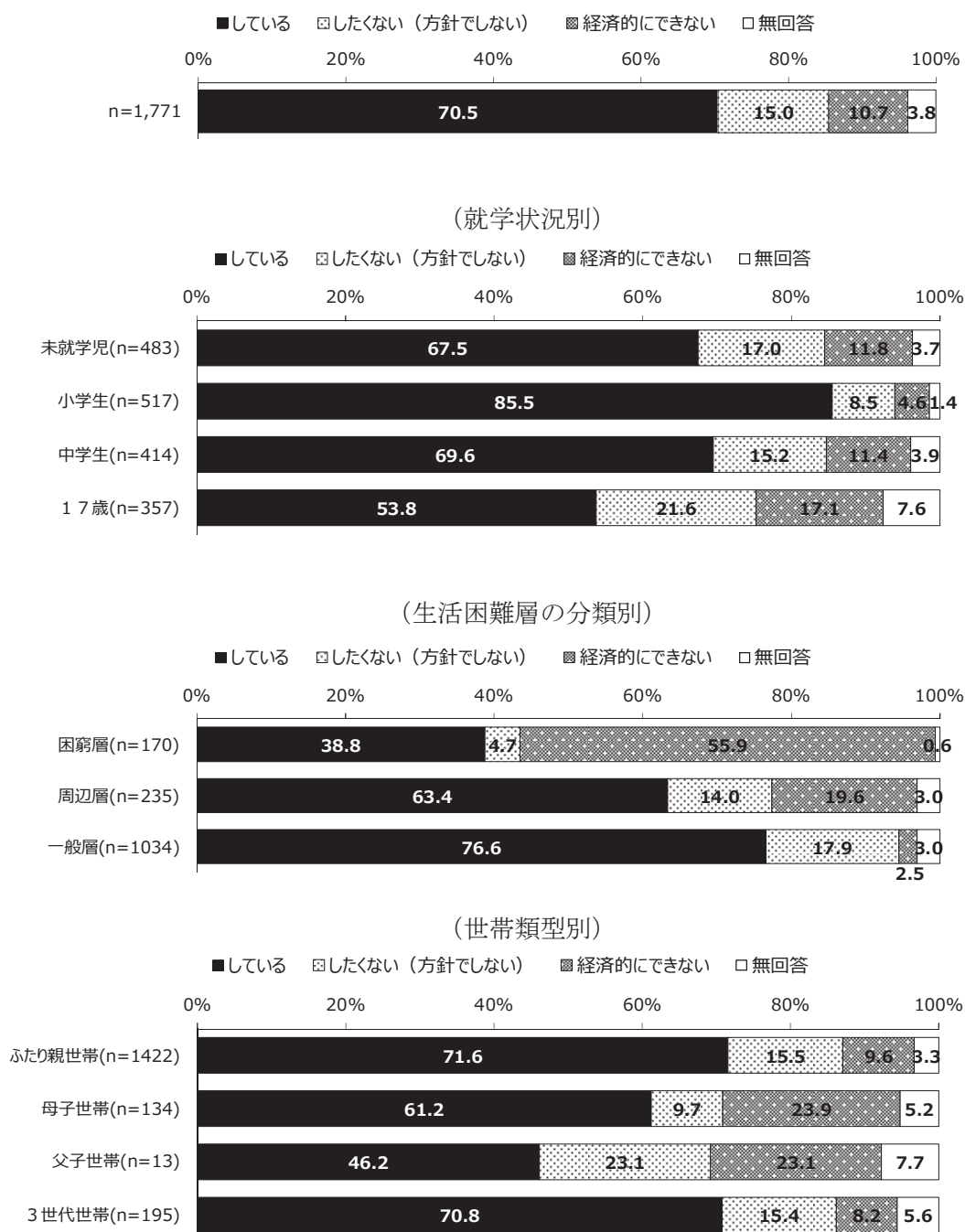
③ 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

子どもを習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせるについて、「している」と回答した割合は全体で 70.5%、未就学児で 67.5%、小学生で 85.5%、中学生で 69.6%、17 歳で 53.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 55.9%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で 71.6%、3 世代世帯で 70.8%、母子世帯で 61.2%と、母子世帯で低くなっており、「経済的にできない」と回答した割合は 23.9%と高くなっている。

【子どもを習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる】



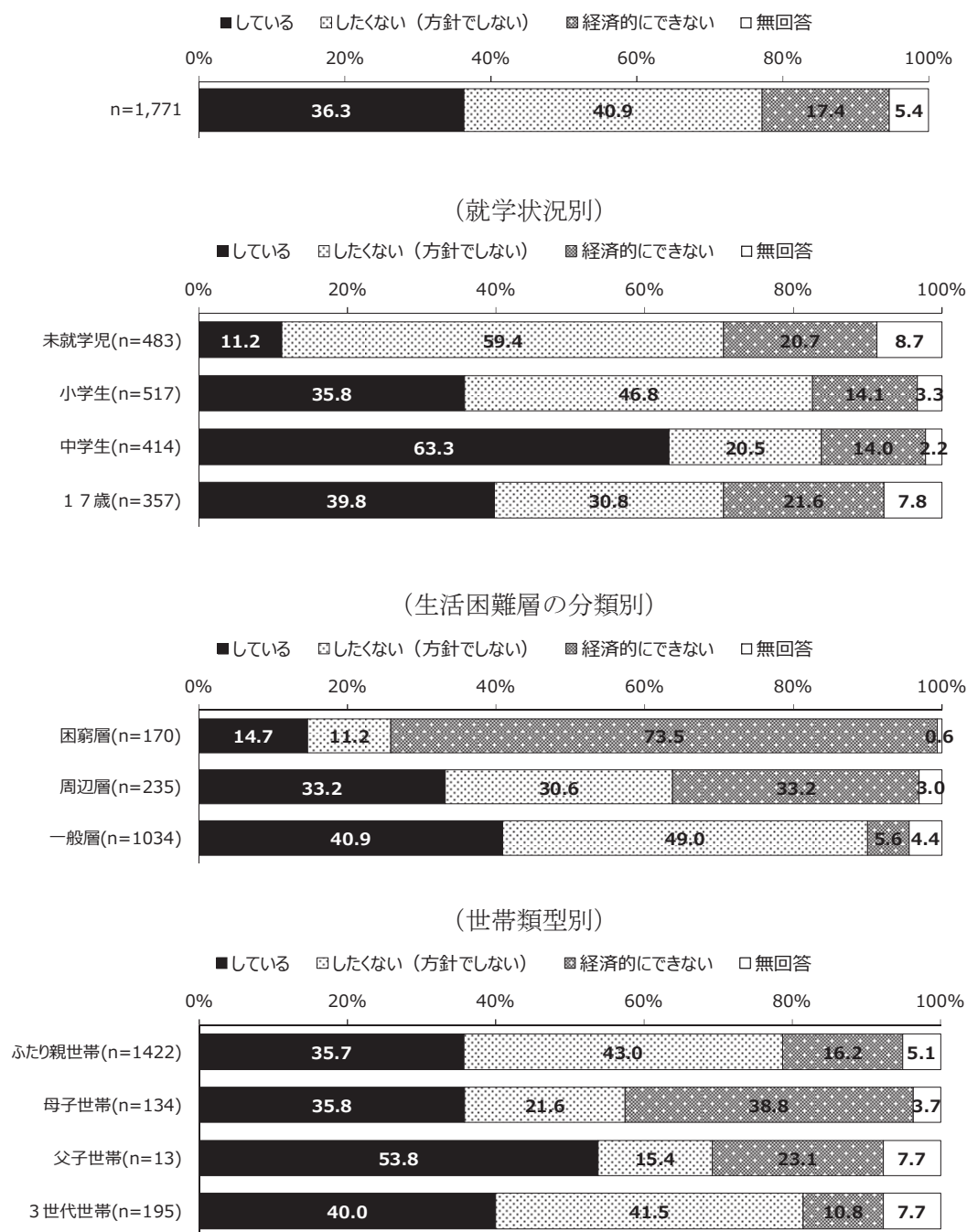
④ 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

子どもを学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）について、「している」と回答した割合は全体で 36.3%、未就学児で 11.2%、小学生で 35.8%、中学生で 63.3%、17 歳で 39.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 73.5%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯 35.7%、母子世帯 35.8%、3 世代世帯 40.0%と大きな差はみられないが、母子世帯では「経済的にできない」が 38.8%と高くなっている。

【子どもを学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）】



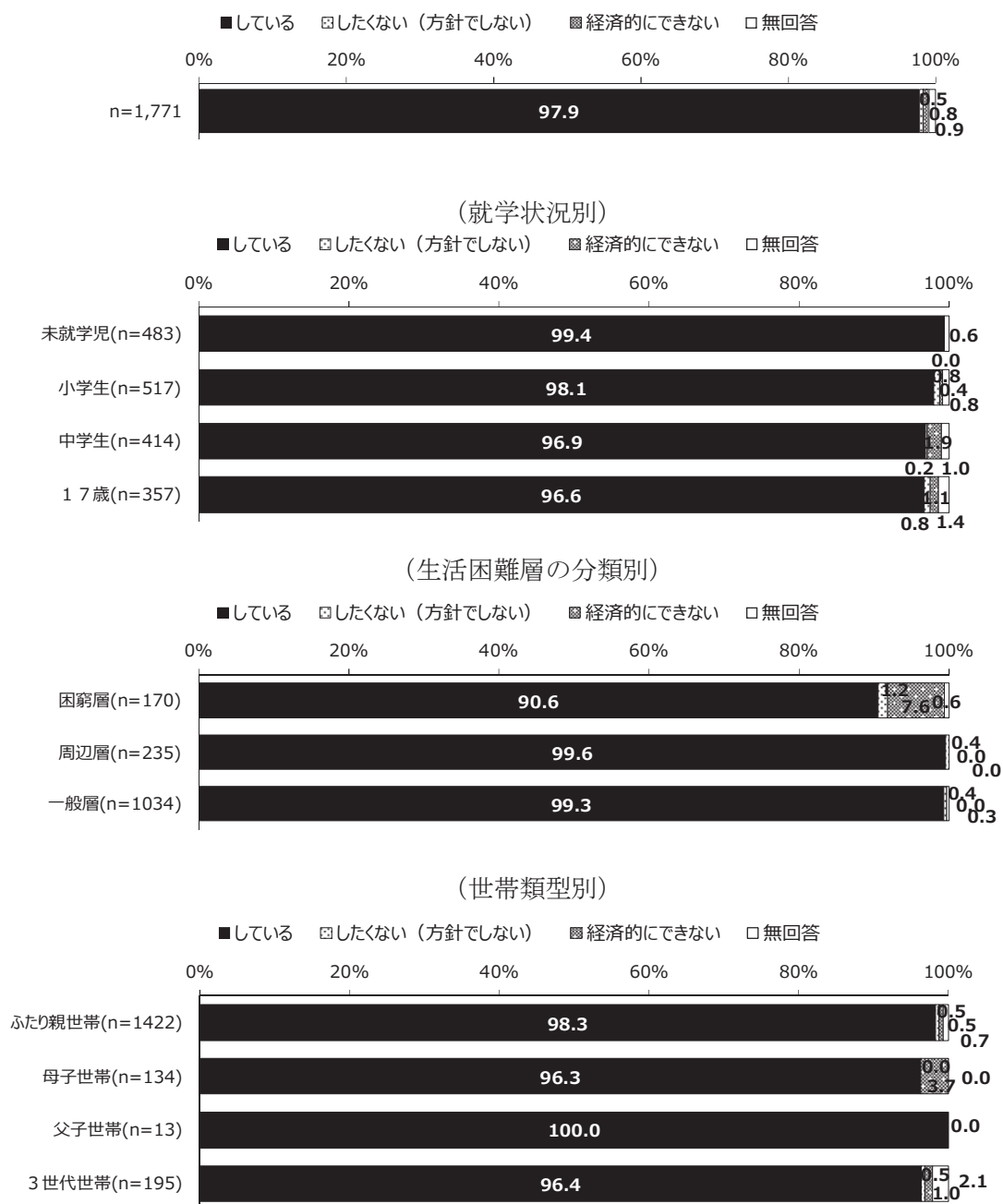
⑤ 誕生日のお祝いをする

子どものお誕生日のお祝いをするについて、「している」と回答した割合は全体で 97.9%、未就学児で 99.4%、小学生で 98.1%、中学生で 96.9%、17 歳で 96.6%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合はいずれも 9 割を超えているが、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 7.6%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はいずれも 9 割を超えているが、母子世帯では「経済的にできない」と回答した割合が 3.7%と高くなっている。

【子どものお誕生日のお祝いをする】



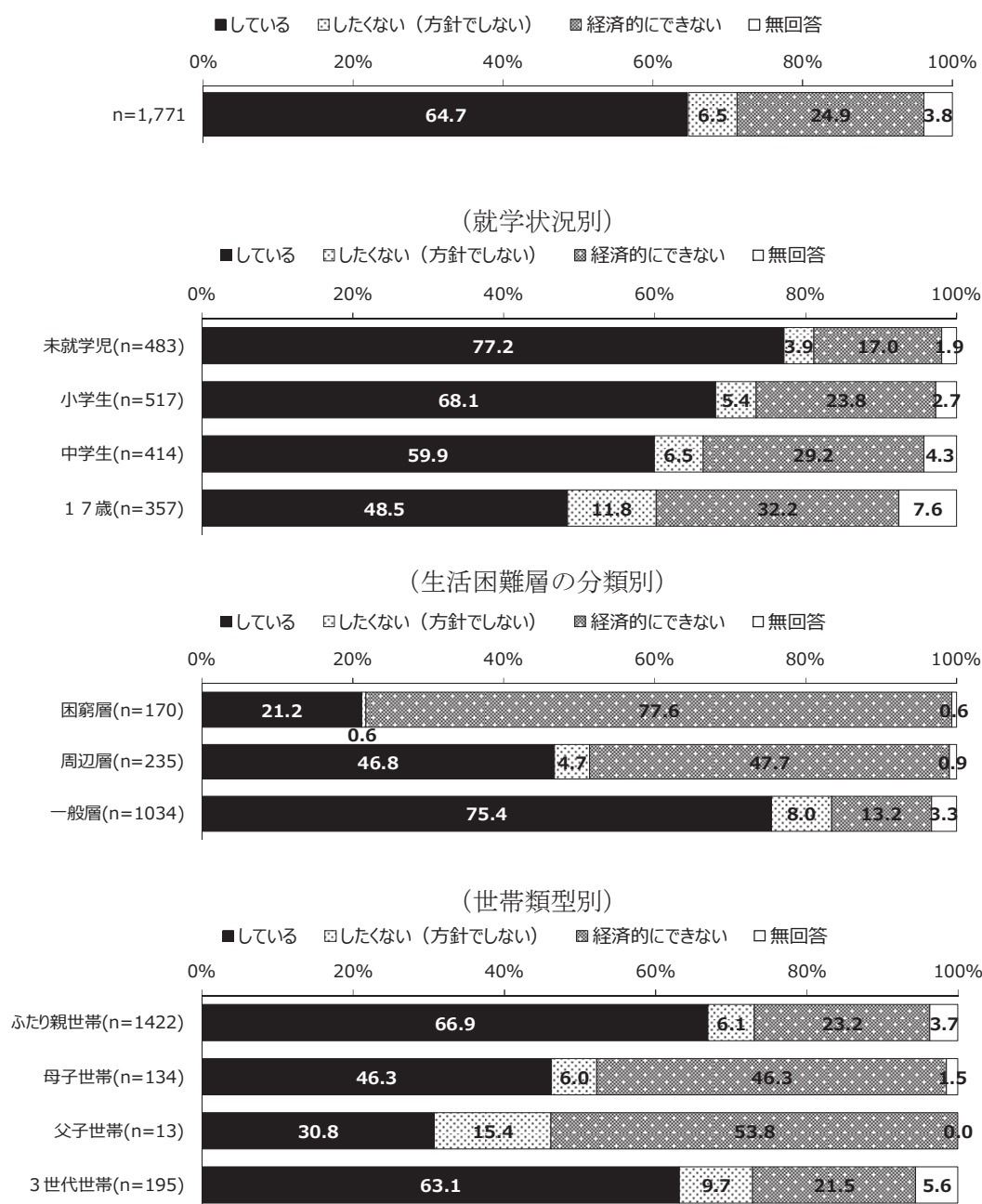
⑥ 1年に1回くらい家族旅行に行く

子どもと1年に1回くらい家族旅行に行くについて、「している」と回答した割合は全体で64.7%、未就学児で77.2%、小学生で68.1%、中学生で59.9%、17歳で48.5%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が77.6%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で66.9%、3世代世帯で63.1%、母子世帯で46.3%と、母子世帯が低くなっており、「経済的にできない」と回答した割合は46.3%と高くなっている。

【子どもと1年に1回くらい家族旅行に行く】



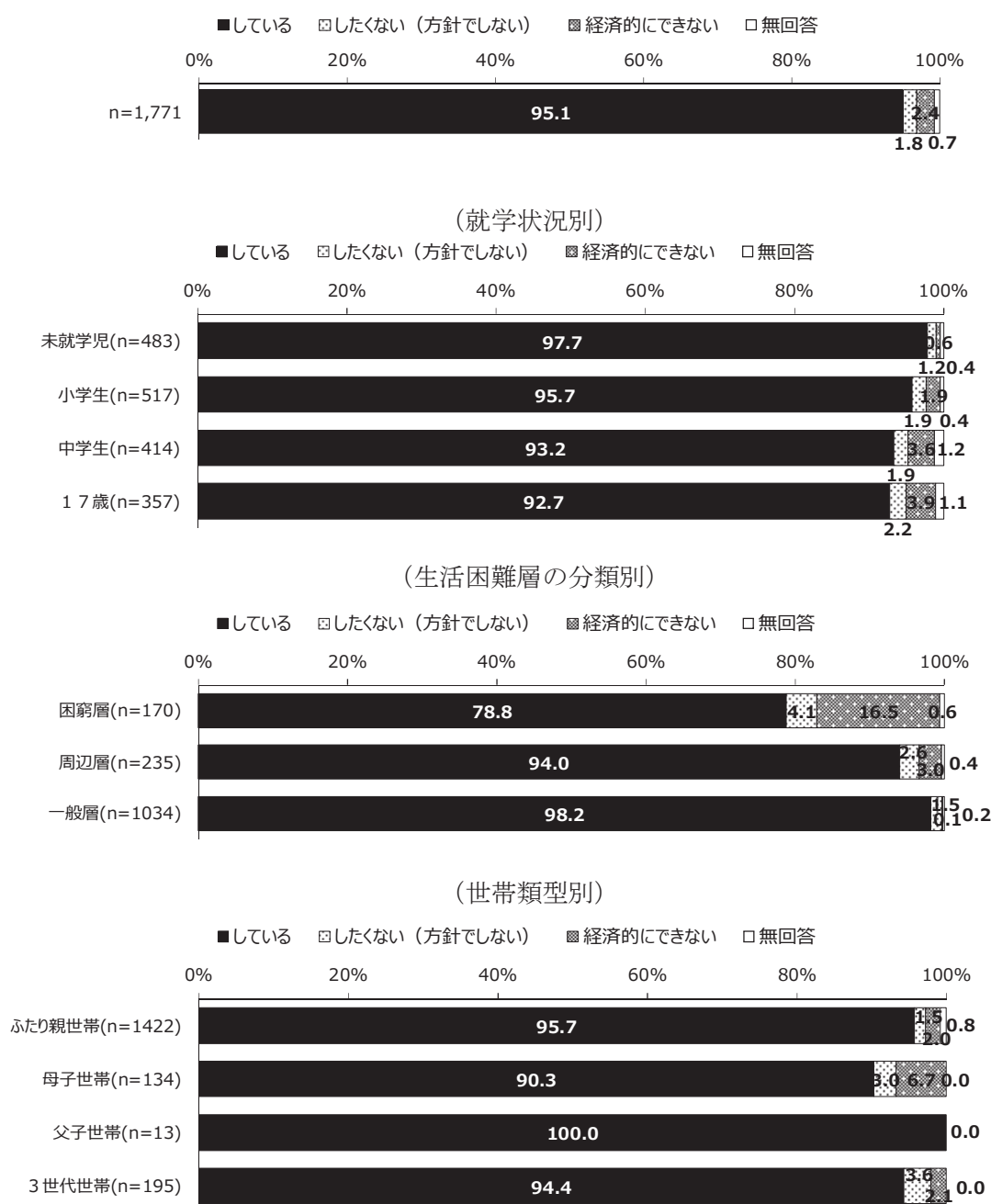
⑦ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

子どもにクリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげるについて、「している」と回答した割合は全体で 95.1%、未就学児で 97.7%、小学生で 95.7%、中学生で 93.2%、17 歳で 92.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 16.5%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はいずれも 9 割を超えているが、母子世帯では「経済的にできない」と回答した割合が 6.7%と高くなっている。

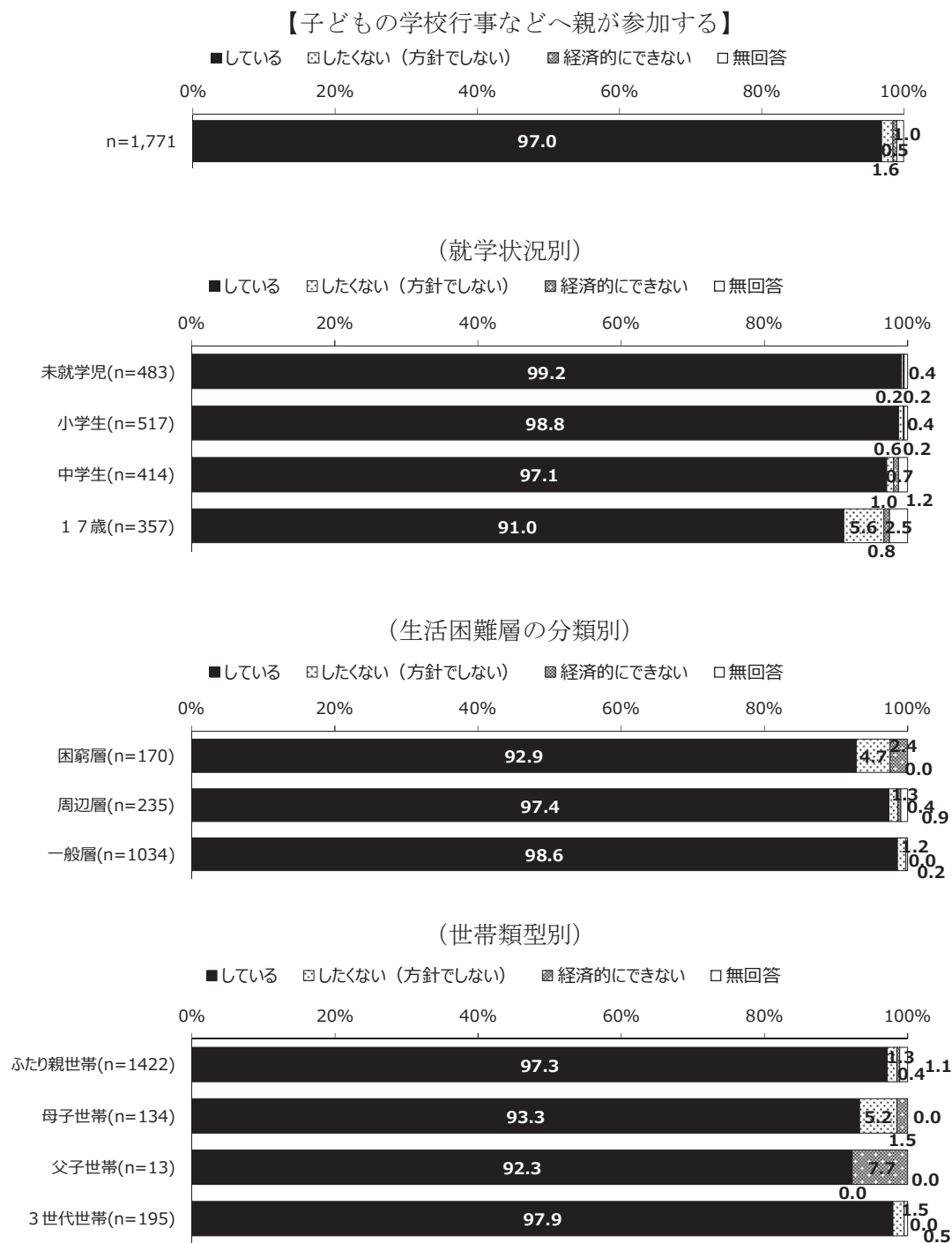
【子どもにクリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる】



⑧ 子どもの学校行事などへ親が参加する

子どもの学校行事などへ親が参加するについて、「している」と回答した割合は全体で 97.0%、未就学児で 99.2%、小学生で 98.8%、中学生で 97.1%、17 歳で 91.0%となっている。

生活困難層の分類別、世帯類型別にみても、「している」と回答した割合はいずれも 9 割を超えており、大きな差はみられない。



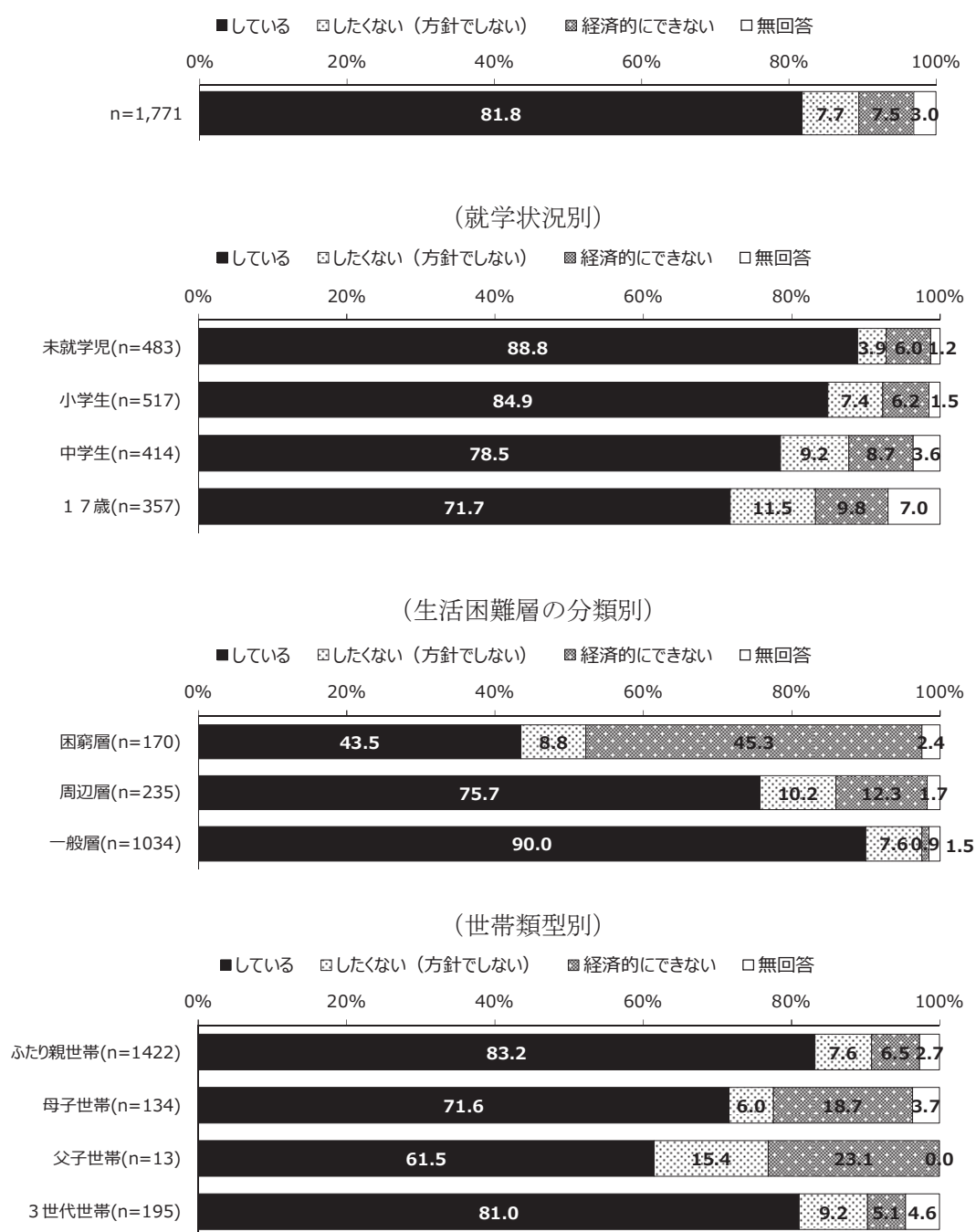
⑨ 子どもの年齢に合った本を購入する

子どもの年齢に合った本を購入するについて、「している」と回答した割合は全体で 81.8%、未就学児で 88.8%、小学生で 84.9%、中学生で 78.5%、17 歳で 71.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 45.3%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で 83.2%、3 世代世帯で 81.0%、母子世帯で 71.6%と、母子世帯で低くなっており、「経済的にできない」と回答した割合は 18.7%と高くなっている。

【子どもの年齢に合った本を購入する】



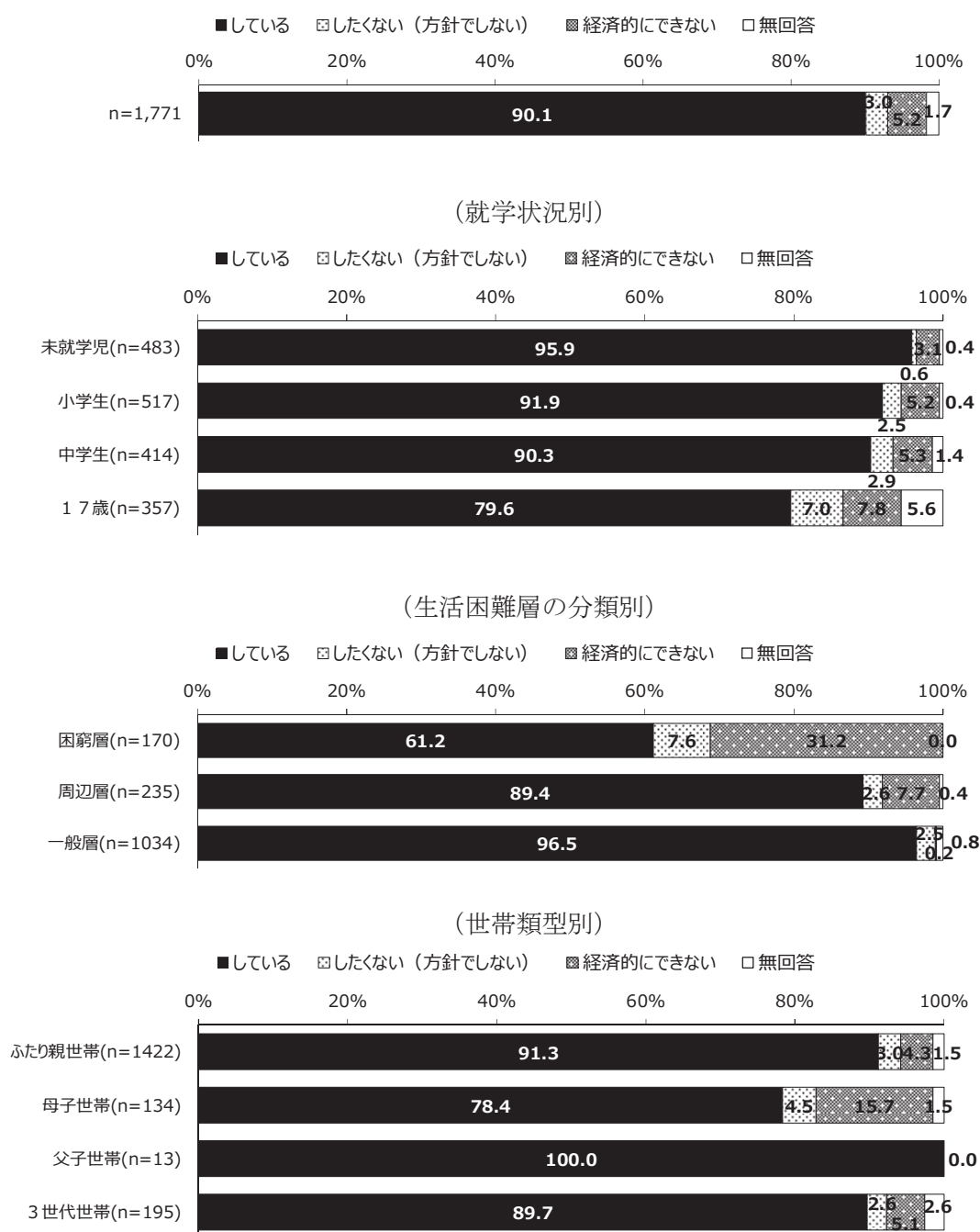
⑩ 子ども用のスポーツ用品・おもちゃを購入する

子ども用のスポーツ用品・おもちゃを購入するについて、「している」と回答した割合は全体で90.1%、未就学児で95.9%、小学生で91.9%、中学生で90.3%、17歳で79.6%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が31.2%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で91.3%、3世代世帯で89.7%、母子世帯で78.4%と、母子世帯で低くなっており、「経済的にできない」と回答した割合は15.7%と高くなっている。

【子ども用のスポーツ用品・おもちゃを購入する】



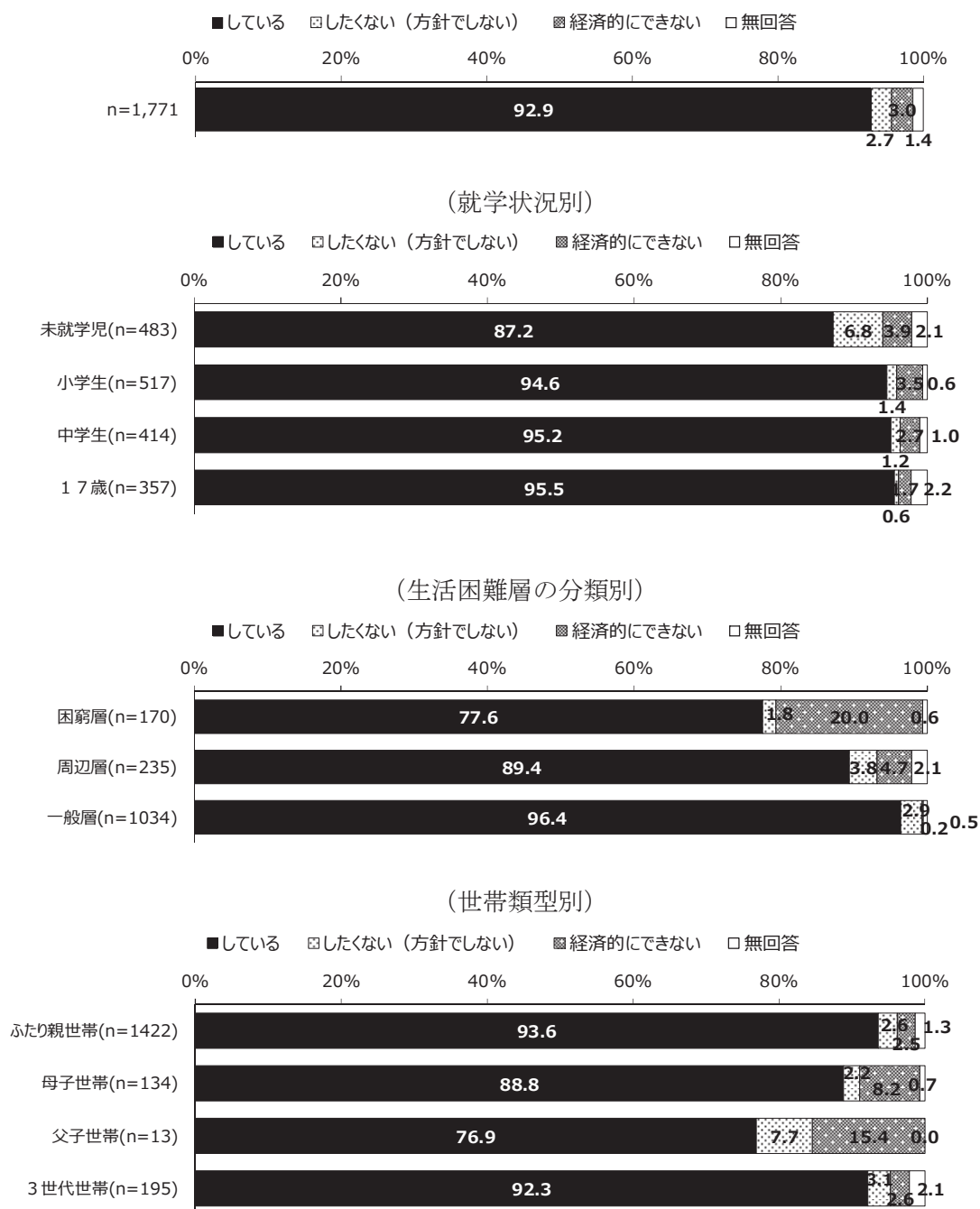
⑪ 子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所を用意する

子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所を用意するについて、「している」と回答した割合は全体で 92.9%、未就学児で 87.2%、小学生で 94.6%、中学生で 95.2%、17 歳で 95.5% となっている。

生活困難層の分類別にみると、「している」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では「経済的にできない」と回答した割合が 20.0% と高くなっている。

世帯類型別にみると、「している」と回答した割合はふたり親世帯で 93.6%、3 世代世帯で 92.3%、母子世帯で 88.8% と、母子世帯で低くなっている。

【子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所を用意する】



問 19（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

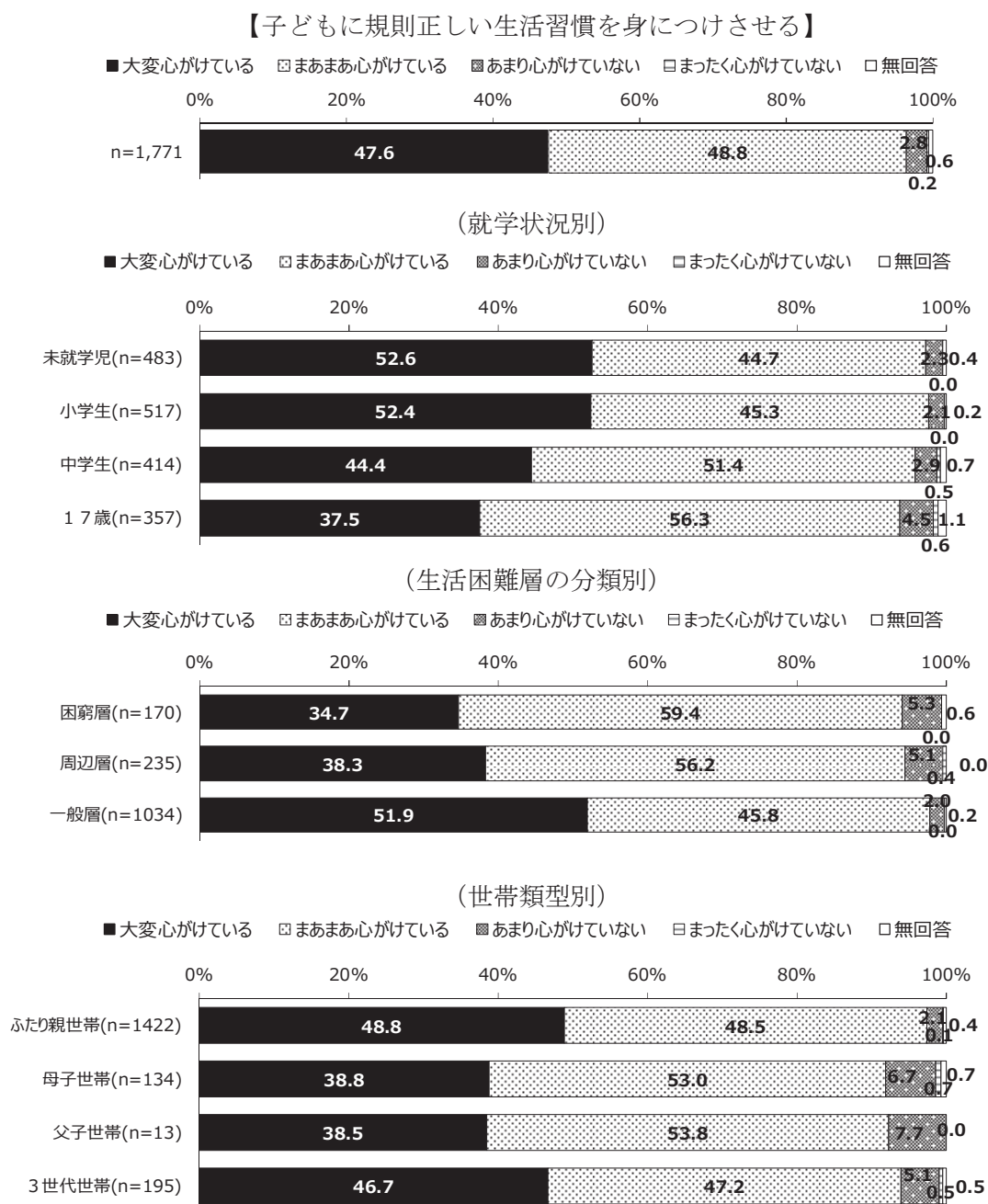
次の①～⑤について、お子さんとの関わりの中で家庭で心がけていることがありますか。

① 規則正しい生活習慣を身につけさせる

子どもに規則正しい生活習慣を身につけさせるについて、「大変心がけている」と回答した割合は全体で 47.6%、未就学児で 52.6%、小学生で 52.4%、中学生で 44.4%、17 歳で 37.5%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「大変心がけている」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 34.7%となっている。

世帯類型別にみると、「大変心がけている」と回答した割合は母子世帯で 38.8%と低くなっている。



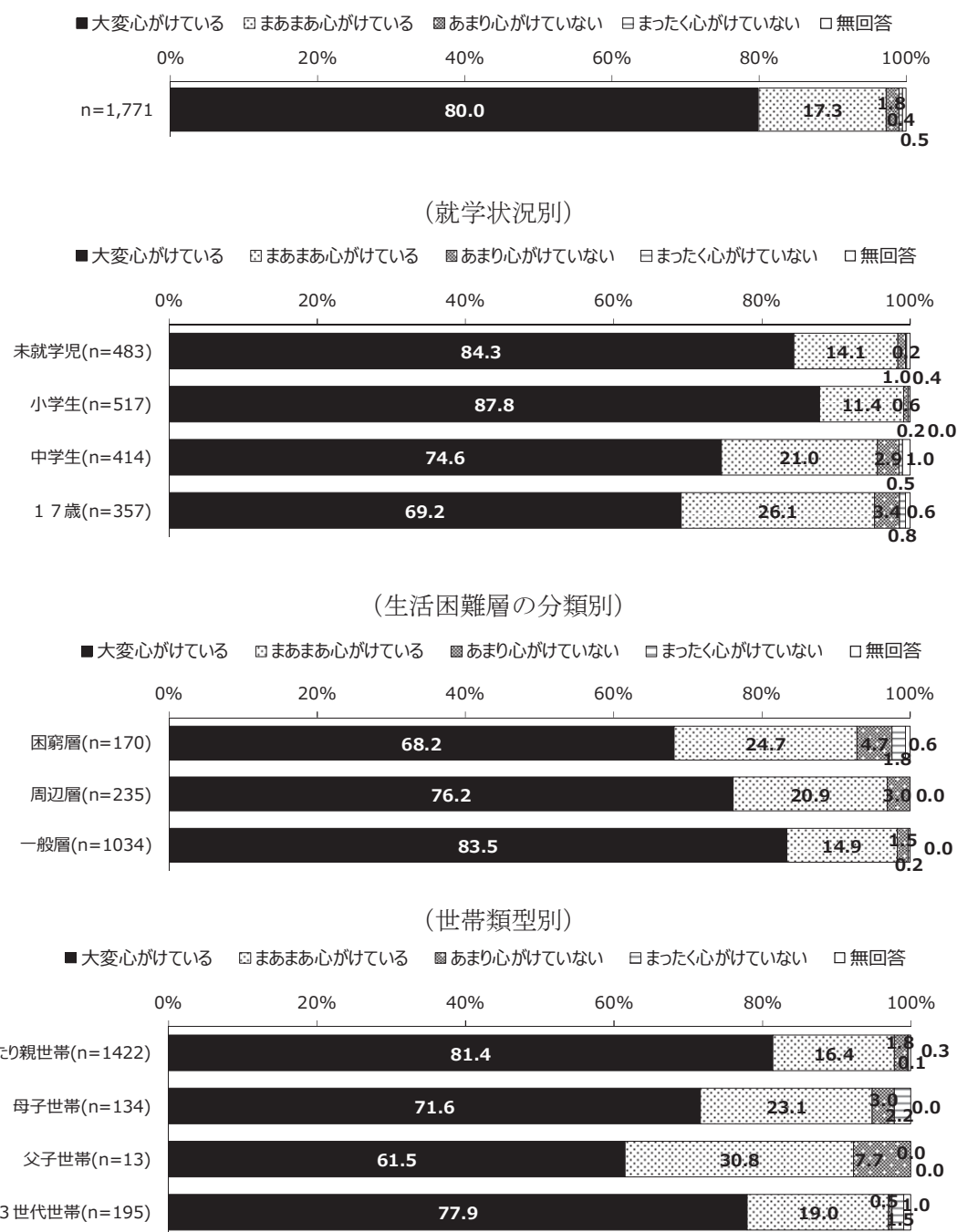
② 毎日、朝ごはんを食べさせる

子どもに毎日、朝ごはんを食べさせるについて、「大変心がけている」と回答した割合は全体で80.0%、未就学児で84.3%、小学生で87.8%、中学生で74.6%、17歳で69.2%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「大変心がけている」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では68.2%となっている。

世帯類型別にみると、「大変心がけている」と回答した割合は母子世帯で71.6%となっている。

【子どもに毎日、朝ごはんを食べさせる】



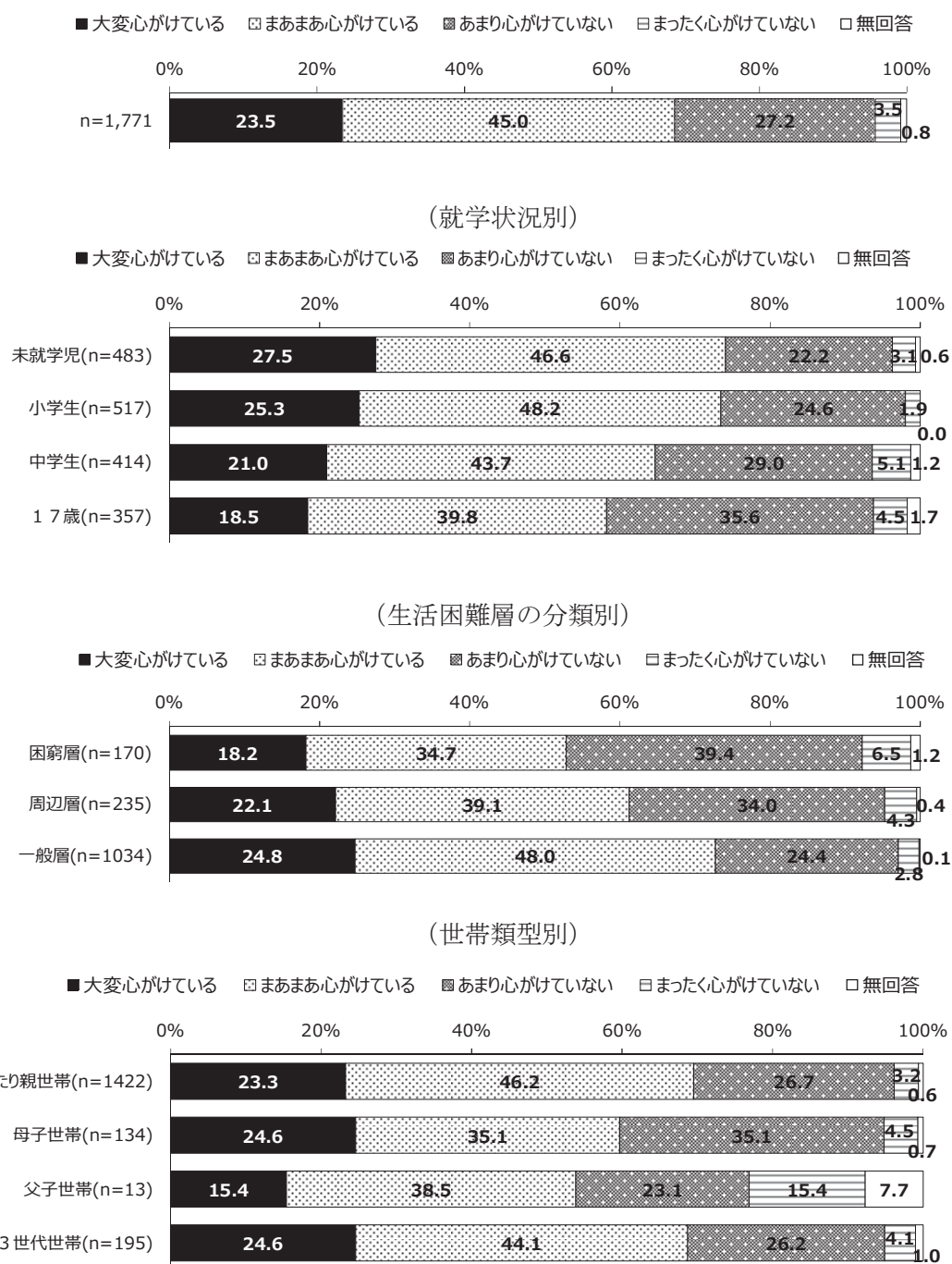
③ 本や新聞を読むようにすすめる

子どもに本や新聞を読むようにすすめるについて、『心がけている』（「大変心がけている」と「まあまあ心がけている」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 68.5%、未就学児で 74.1%、小学生で 73.5%、中学生で 64.7%、17 歳で 58.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『心がけている』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 52.9%となっている。

世帯類型別にみると、『心がけている』と回答した割合はふたり親世帯で 69.5%、3 世代世帯で 68.7%、母子世帯で 59.7%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもに本や新聞を読むようにすすめる】



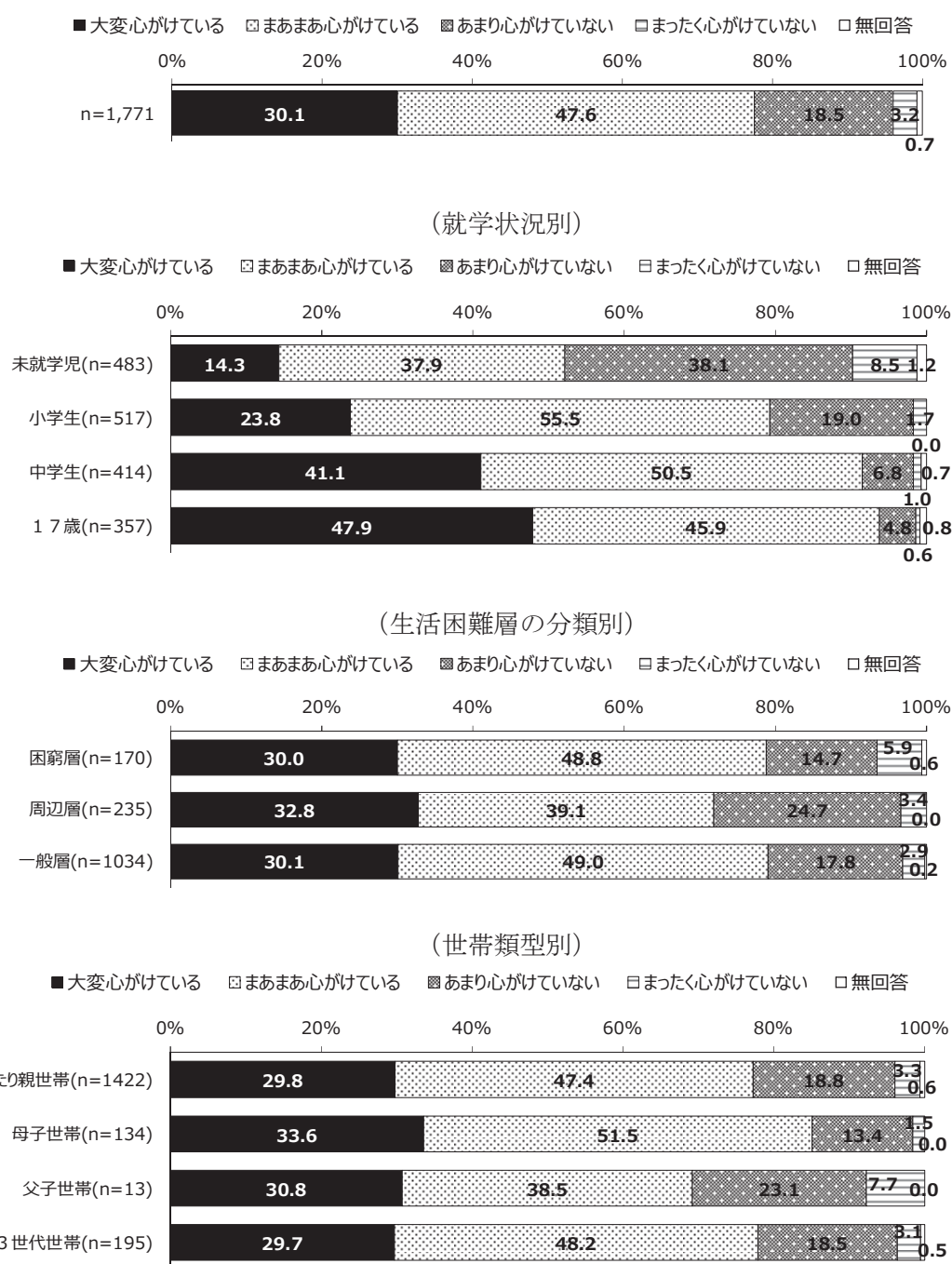
④ 将来や進路についての話をする

子どもに将来や進路についての話をするについて、『心がけている』（「大変心がけている」と「まあまあ心がけている」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 77.7%、未就学児で 52.2%、小学生で 79.3%、中学生で 91.6%、17 歳で 93.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『心がけている』と回答した割合はすべての分類において 7 割を超えており、大きな差はみられない。

世帯類型別にみると、『心がけている』と回答した割合はふたり親世帯で 77.2%、3 世代世帯で 77.9%、母子世帯で 85.1%と、母子世帯で高くなっている。

【子どもに将来や進路についての話をする】



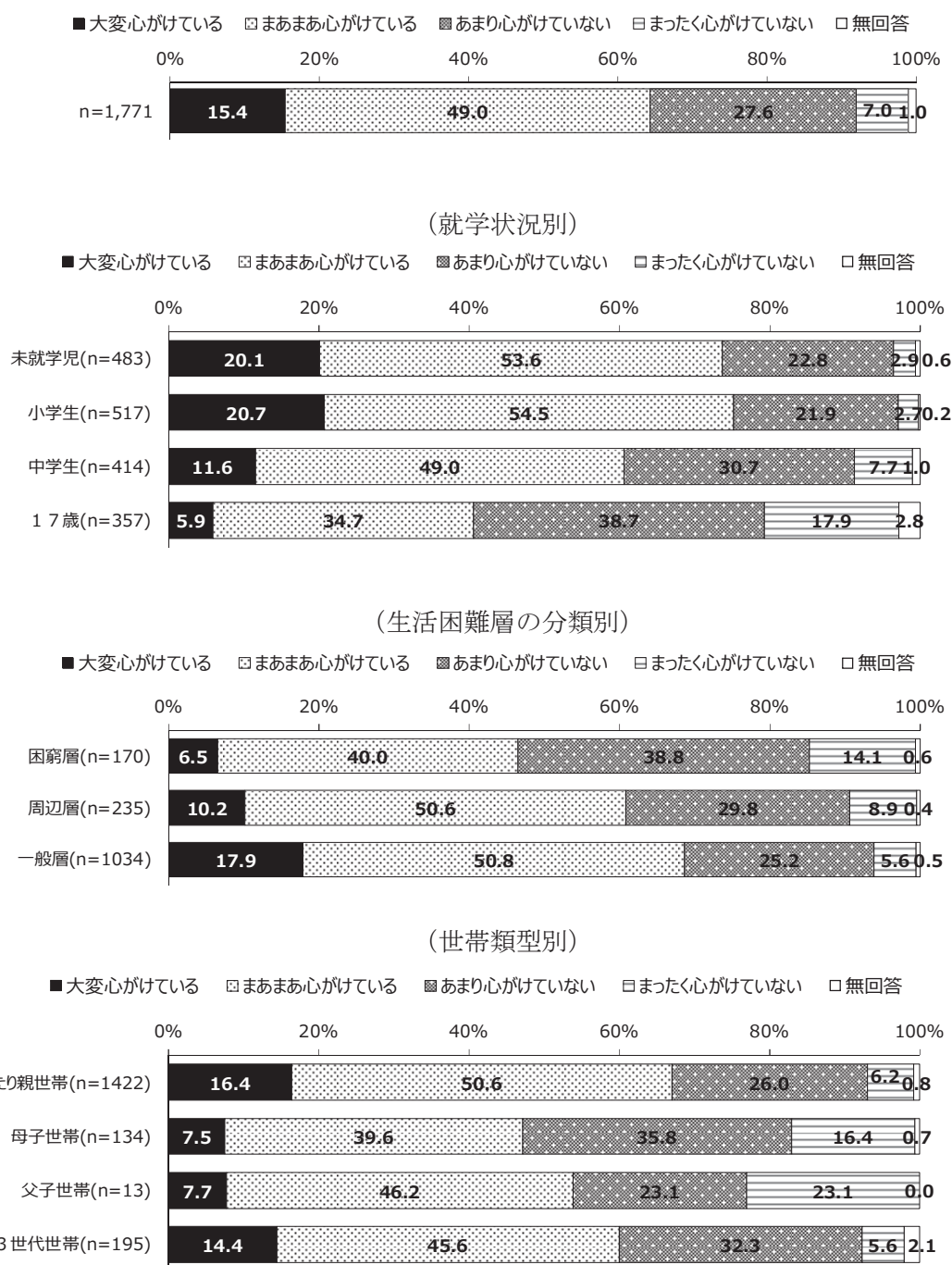
⑤ 勉強を教える

子どもに勉強を教えるについて、『心がけている』（「大変心がけている」と「まあまあ心がけている」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 64.4%、未就学児で 73.7%、小学生で 75.2%、中学生で 60.6%、17 歳で 40.6%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『心がけている』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 46.5%となっている。

世帯類型別にみると、『心がけている』と回答した割合はふたり親世帯で 67.0%、3 世代世帯で 60.0%、母子世帯で 47.1%と、母子世帯で低くなっている。

【子どもに勉強を教える】



6 子どもの進路

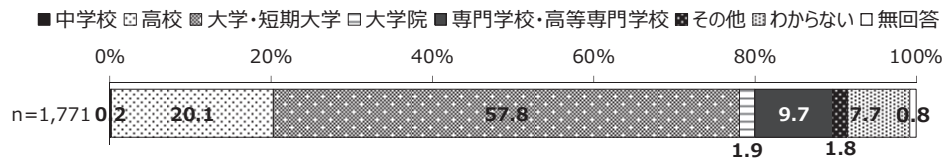
問 20（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。（希望されていきましたか。）

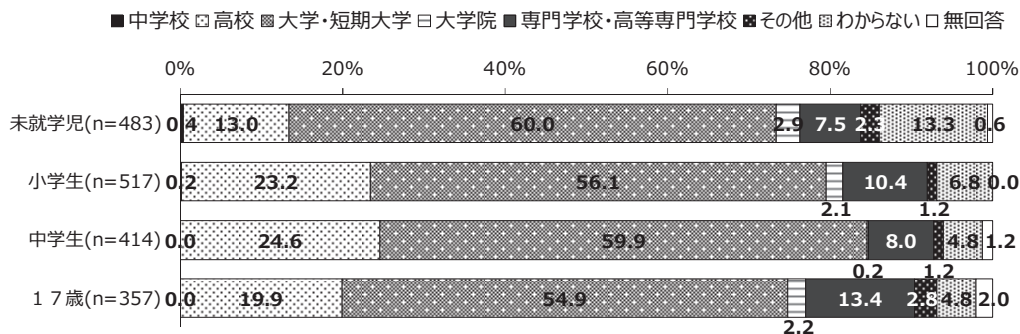
希望する子どもの最終学歴について、「大学・短期大学」と回答した割合は全体で 57.8%と最も高く、次いで「高校」20.1%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「大学・短期大学」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、「高校」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっている。

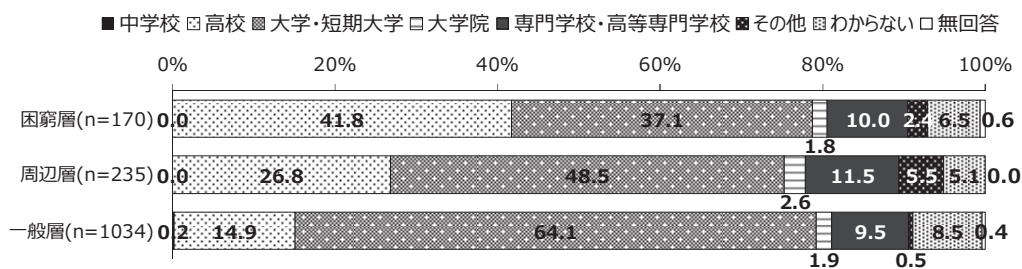
【希望する子どもの最終学歴】



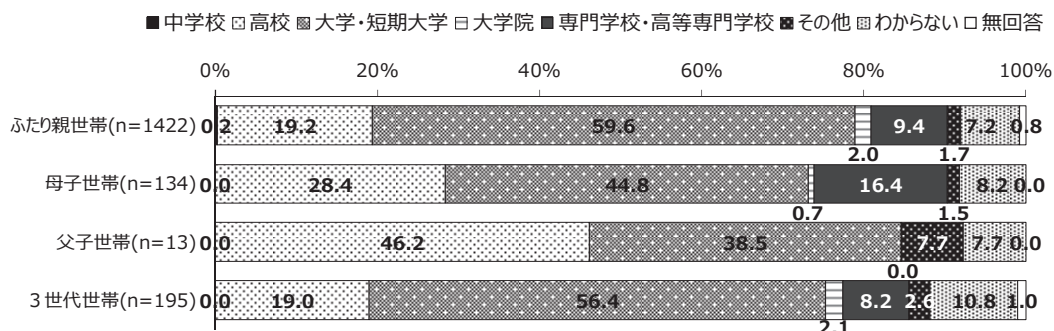
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



問 20-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたは、お子さんが問 20 の希望通りの学校まで進むことになると思いますか。

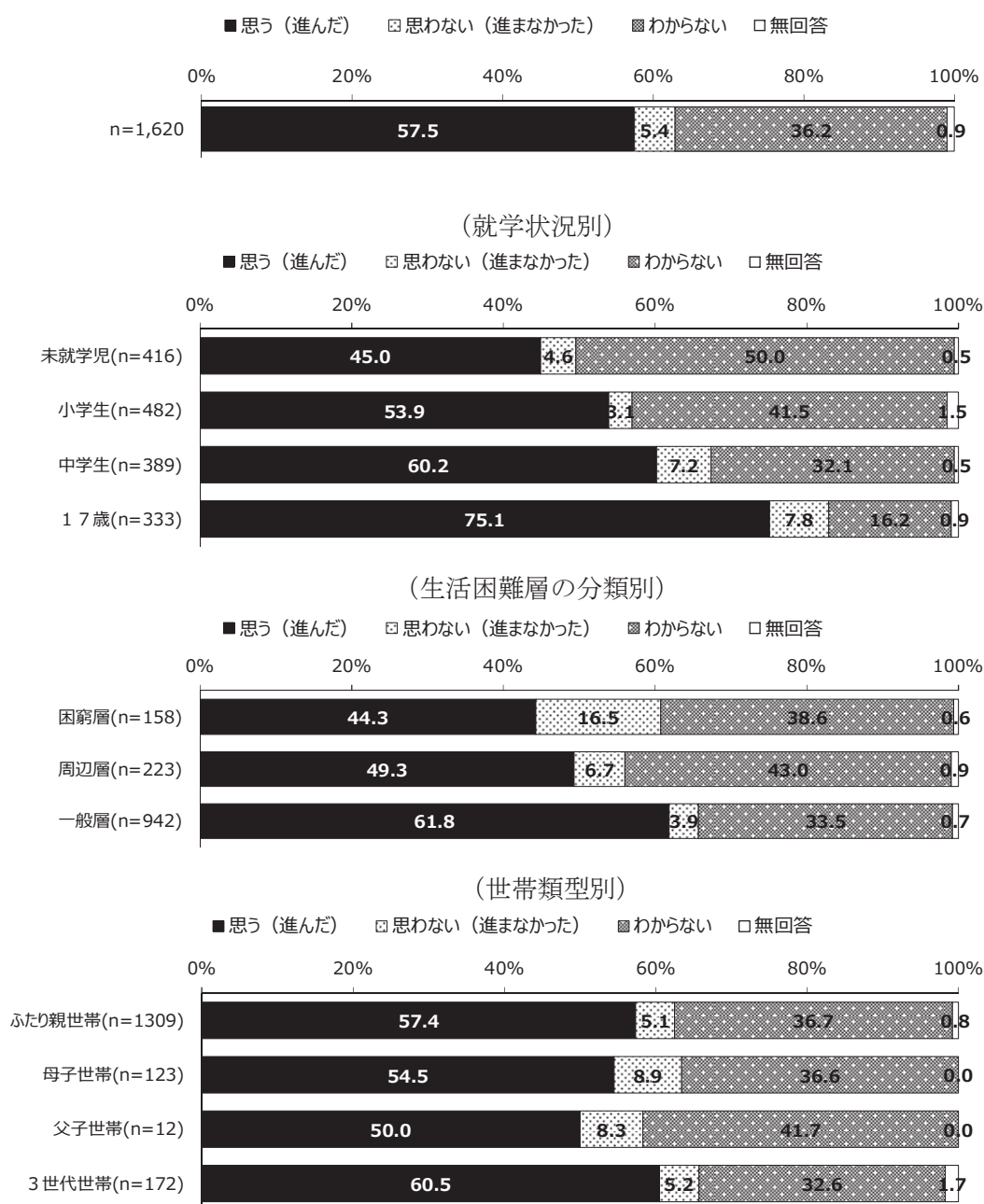
（希望通りの学校に進まれましたか。）

※回答者は、進学を「中学校」、「高校」、「大学・短期大学」、「大学院」、「専門学校・高等専門学校」、「その他」と回答した保護者。

希望通り進学できると思うかについて、「思う（進んだ）」と回答した割合は全体で 57.5%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、「思う（進んだ）」と回答した割合は、一般層では 61.8%であるのに対し、困窮層で 44.3%、周辺層では 49.3%となっており、一般層とは差が見られる。

【希望どおり進学できると思うか】



問 20-2（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

その理由について教えてください。

※回答者は、希望通りの学校まで進むことになると思いますか。

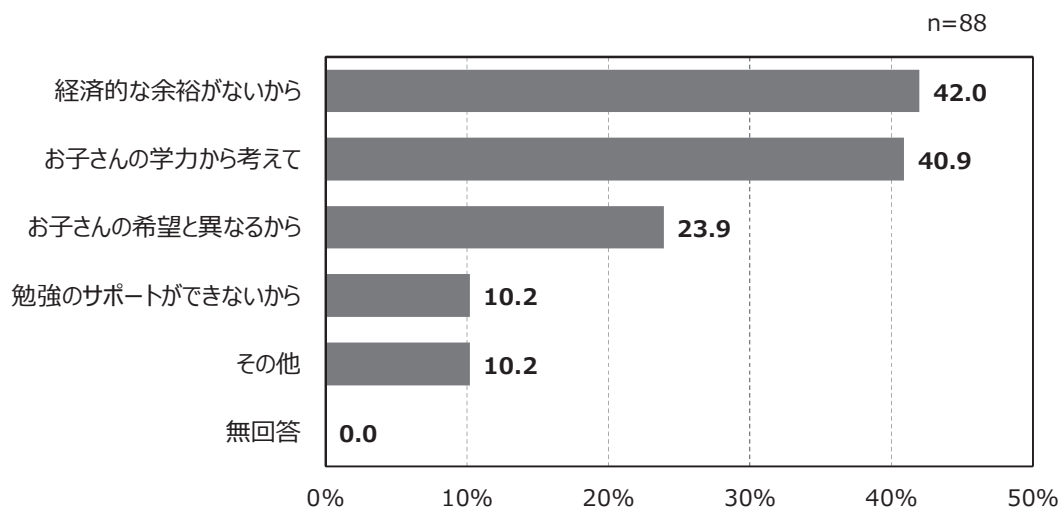
（希望通りの学校に進めましたか。）を「思わない（進まなかった）」と回答した保護者。

希望通り進学できると思わない理由について、「経済的な余裕がないから」と回答した割合は全体で42.0%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」40.9%となっている。

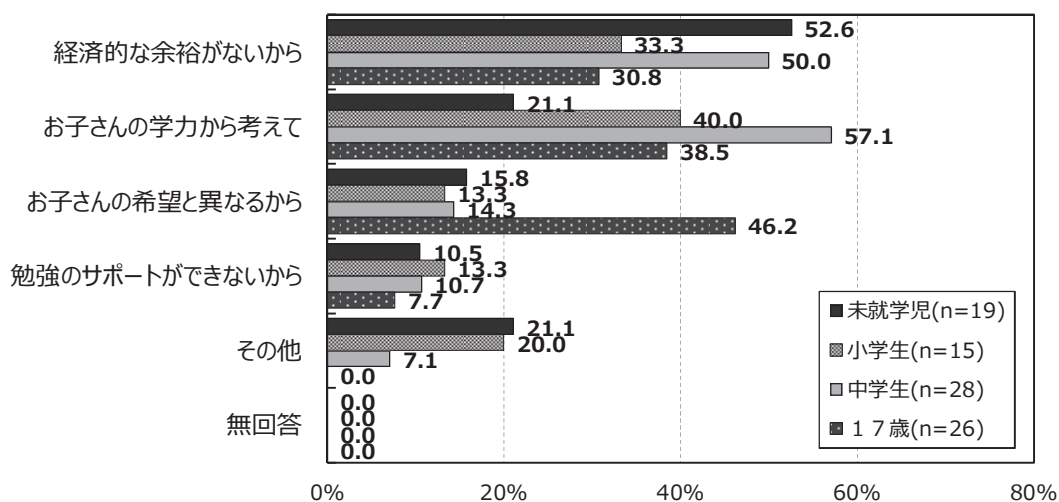
就学状況別にみると、中学生では「お子さんの学力から考えて」が最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「経済的な余裕がないから」と回答した割合が7割を超えている。

【希望通り進学できると思わない理由】



（就学状況別）



(生活困難層の分類別)

	回答数	経済的な余裕がないから	お子さんの学力から考えて	お子さんの希望と異なるから	勉強のサポートがでないから	その他	無回答
困窮層	26	73.1%	34.6%	11.5%	19.2%	3.8%	0.0%
周辺層	15	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%
一般層	37	16.2%	40.5%	40.5%	8.1%	13.5%	0.0%

(世帯類型別)

	回答数	経済的な余裕がないから	お子さんの学力から考えて	お子さんの希望と異なるから	勉強のサポートがでないから	その他	無回答
ふたり親世帯	67	43.3%	40.3%	22.4%	13.4%	9.0%	0.0%
母子世帯	11	45.5%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
父子世帯	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
3世代世帯	9	33.3%	44.4%	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%

7 子どもの支援ニーズ

問 21（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

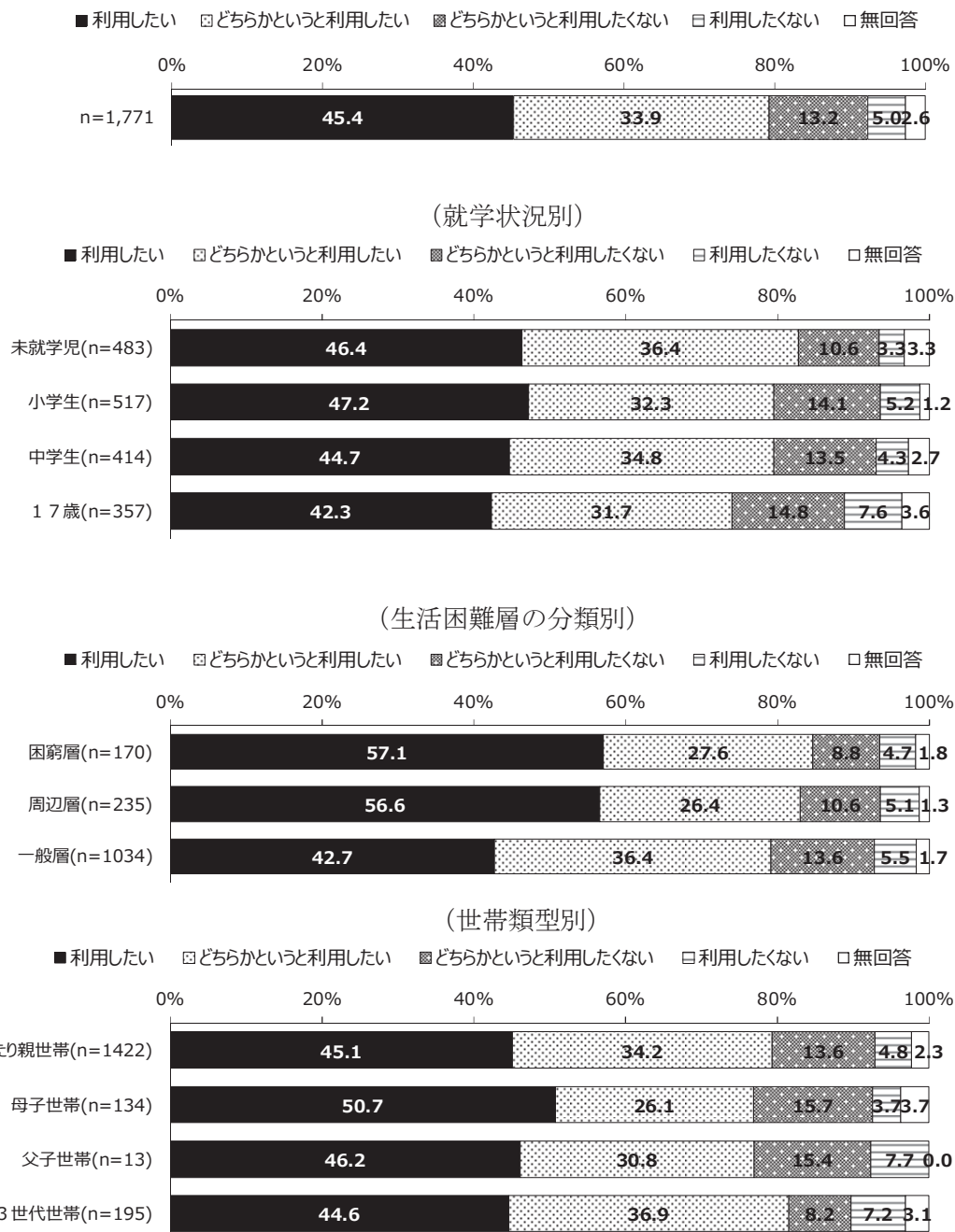
自宅や学校以外の場所で、無料で、お子さんが大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所があったら利用したいと思いますか。

無料で勉強を教えてもらえる場所の利用希望について、『利用したい』（「利用したい」と「どちらかという利用したい」を合わせた割合）と回答した割合は全体で79.3%となっている。

就学状況別にみると、『利用したい』と回答した割合はすべての分類で7割を超えている。

生活困難層の分類別にみると、『利用したい』と回答した割合はすべての分類で7割を超えており、困難度が高いほど高くなっている。

【無料で勉強を教えてもらえる場所の利用希望】



問 21-1 (就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者)

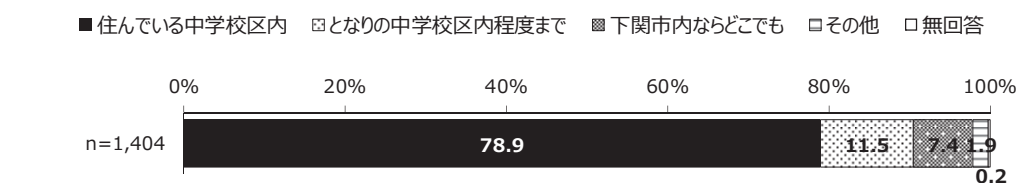
その場所は、どこにあれば利用したいと思いますか。

※回答者は、大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答した保護者。

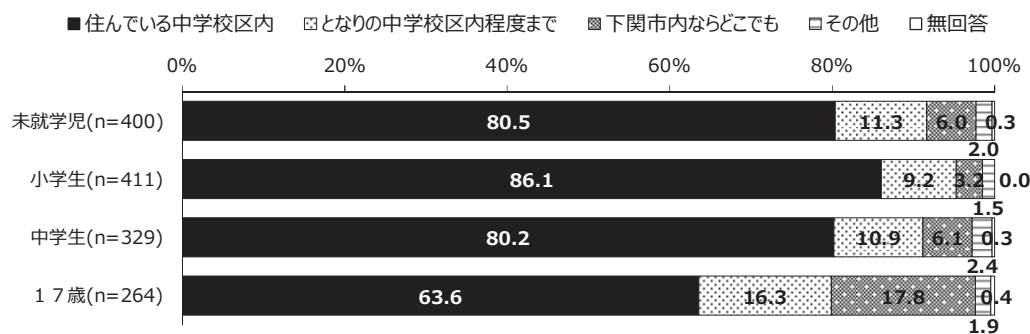
利用したい場所について、「住んでいる中学校区内」と回答した割合は全体で 78.9%と最も高くなっている。

就学状況別にみると、17歳では「となりの中学校区内程度まで」、「下関市内ならどこでも」と回答した割合がそれぞれ1割台半ばと高くなっている。

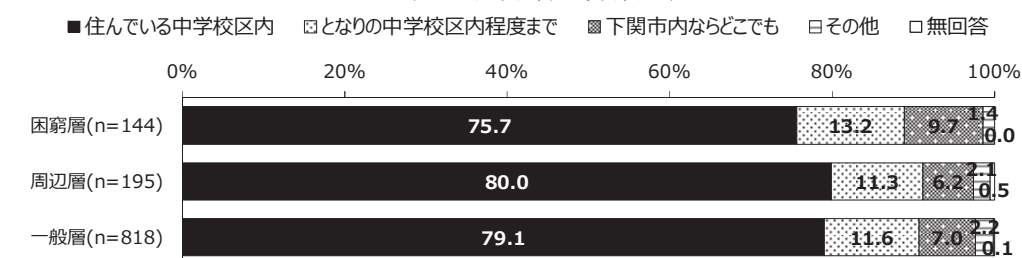
【利用したい場所】



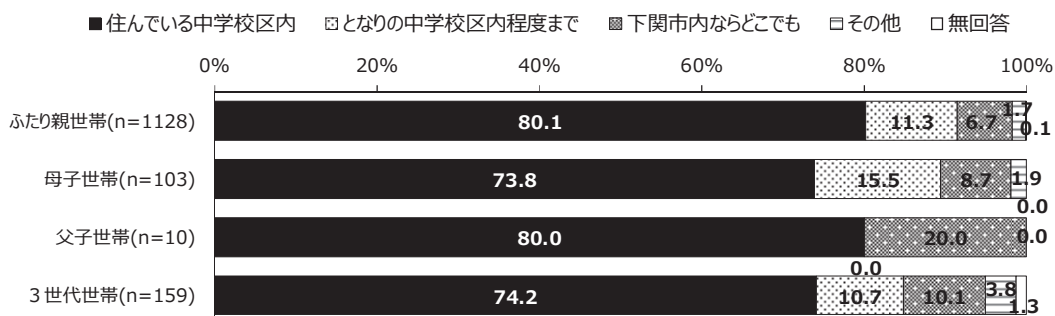
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



問 21-2 (就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者)

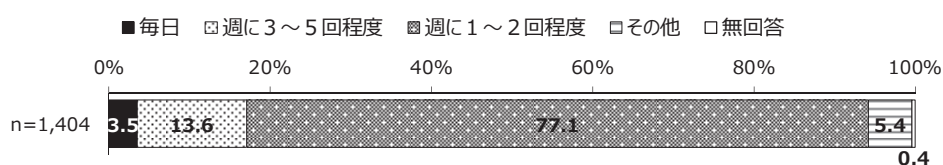
その場所は、どのくらい利用したいと思いますか。

※回答者は、大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答した保護者。

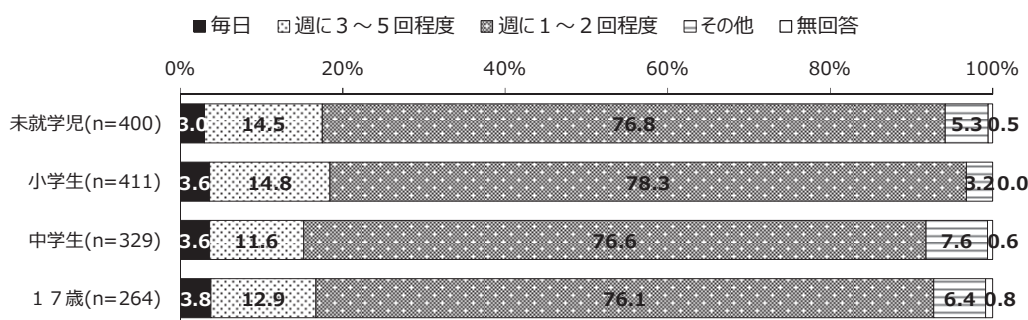
利用したい頻度について、「週に1～2回程度」と回答した割合は全体で77.1%と最も高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、『週3回以上』（「毎日」と「週に3～5回程度」を合わせた割合）と回答した割合は困窮層では25.1%となっている。

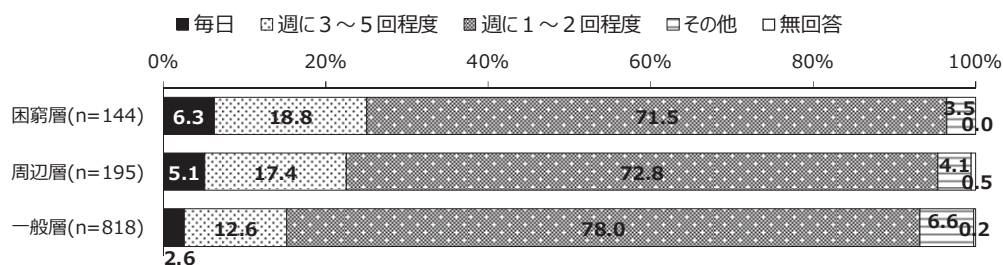
【利用したい頻度】



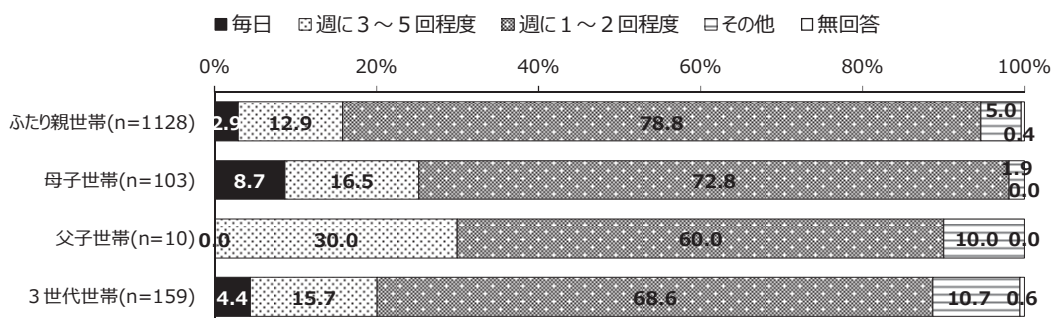
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



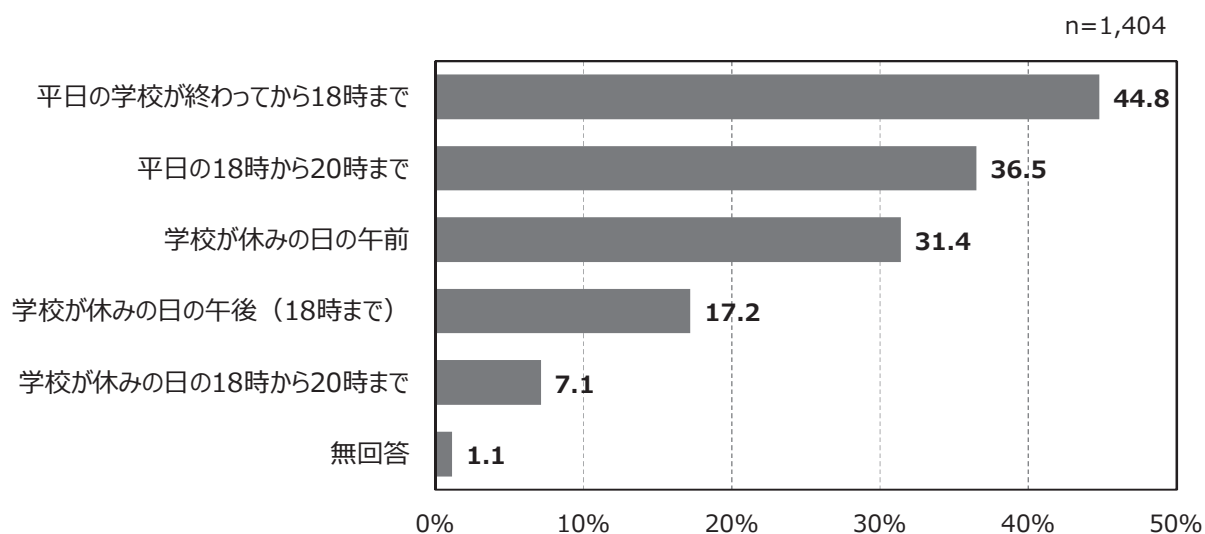
問 21-3 (就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者)

その場所は、どの時間帯に利用したいと思いますか。(複数回答可)

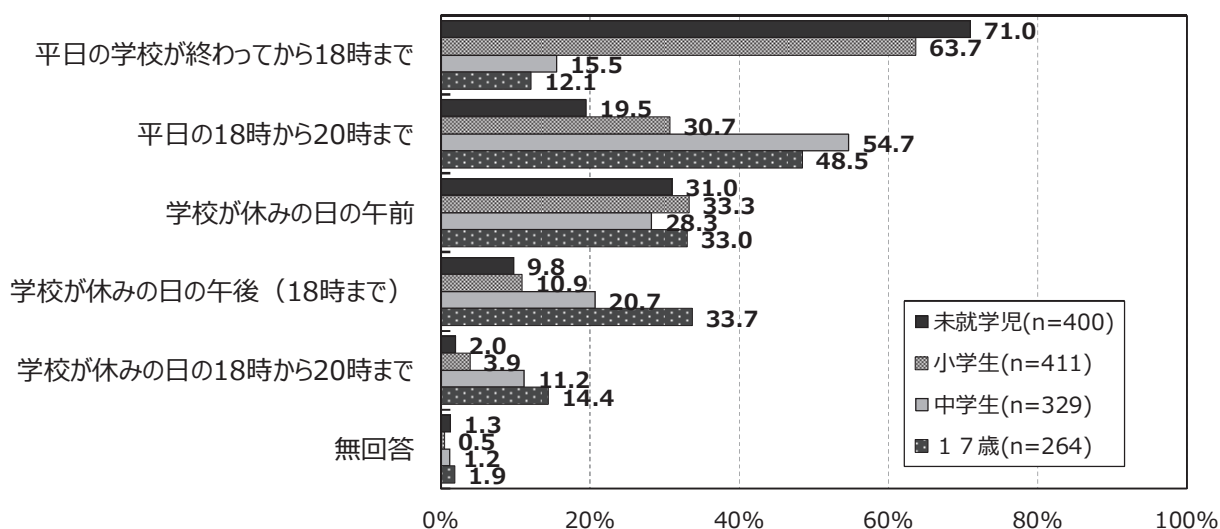
※回答者は、大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答した保護者。

利用したい時間帯について、「平日の学校が終わってから18時まで」と回答した割合は全体で44.8%と最も高く、次いで「平日の18時から20時まで」36.5%、「学校が休みの日の午前」31.4%の順となっている。

【利用したい時間帯】



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	平日の学校 が終わって から18時ま で	平日の18時 から20時ま で	学校が休み の日の午前	学校が休み の日の午後 (18時ま で)	学校が休み の日の18時 から20時ま で	無回答
困窮層	144	36.8%	39.6%	41.7%	20.1%	9.7%	0.7%
周辺層	195	39.5%	38.5%	35.4%	21.5%	10.8%	1.0%
一般層	818	46.7%	36.7%	29.2%	15.4%	6.2%	1.1%

(世帯類型別)

	回答数	平日の学校 が終わって から18時ま で	平日の18時 から20時ま で	学校が休み の日の午前	学校が休み の日の午後 (18時ま で)	学校が休み の日の18時 から20時ま で	無回答
ふたり親世帯	1128	46.1%	35.2%	31.3%	16.5%	6.9%	1.1%
母子世帯	103	37.9%	45.6%	39.8%	25.2%	13.6%	0.0%
父子世帯	10	30.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
3世代世帯	159	41.5%	39.0%	27.0%	15.7%	4.4%	2.5%

8 子どもの母親、父親の状況

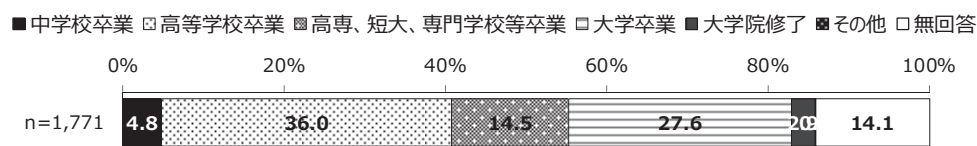
問 22（就学前児童保護者・小中学生保護者・17 歳の保護者）

お子さんの親の最終学歴について教えてください。

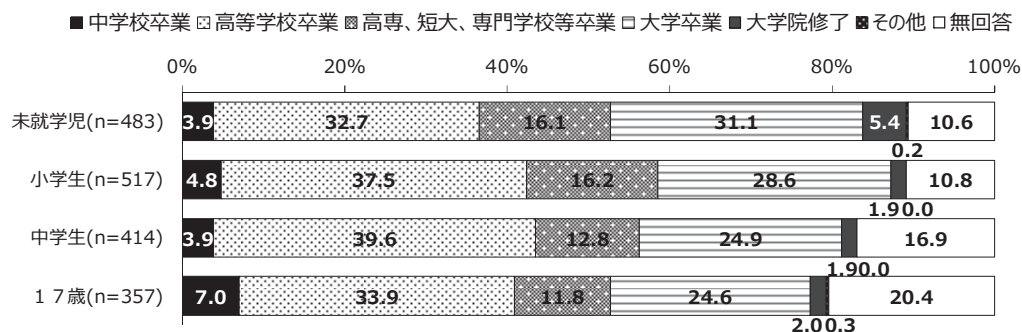
父親の最終学歴について、「高等学校卒業」と回答した割合は全体で 36.0%と最も高く、次いで「大学卒業」27.6%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「大学卒業」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 7.1%となっている。

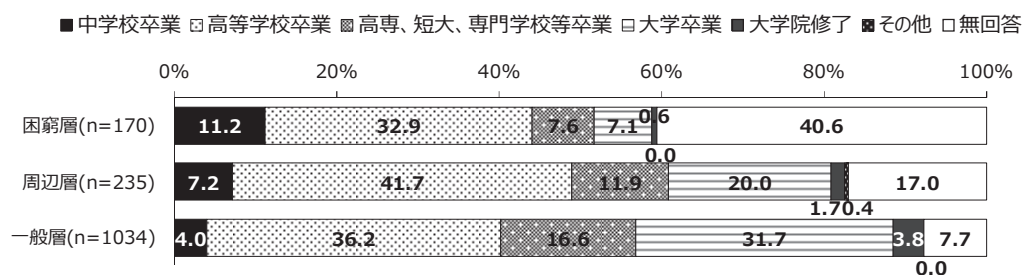
【父親の最終学歴】



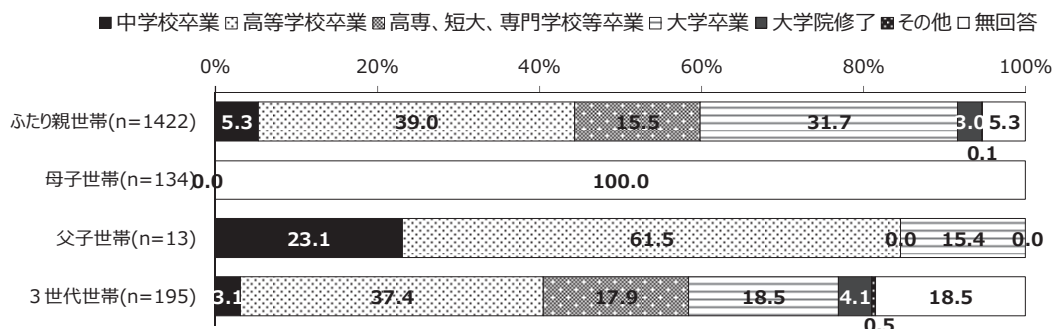
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



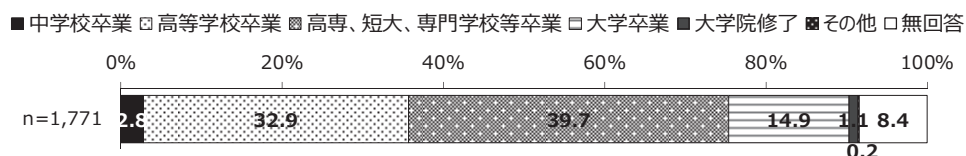
（世帯類型別）



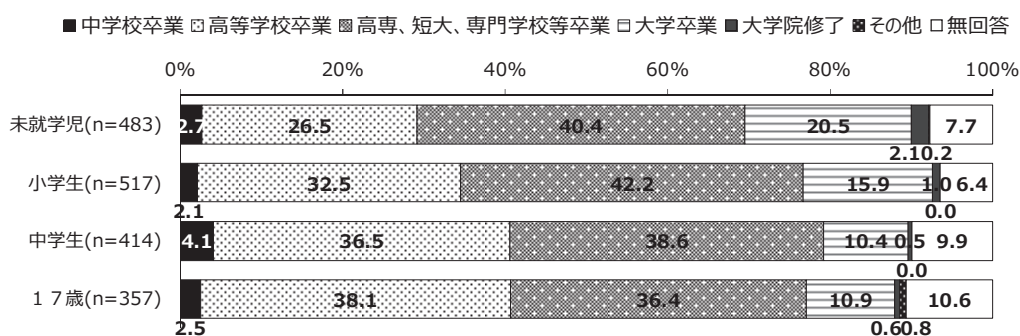
母親の最終学歴について、「高専、短大、専門学校等卒業」と回答した割合は全体で 39.7%と最も高く、次いで「高等学校卒業」32.9%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「大学卒業」と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では 5.3%となっている。

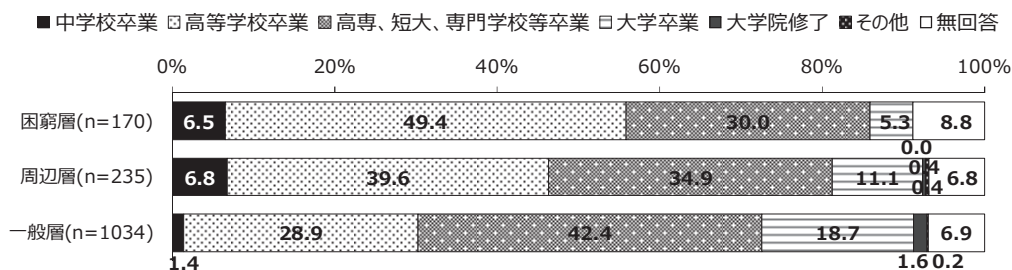
【母親の最終学歴】



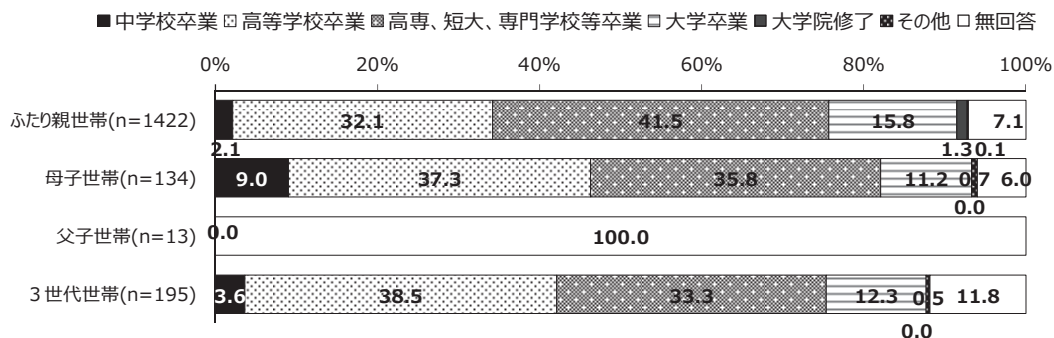
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



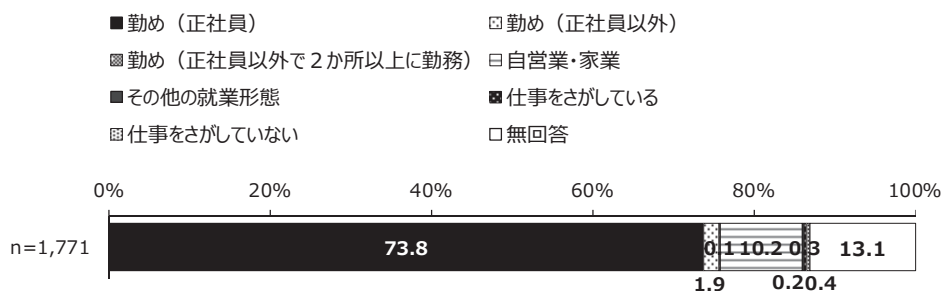
問 23（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんの親の現在の就業状況についておたずねします。

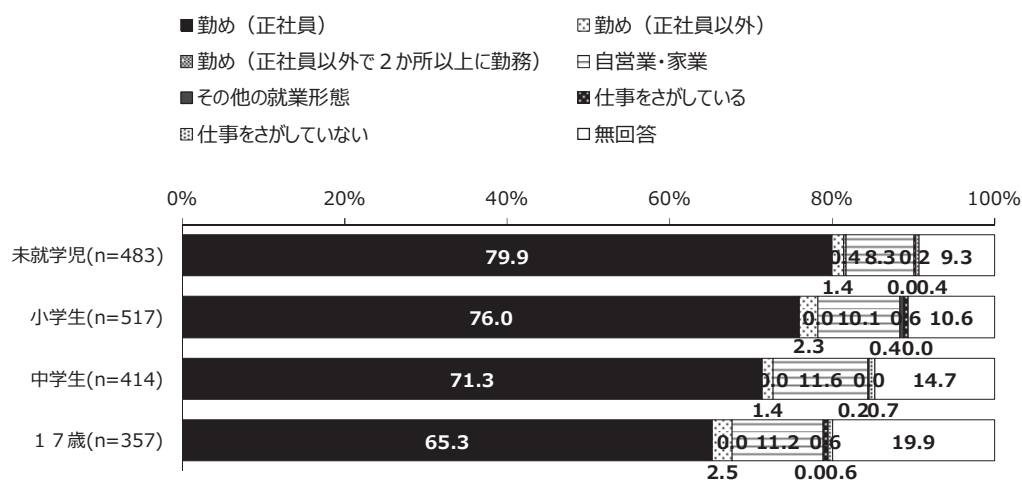
※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事を選んでください。

父親の就業状況について、「勤め（正社員）」と回答した割合は全体で 73.8%と最も高くなっている。生活困難層の分類別にみると、「勤め（正社員）」と回答した割合が困難層では 50.6%と低くなっている。

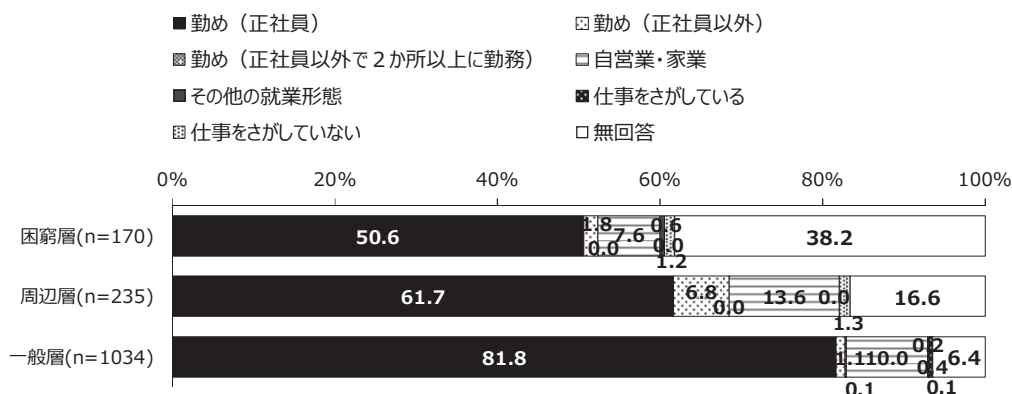
【父親の就業状況】



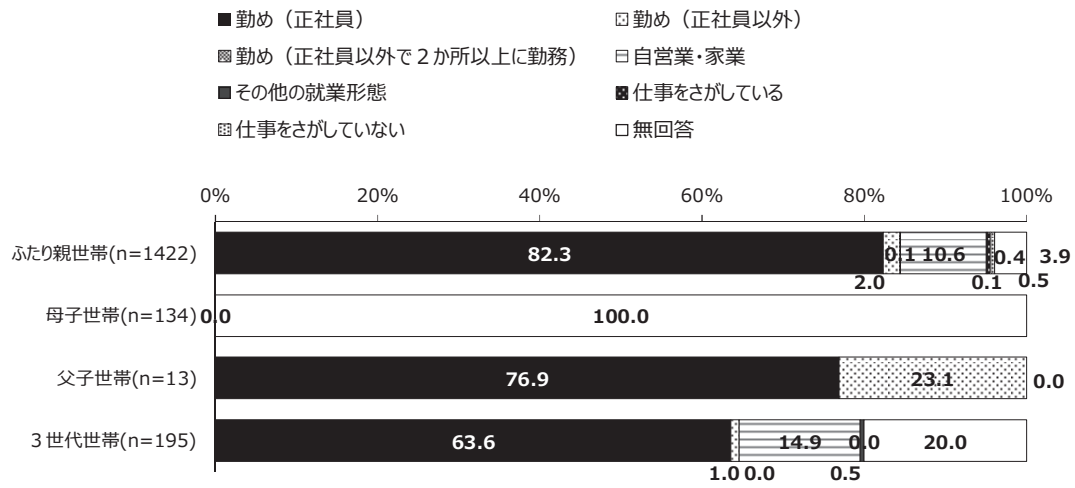
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



(世帯類型別)

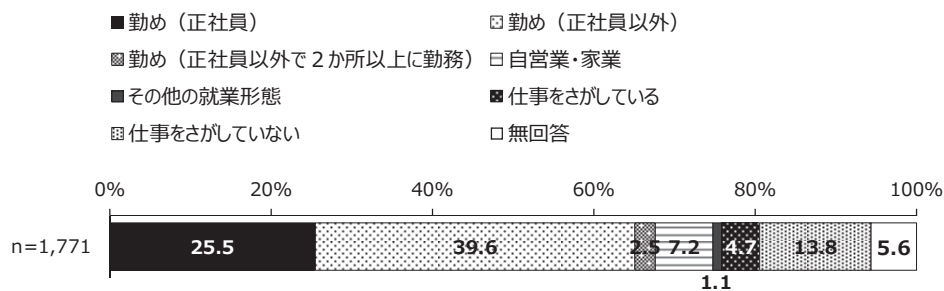


母親の就業状況について、「勤め（正社員以外）」と回答した割合は全体で 39.6%と最も高く、次いで「勤め（正社員）」25.5%となっている。

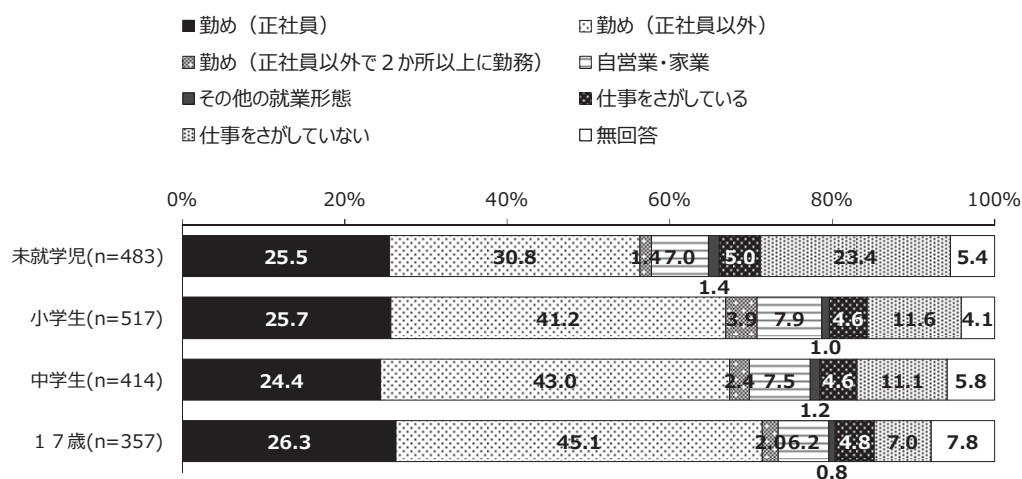
生活困難層の分類別にみると、「勤め（正社員以外）」と回答した割合が困窮層では 55.9%と高くなっている。

世帯類型別にみると、就労している割合は母子世帯で高くなっている。

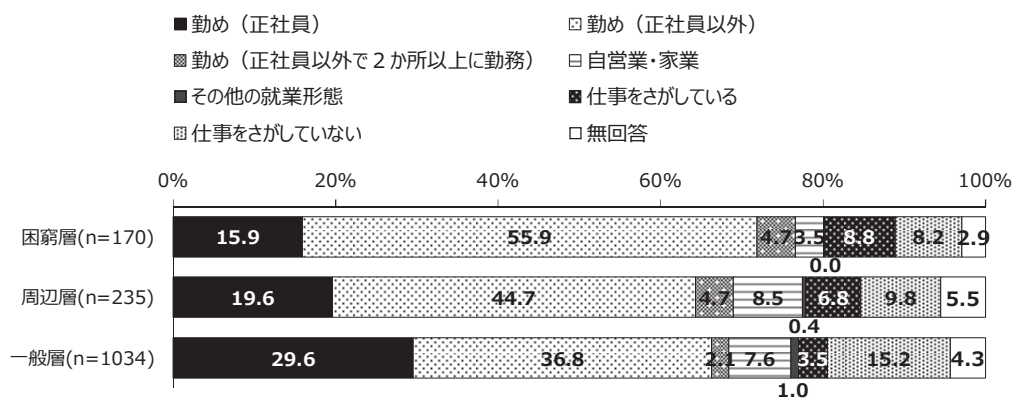
【母親の就業状況】



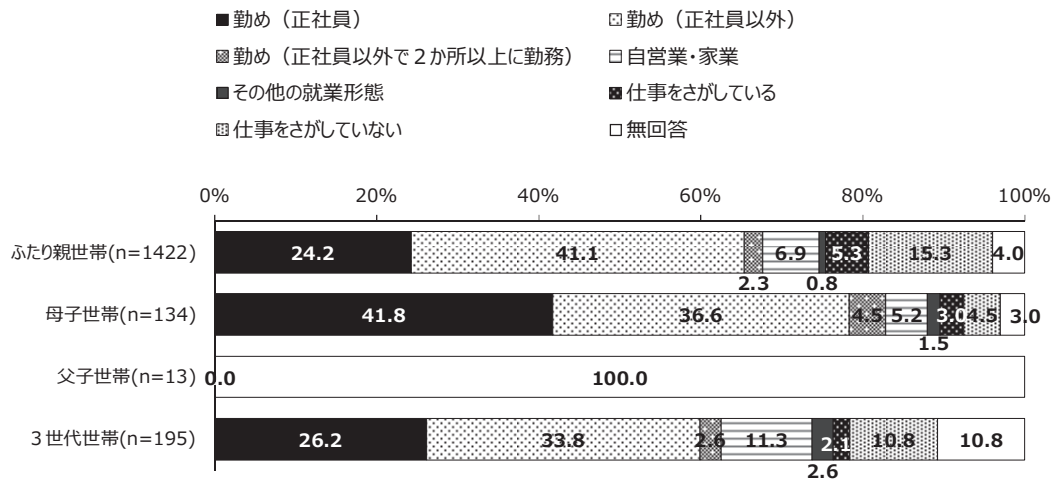
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



(世帯類型別)



問 23- 1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

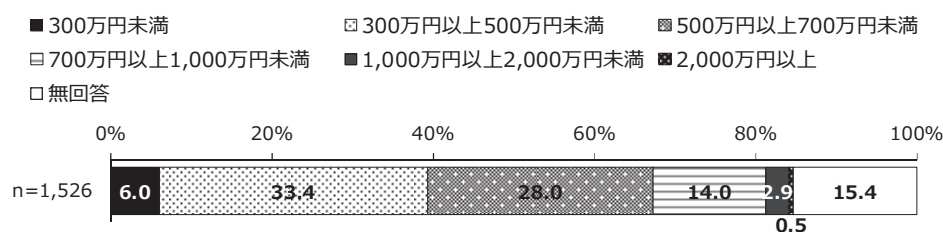
昨年1年間（平成28年1月1日～12月31日）のお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。

※回答者は、就業状況を「勤め（正社員）」、「勤め（正社員以外）」、「勤め（正社員以外で2か所以上に勤務）」、「自営業・家業」、「その他の就業形態」と回答した保護者。

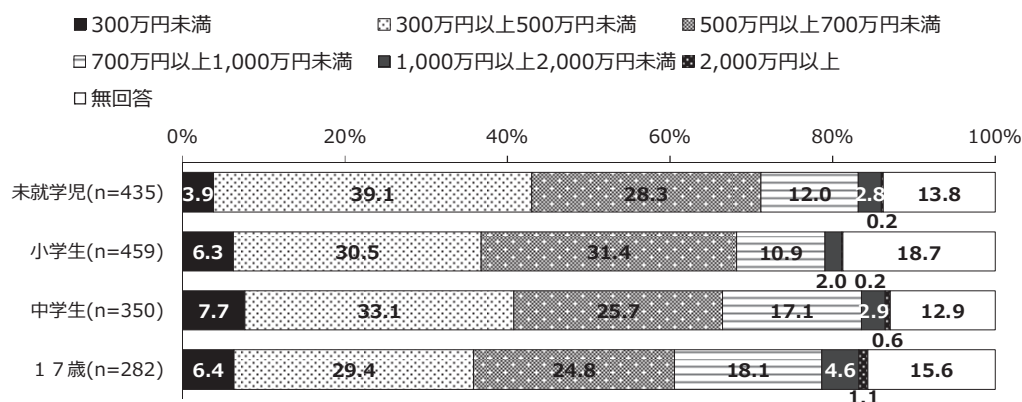
父親の収入状況について、「300万円以上500万円未満」と回答した割合は全体で33.4%と最も高く、次いで「500万円以上700万円未満」28.0%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「300万円未満」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっており、困窮層では25.2%となっている。

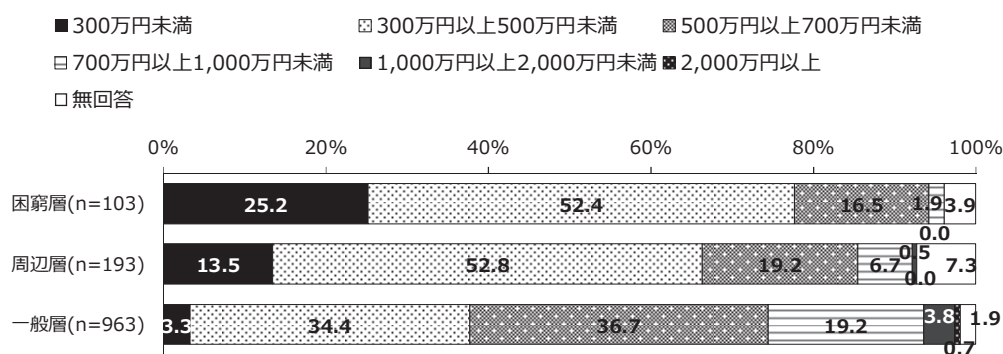
【父親の収入状況】



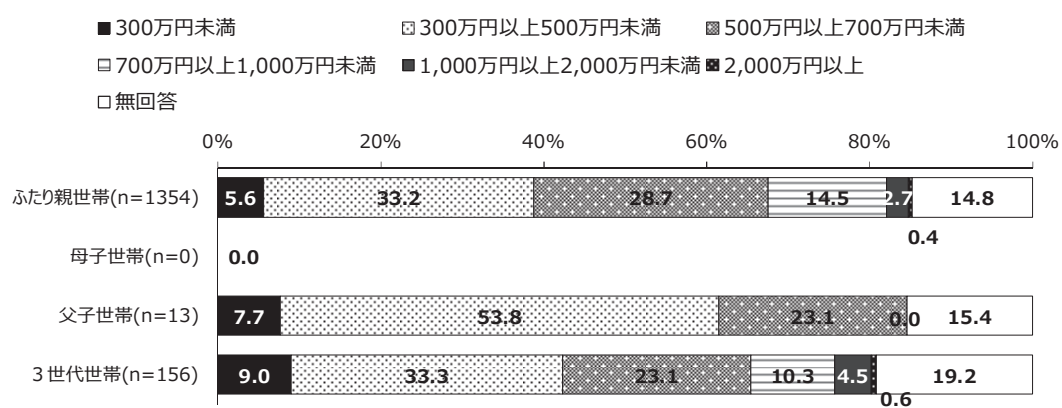
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）

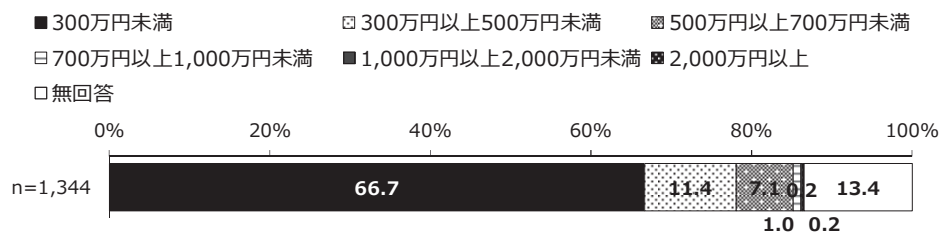


(世帯類型別)

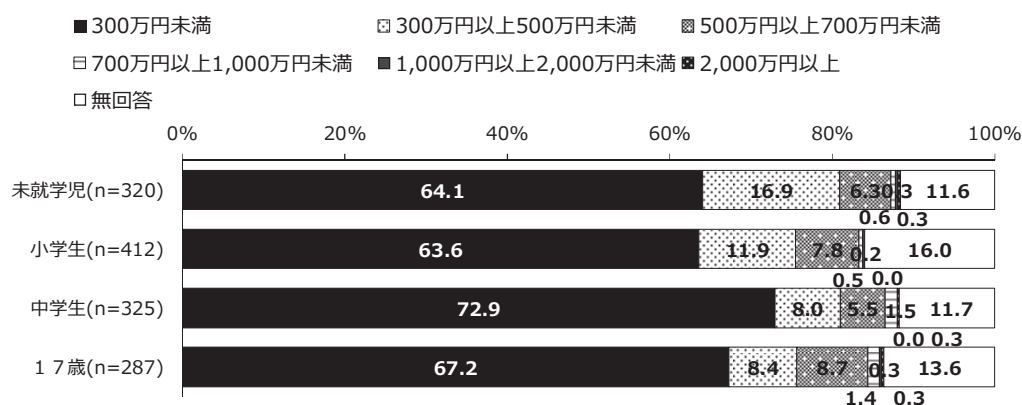


母親の収入状況について、「300 万円未満」と回答した割合は全体で 66.7%と最も高くなっている。
生活困難層の分類別にみると、「300 万円未満」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっており、
困窮層では 94.1%となっている。

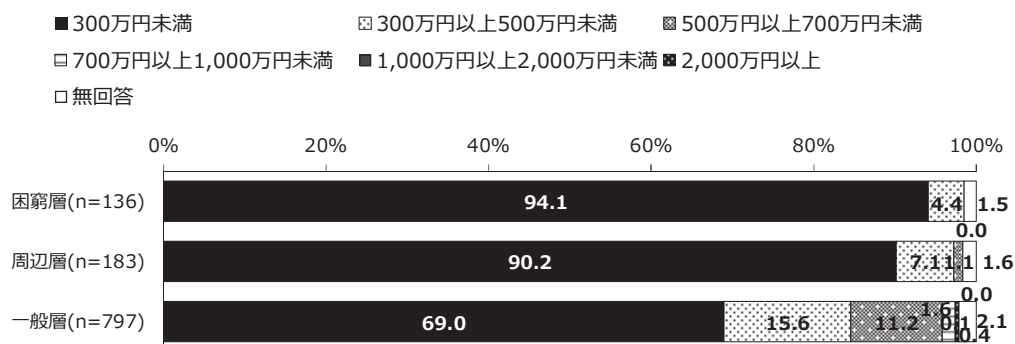
【母親の収入状況】



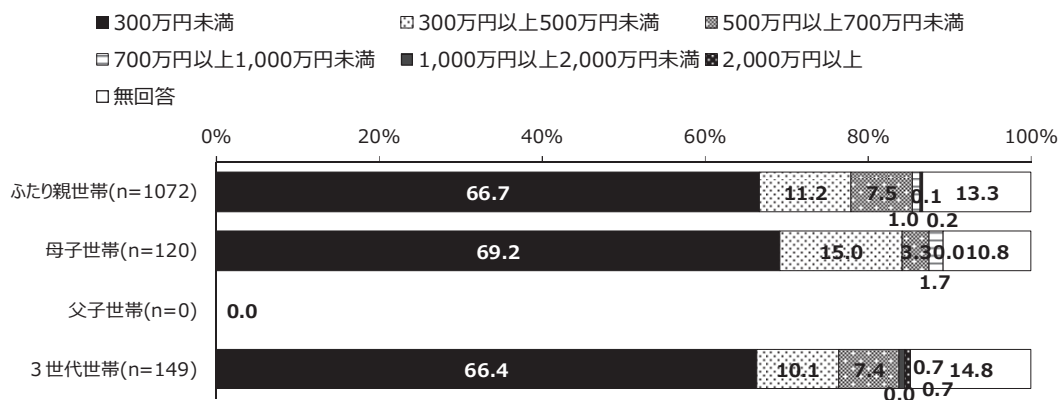
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)

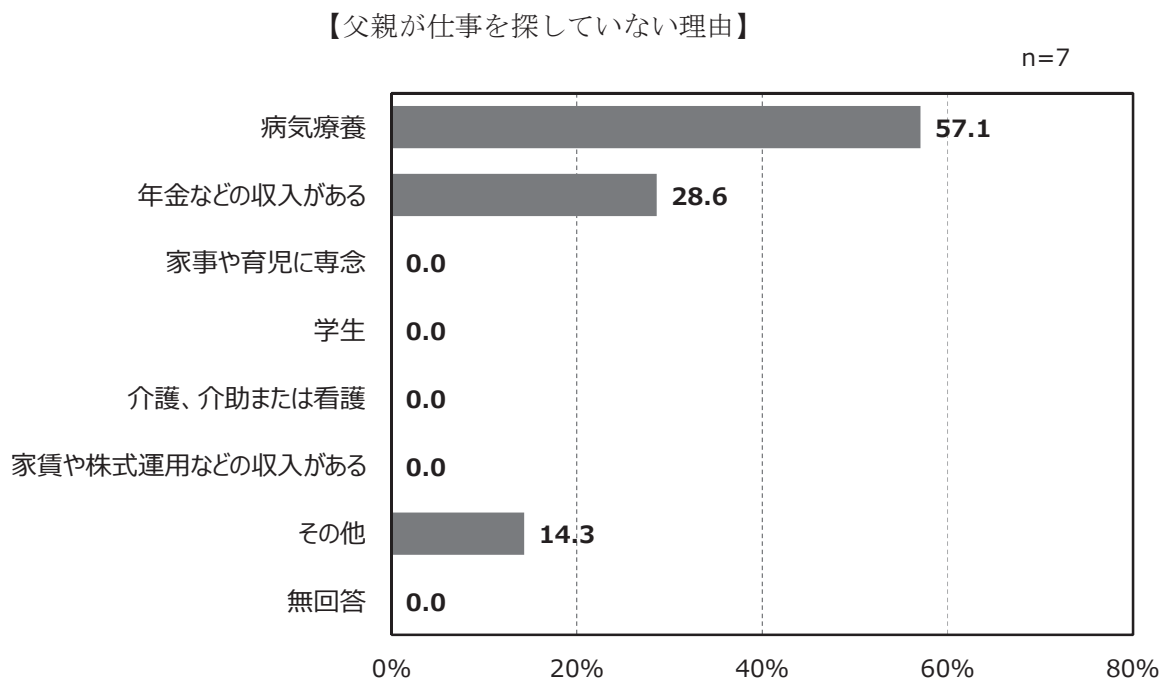


問 23-2（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

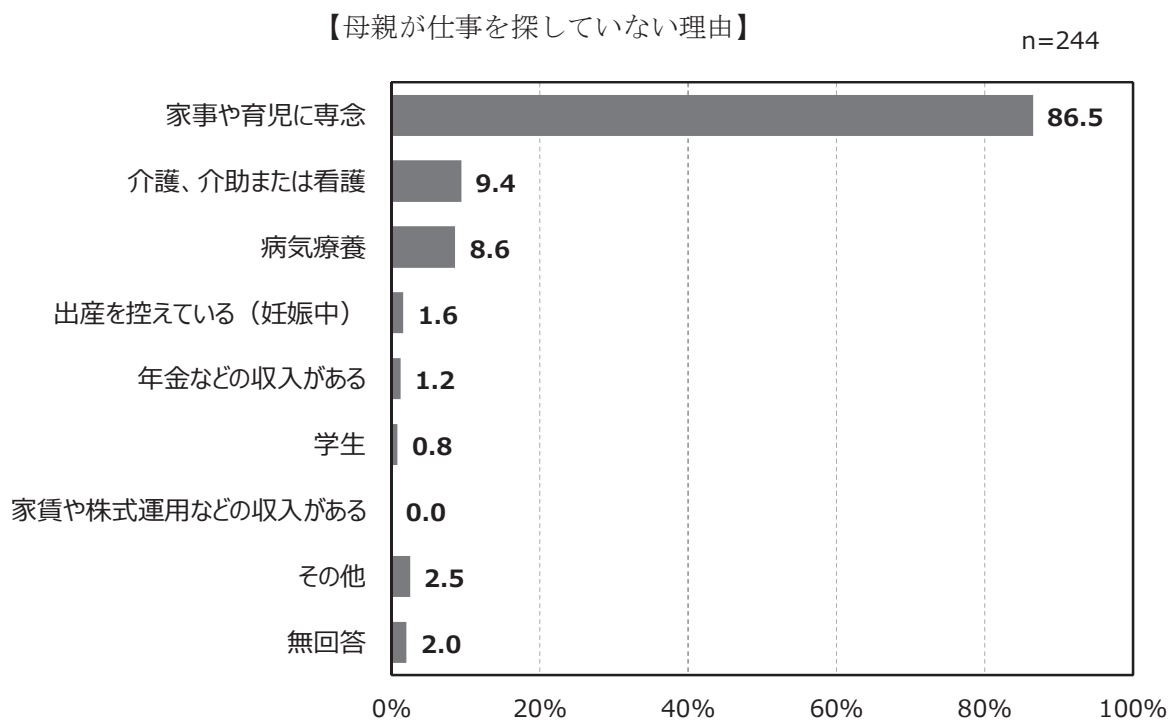
仕事をさがしていないのはなぜですか。（複数回答可）

※回答者は、就業状況を「仕事をさがしていない」と回答した保護者。

父親が仕事を探していない理由について、「病気療養」、「年金などの収入がある」などの回答がみられる。



母親が仕事を探していない理由について、「家事や育児に専念」と回答した割合は全体で 86.5%と最も高くなっている。



問 24（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

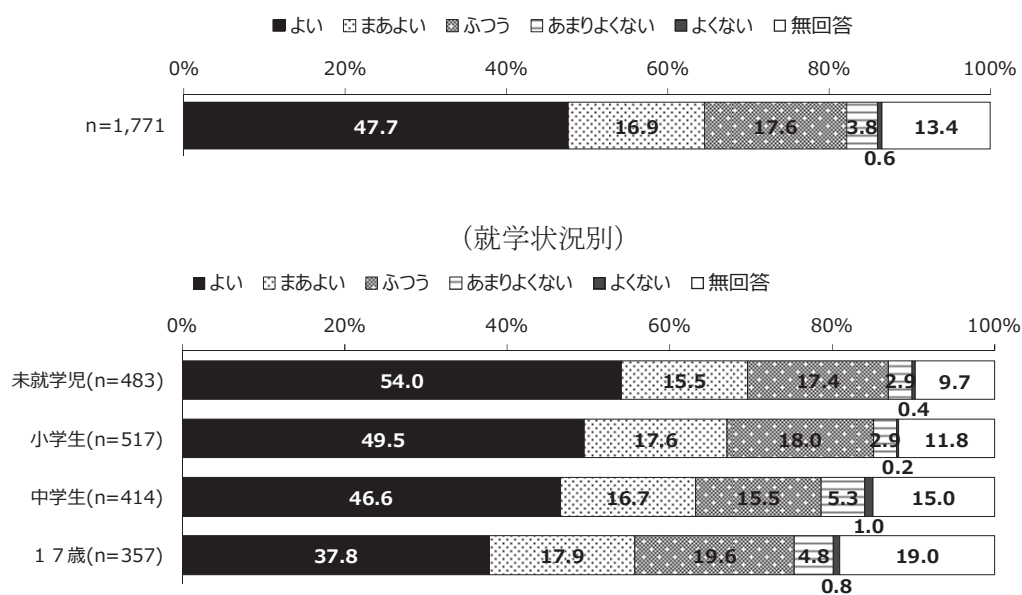
お子さんの親の最近1か月の健康状態を教えてください。

父親の健康状態について、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）と回答した割合が全体で64.6%と最も高くなっている。

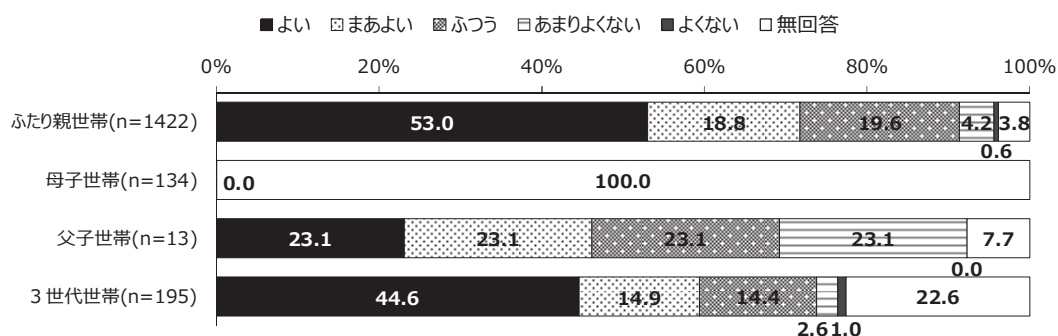
就学状況別にみると、『よい』と回答した割合は子どもの年齢が上がるほど低くなっている。

生活困難層の分類別にみると、『よい』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

【父親の健康状態】



(世帯類型別)



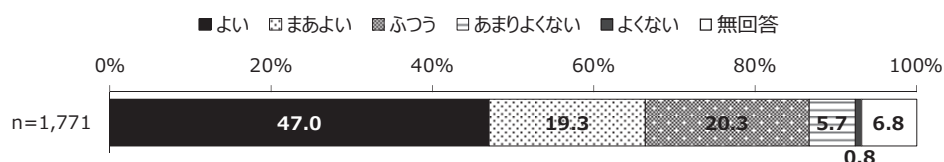
母親の健康状態について、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）と回答した割合は全体で66.3%と最も高くなっている。

就学状況別にみると、『よい』と回答した割合は子どもの年齢が上がるほど低くなっている。

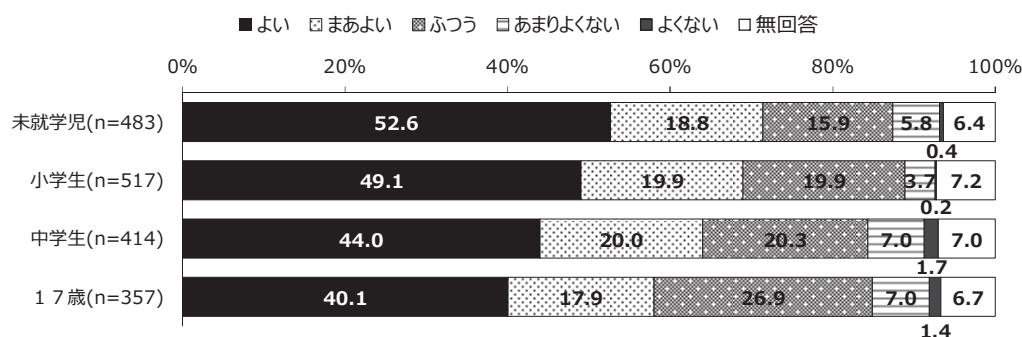
生活困難層の分類別にみると、『よい』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっている。

世帯類型別にみると、『よい』と回答した割合は母子世帯で低くなっている。

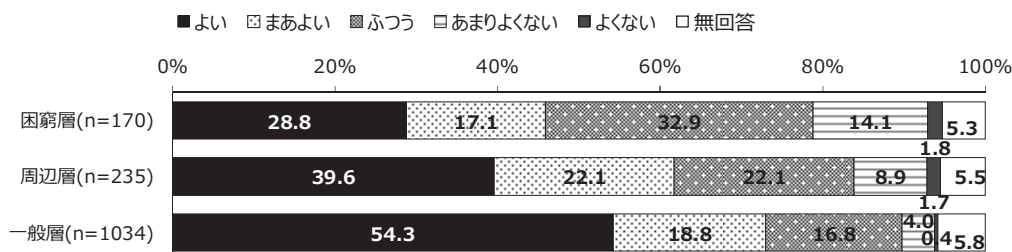
【母親の健康状態】



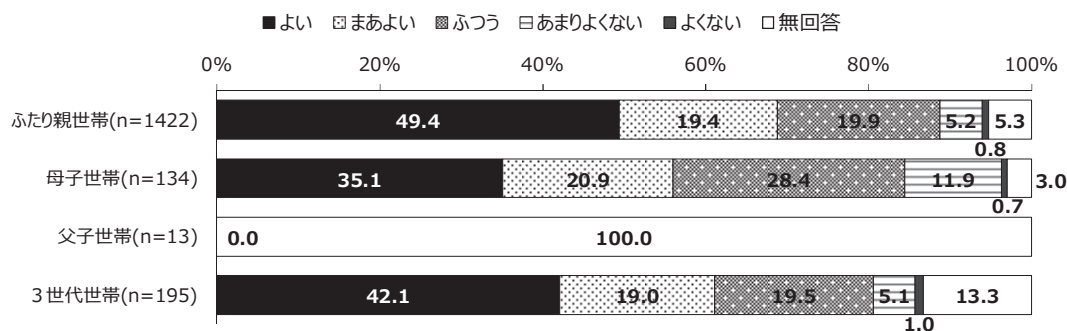
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



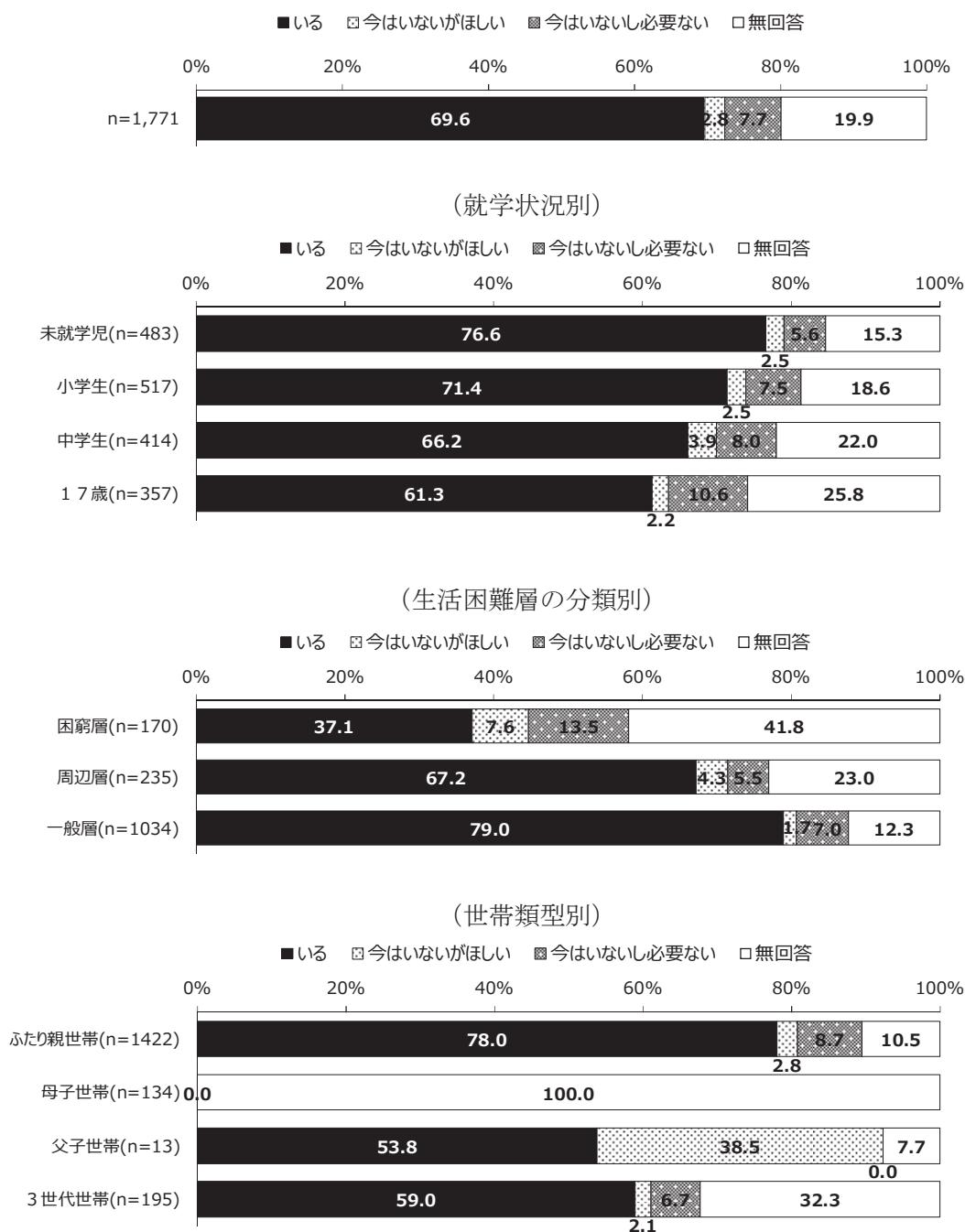
問 25（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんの親には、現在、心おきなく相談できる相手がありますか。

父親が心おきなく相談できる相手の有無について、「いる」と回答した割合は全体で 69.6%と最も高く、次いで「今はいないがほしい」7.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「いる」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 37.1%となっている。

【父親が心おきなく相談できる相手の有無】

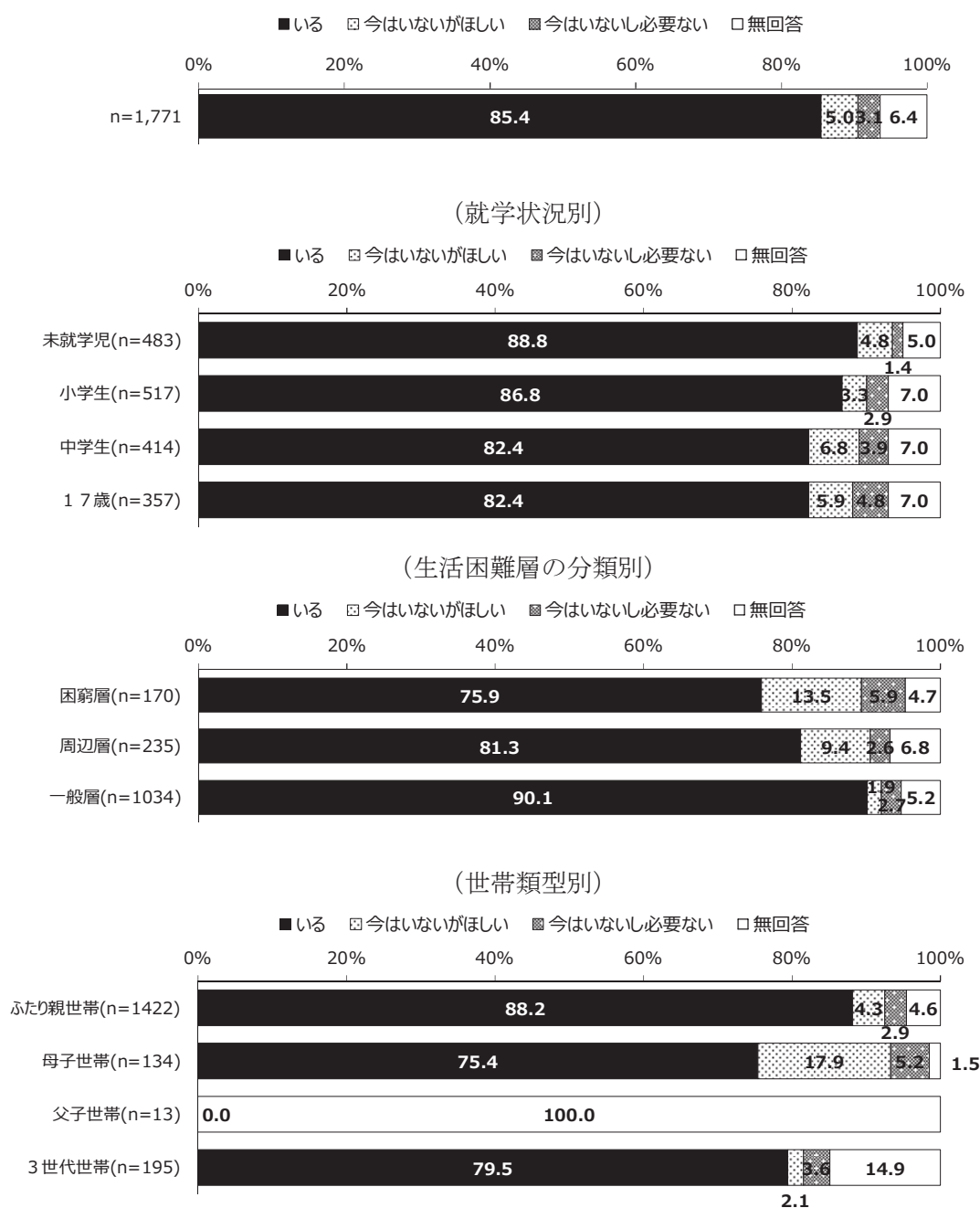


母親が心おきなく相談できる相手の有無について、「いる」と回答した割合は全体で 85.4%と最も高く、次いで「今はいないがほしい」5.0%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「いる」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 75.9%となっている。

世帯類型別にみると、「今はいないがほしい」と回答した割合が母子世帯で高くなっている。

【母親が心おきなく相談できる相手の有無】



問 25-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

その相談相手はどなたですか。また、相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いますか。（複数回答可）

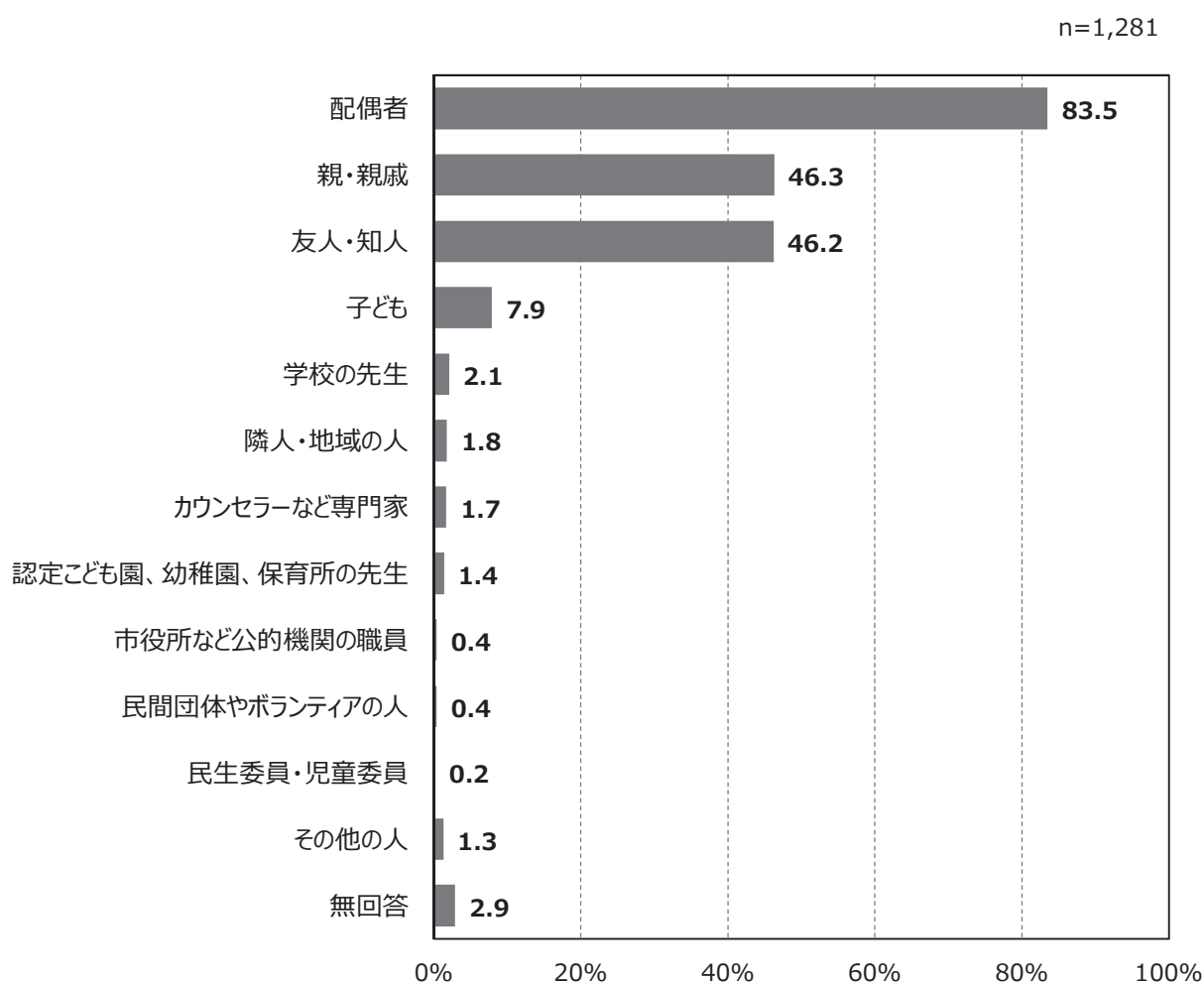
※回答者は、心おきなく相談できる相手が「いる」、「今はいないがほしい」と回答した保護者。

父親の相談相手、相談したい相手について、「配偶者」と回答した割合が全体で 83.5%と最も高く、次いで「親・親戚」46.3%、「友人・知人」46.2%の順となっている。

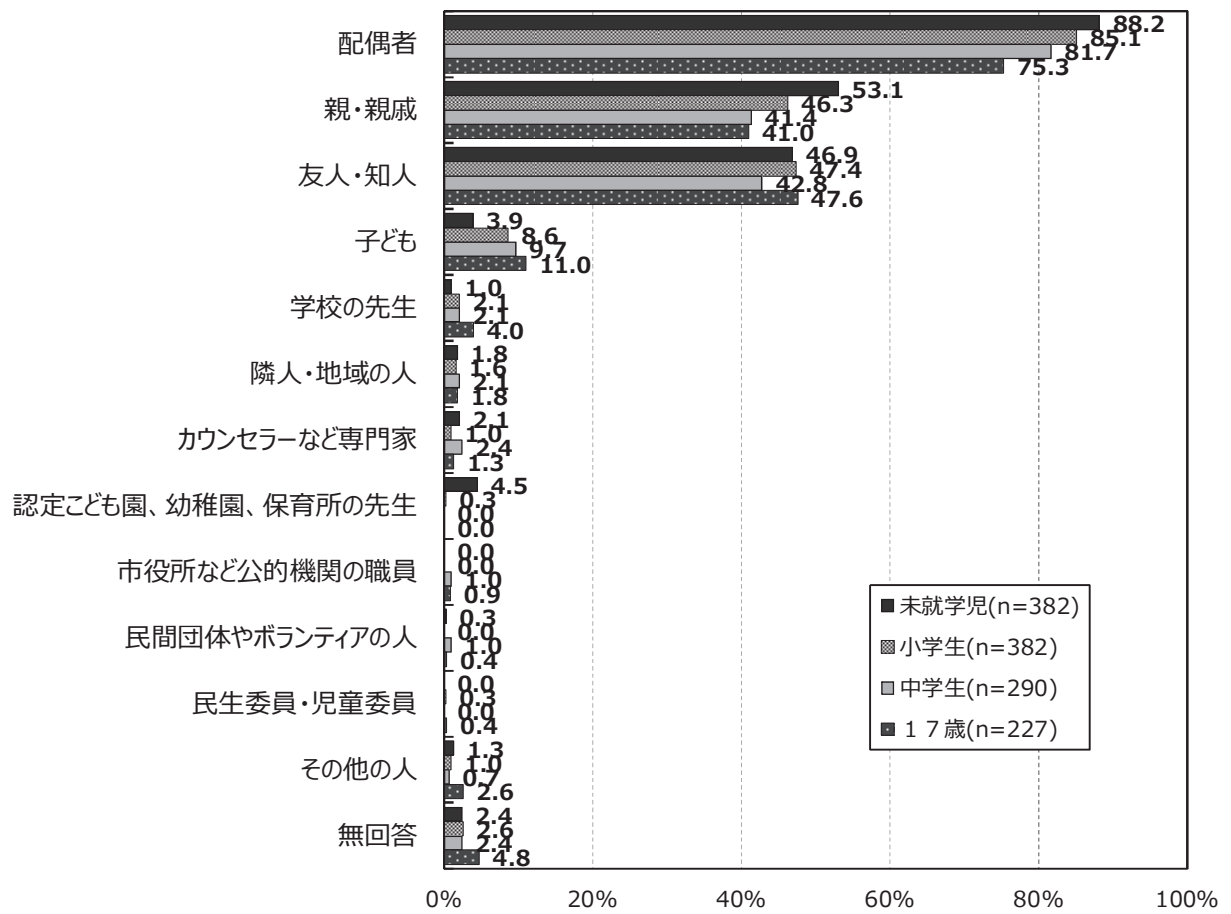
就学状況別にみると、「配偶者」と回答した割合が子どもの年齢が上がるにつれて低くなっていく一方で、「子ども」と回答した割合が子どもの年齢が上がるにつれて高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層で「配偶者」と回答した割合が 60.5%と低くなっている。

【父親の相談相手、相談したい相手】



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	配偶者	親・親戚	友人・知人	子ども	学校の先生	隣人・地域の人	カウンセラーなど専門家	認定こども園、幼稚園、保育所の先生
困窮層	76	60.5%	34.2%	40.8%	10.5%	3.9%	0.0%	6.6%	1.3%
周辺層	168	81.0%	41.1%	44.6%	6.0%	2.4%	1.8%	1.8%	1.8%
一般層	835	86.3%	47.5%	47.9%	8.3%	1.7%	1.9%	1.6%	1.3%

	回答数	市役所など公的機関の職員	民間団体やボランティアの人	民生委員・児童委員	その他の人	無回答
困窮層	76	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	9.2%
周辺層	168	1.8%	1.8%	0.0%	3.6%	2.4%
一般層	835	0.1%	0.1%	0.2%	1.0%	1.9%

(世帯類型別)

	回答数	配偶者	親・親戚	友人・知人	子ども	学校の先生	隣人・地域の人	カウンセラーなど専門家	認定こども園、幼稚園、保育所の先生
ふたり親世帯	1149	84.6%	46.3%	45.7%	8.3%	1.9%	1.9%	1.5%	1.4%
母子世帯	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
父子世帯	12	0.0%	41.7%	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%
3世代世帯	119	81.5%	46.2%	50.4%	4.2%	3.4%	0.0%	2.5%	0.8%

	回答数	市役所など公的機関の職員	民間団体やボランティアの人	民生委員・児童委員	その他の人	無回答
ふたり親世帯	1149	0.3%	0.3%	0.0%	1.3%	2.7%
母子世帯	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
父子世帯	12	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%
3世代世帯	119	0.8%	0.8%	0.8%	1.7%	4.2%

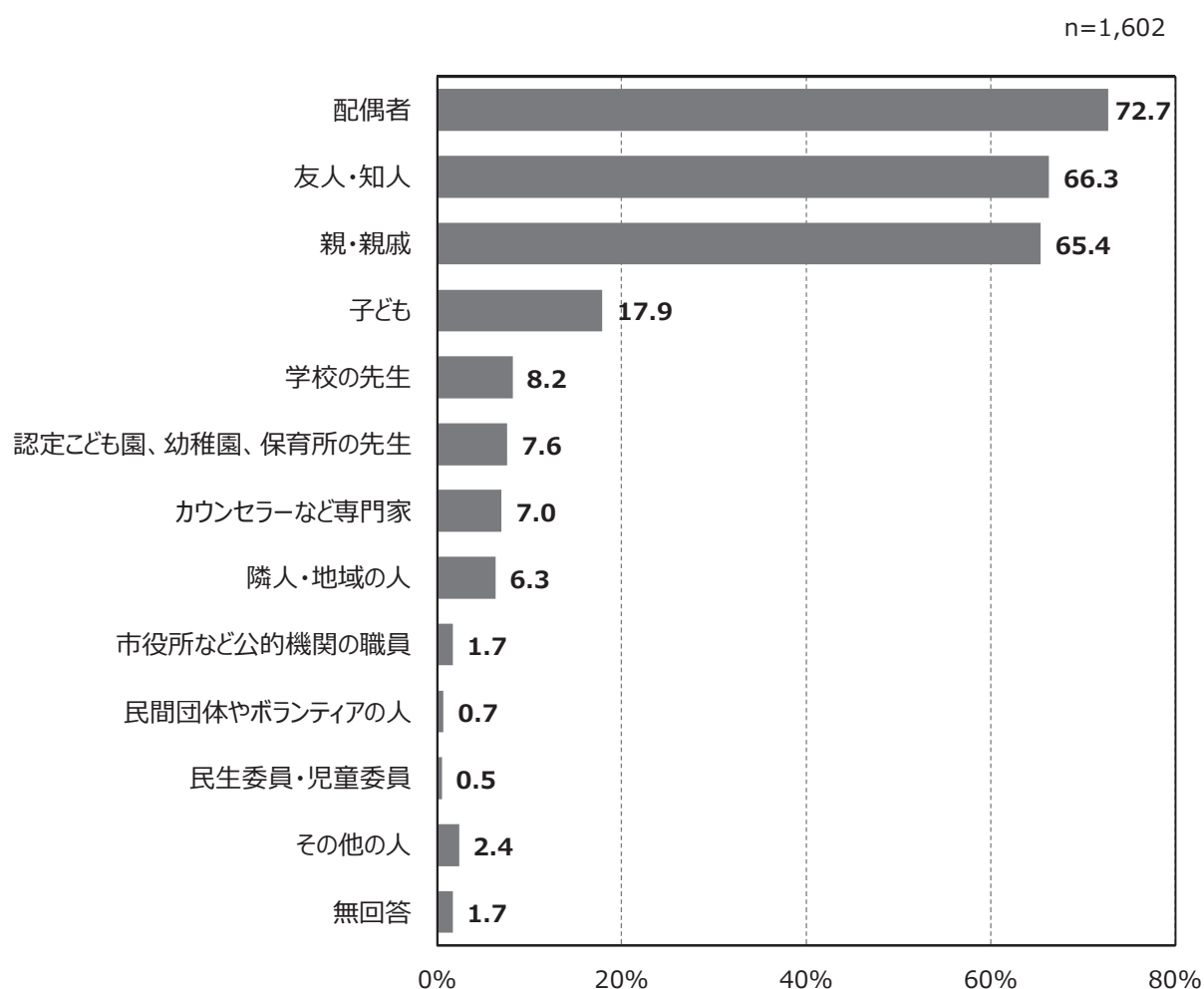
母親の相談相手、相談したい相手について、「配偶者」と回答した割合は全体で72.7%と最も高く、次いで「友人・知人」66.3%、「親・親戚」65.4%の順となっている。

就学状況別について、「配偶者」「友人・知人」「親・親戚」と回答した割合が子どもの年齢が上がるにつれて低くなっていく一方で、「子ども」と回答した割合が子どもの年齢が上がるにつれて高くなっている。

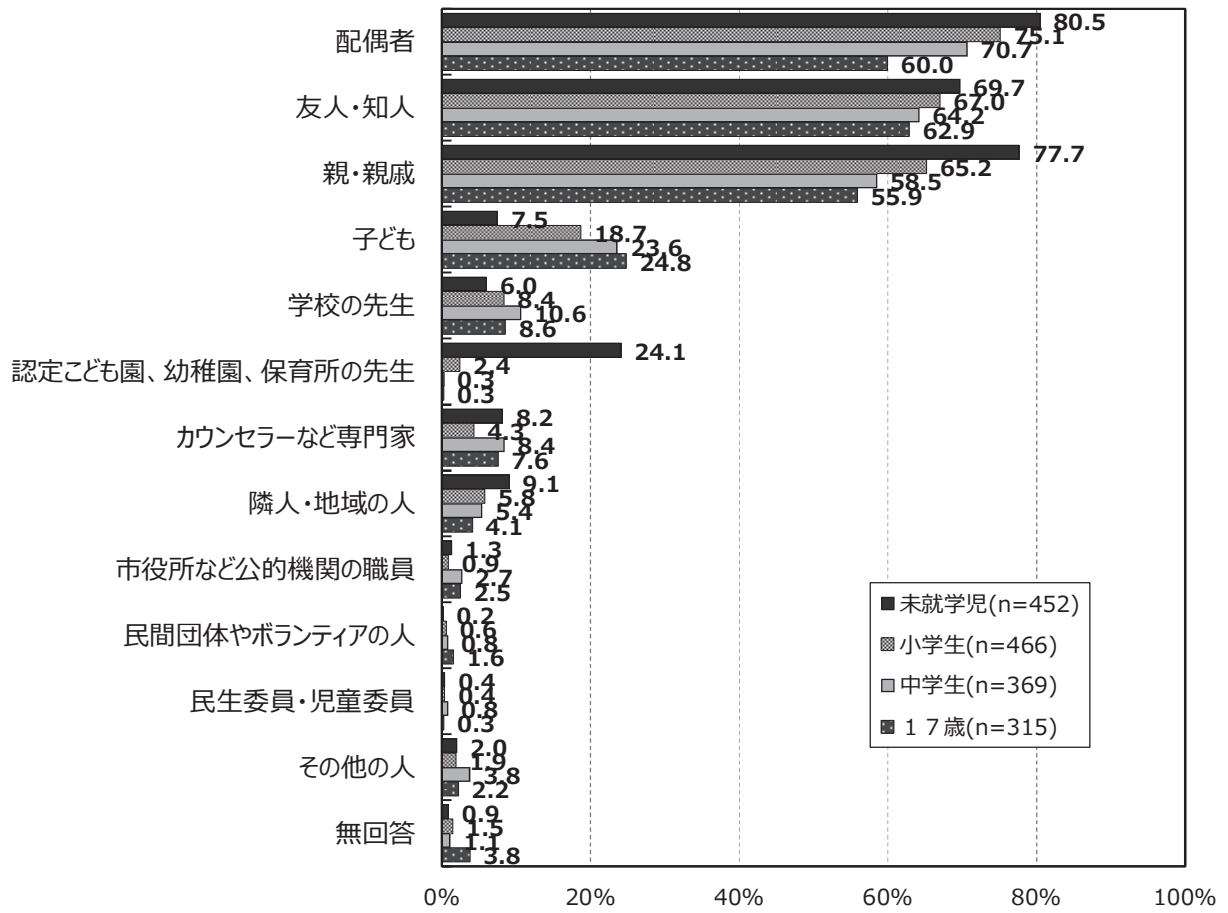
生活困難層の分類別にみると、困窮層で「配偶者」と回答した割合が39.5%と低くなっている。

世帯類型別にみると、母子世帯で「子ども」、「カウンセラーなど専門家」、「市役所など公的機関の職員」と回答した割合が高くなっている。

【母親の相談相手、相談したい相手】



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	配偶者	友人・知人	親・親戚	子ども	学校の先生	認定こども園、幼稚園、保育所の先生	カウンセラーなど専門家	隣人・地域の人
困窮層	152	39.5%	66.4%	57.2%	23.7%	11.8%	7.2%	15.8%	5.3%
周辺層	213	66.2%	64.8%	57.7%	16.9%	8.9%	6.6%	8.0%	6.1%
一般層	952	80.1%	66.5%	68.5%	17.1%	7.8%	7.9%	5.7%	6.5%

	回答数	市役所など公的機関の職員	民間団体やボランティアの人	民生委員・児童委員	その他の人	無回答
困窮層	152	4.6%	2.6%	0.0%	4.6%	3.3%
周辺層	213	4.2%	0.9%	1.9%	1.4%	1.4%
一般層	952	0.9%	0.5%	0.3%	2.0%	1.3%

(世帯類型別)

	回答数	配偶者	友人・知人	親・親戚	子ども	学校の先生	認定こども園、幼稚園、保育所の先生	カウンセラーなど専門家	隣人・地域の人
ふたり親世帯	1315	80.1%	65.2%	65.7%	16.7%	8.0%	7.8%	6.5%	7.0%
母子世帯	125	6.4%	73.6%	57.6%	28.0%	13.6%	2.4%	11.2%	0.8%
父子世帯	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3世代世帯	159	64.2%	70.4%	68.6%	20.1%	6.3%	10.1%	7.5%	5.0%

	回答数	市役所など公的機関の職員	民間団体やボランティアの人	民生委員・児童委員	その他の人	無回答
ふたり親世帯	1315	1.4%	0.7%	0.5%	2.4%	1.6%
母子世帯	125	5.6%	1.6%	0.8%	2.4%	2.4%
父子世帯	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3世代世帯	159	0.6%	0.6%	0.0%	3.1%	1.9%

問 26（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

お子さんの親は、自身が成人する前、以下のような経験をしたことがありますか。

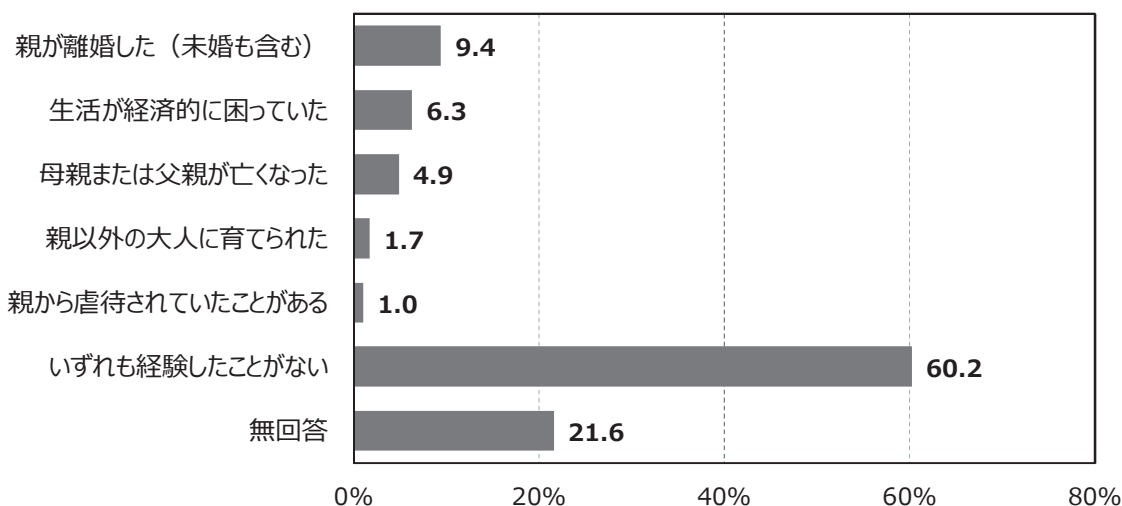
（複数回答可）

父親の成人前の経験について、「親が離婚した（未婚も含む）」と回答した割合は全体で 9.4%、次いで「生活が経済的に困っていた」6.3%、「母親または父親が亡くなった」4.9%の順となっている。また、「いずれも経験したことがない」は 60.2%となっている。

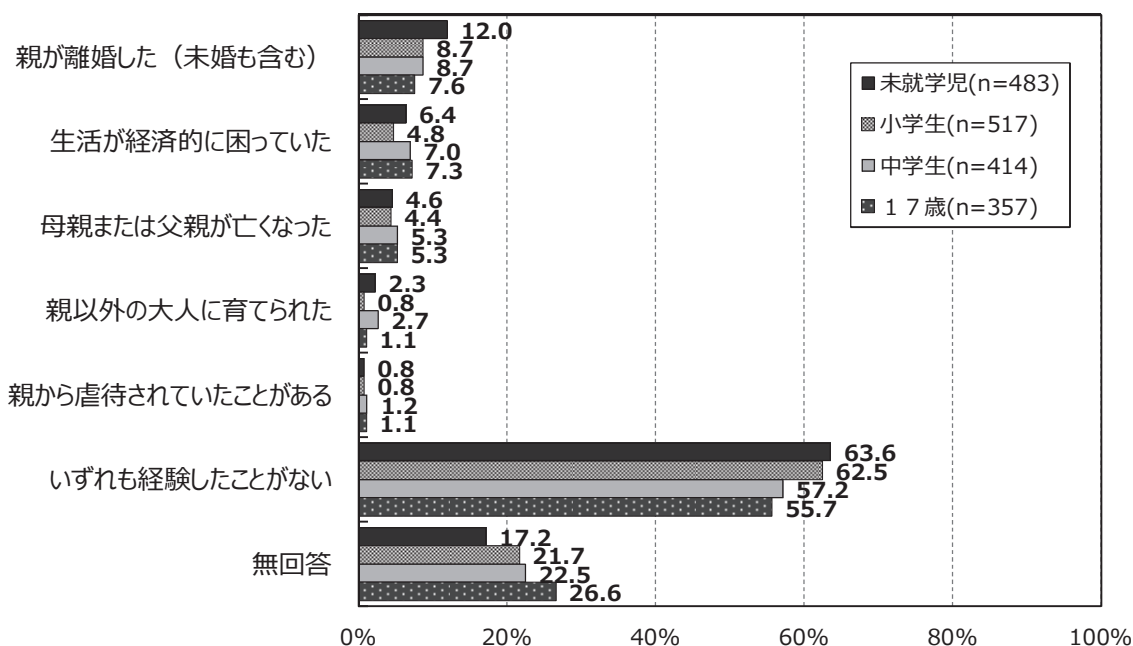
生活困難層の分類別にみると、困窮層で「いずれも経験したことがない」と回答した割合が 34.1%と、他の層に比べ低くなっている。

【父親の成人前の経験】

n=1,771



（就学状況別）



(生活困難層の分類別)

	回答数	親が離婚した（未婚も含む）	生活が経済的に困っていた	母親または父親が亡くなった	親以外の大人に育てられた	親から虐待されていたことがある	いずれも経験したことがない	無回答
困窮層	170	11.2%	10.6%	0.6%	2.4%	4.1%	34.1%	45.9%
周辺層	235	16.2%	8.9%	3.8%	2.6%	0.4%	51.9%	24.7%
一般層	1034	8.7%	5.6%	5.6%	1.6%	0.8%	68.4%	13.4%

(世帯類型別)

	回答数	親が離婚した（未婚も含む）	生活が経済的に困っていた	母親または父親が亡くなった	親以外の大人に育てられた	親から虐待されていたことがある	いずれも経験したことがない	無回答
ふたり親世帯	1422	10.1%	7.2%	5.4%	2.0%	1.1%	67.1%	12.7%
母子世帯	134	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
父子世帯	13	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	15.4%
3世代世帯	195	9.2%	3.1%	4.6%	0.5%	0.5%	54.4%	30.8%

母親の成人前の経験について、「親が離婚した（未婚も含む）」と回答した割合は全体で 10.4%、次いで「生活が経済的に困っていた」8.6%、「母親または父親が亡くなった」6.1%の順となっている。

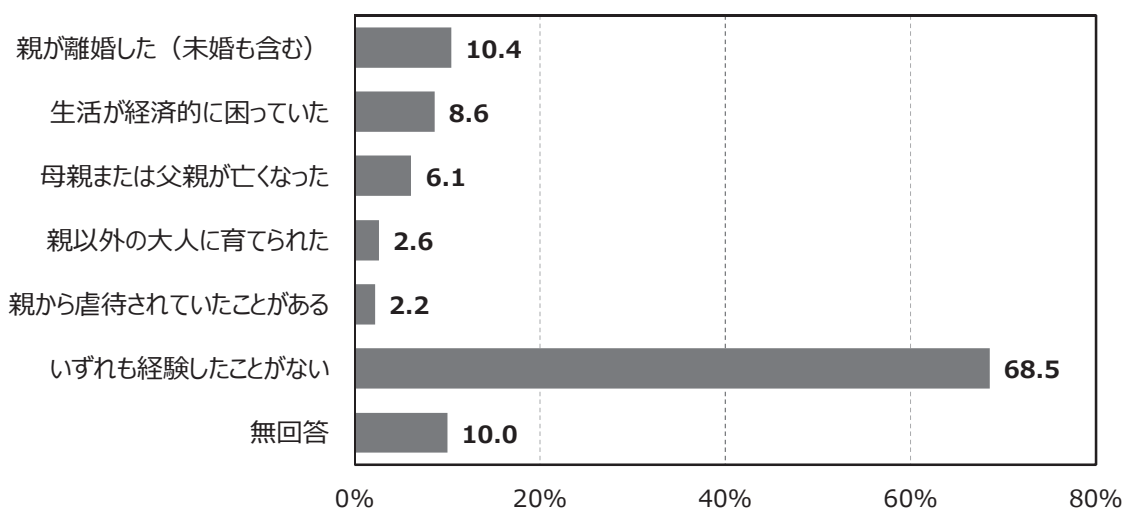
また、「いずれも経験したことがない」は 68.5%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「いずれも経験したことがない」と回答した割合が困窮層で 57.6%と、一般層に比べ低くなっている。

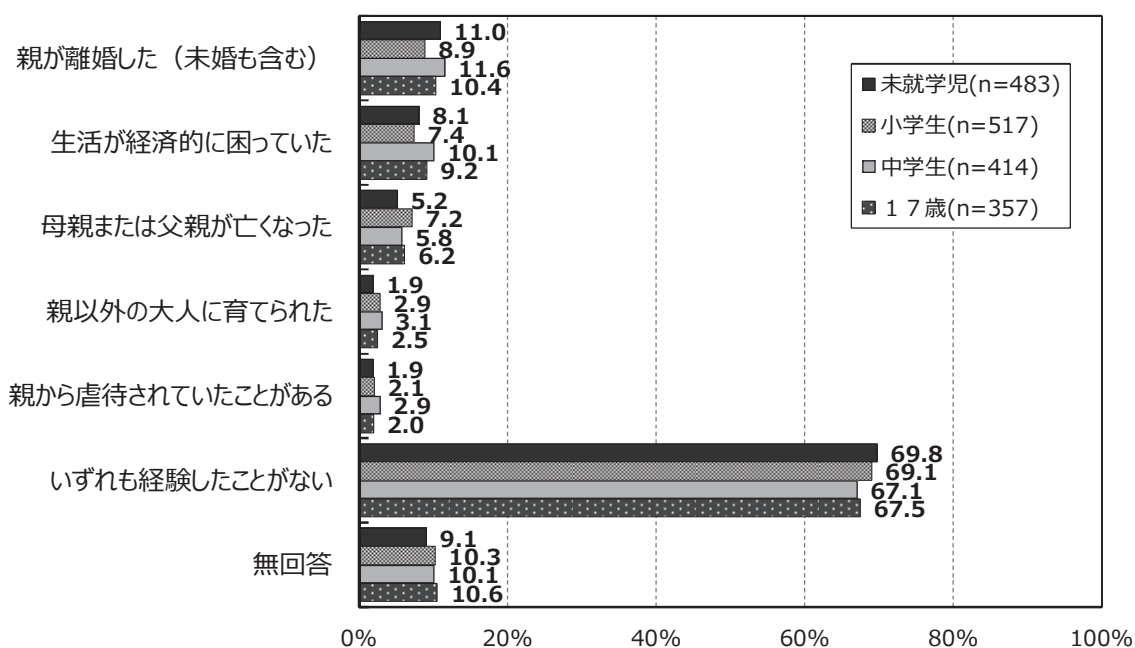
世帯類型別にみると、母子家庭で「親が離婚した（未婚も含む）」23.1%、「生活が経済的に困っていた」14.2%と高くなっている。

【母親の成人前の経験】

n=1,771



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	親が離婚した（未婚も含む）	生活が経済的に困っていた	母親または父親が亡くなった	親以外の大人に育てられた	親から虐待されていたことがある	いずれも経験したことがない	無回答
困窮層	170	17.1%	17.6%	5.9%	8.2%	5.9%	57.6%	7.1%
周辺層	235	16.2%	17.0%	6.0%	4.7%	3.0%	58.7%	9.8%
一般層	1034	8.2%	5.7%	5.9%	1.1%	1.5%	74.6%	7.8%

(世帯類型別)

	回答数	親が離婚した（未婚も含む）	生活が経済的に困っていた	母親または父親が亡くなった	親以外の大人に育てられた	親から虐待されていたことがある	いずれも経験したことがない	無回答
ふたり親世帯	1422	9.6%	8.2%	6.0%	2.3%	2.5%	70.8%	8.5%
母子世帯	134	23.1%	14.2%	6.0%	7.5%	1.5%	59.0%	4.5%
父子世帯	13	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3世代世帯	195	8.7%	8.2%	7.7%	2.1%	1.0%	64.1%	16.4%

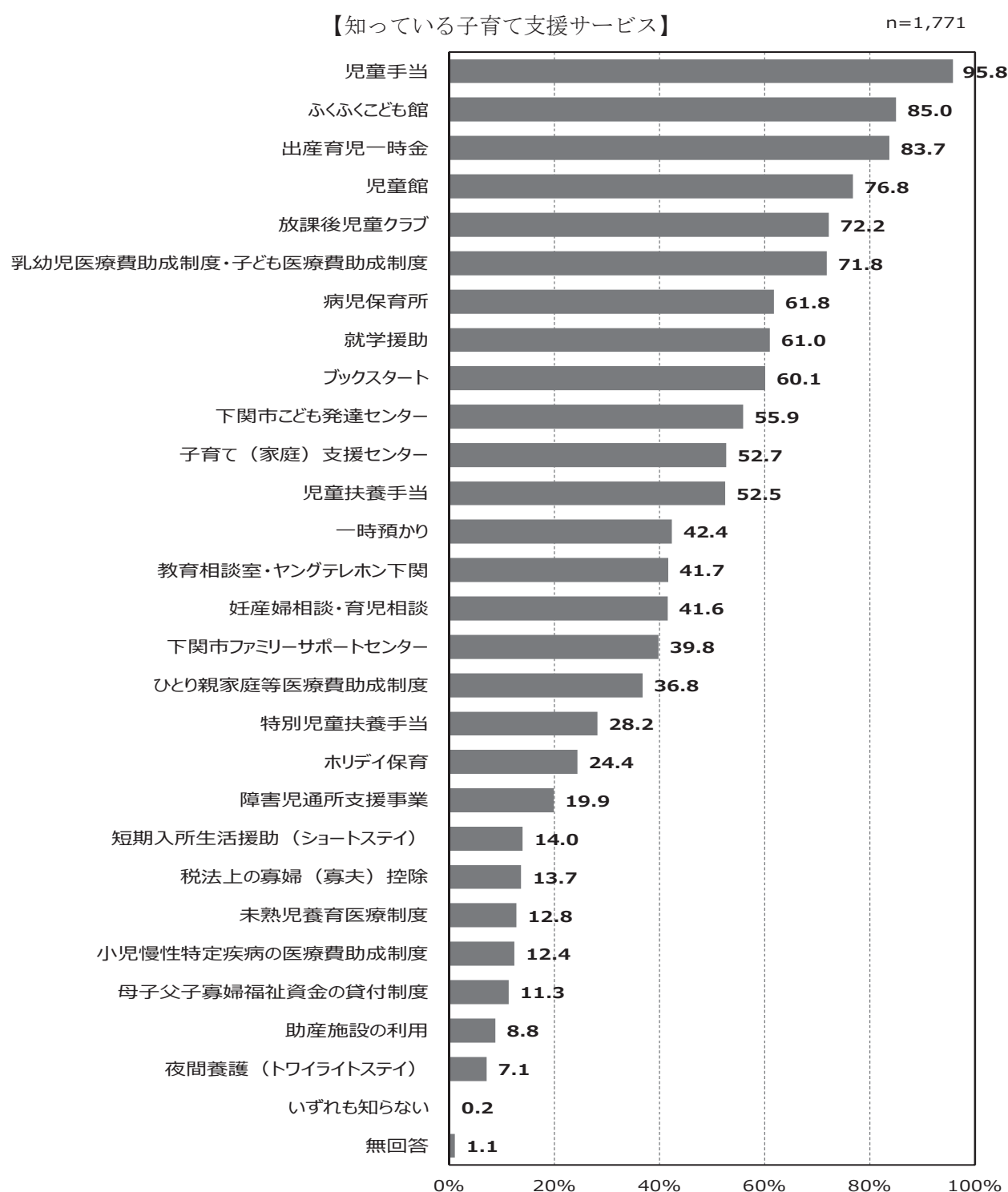
9 地域とのかかわりや子育て支援のニーズ

問 27（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

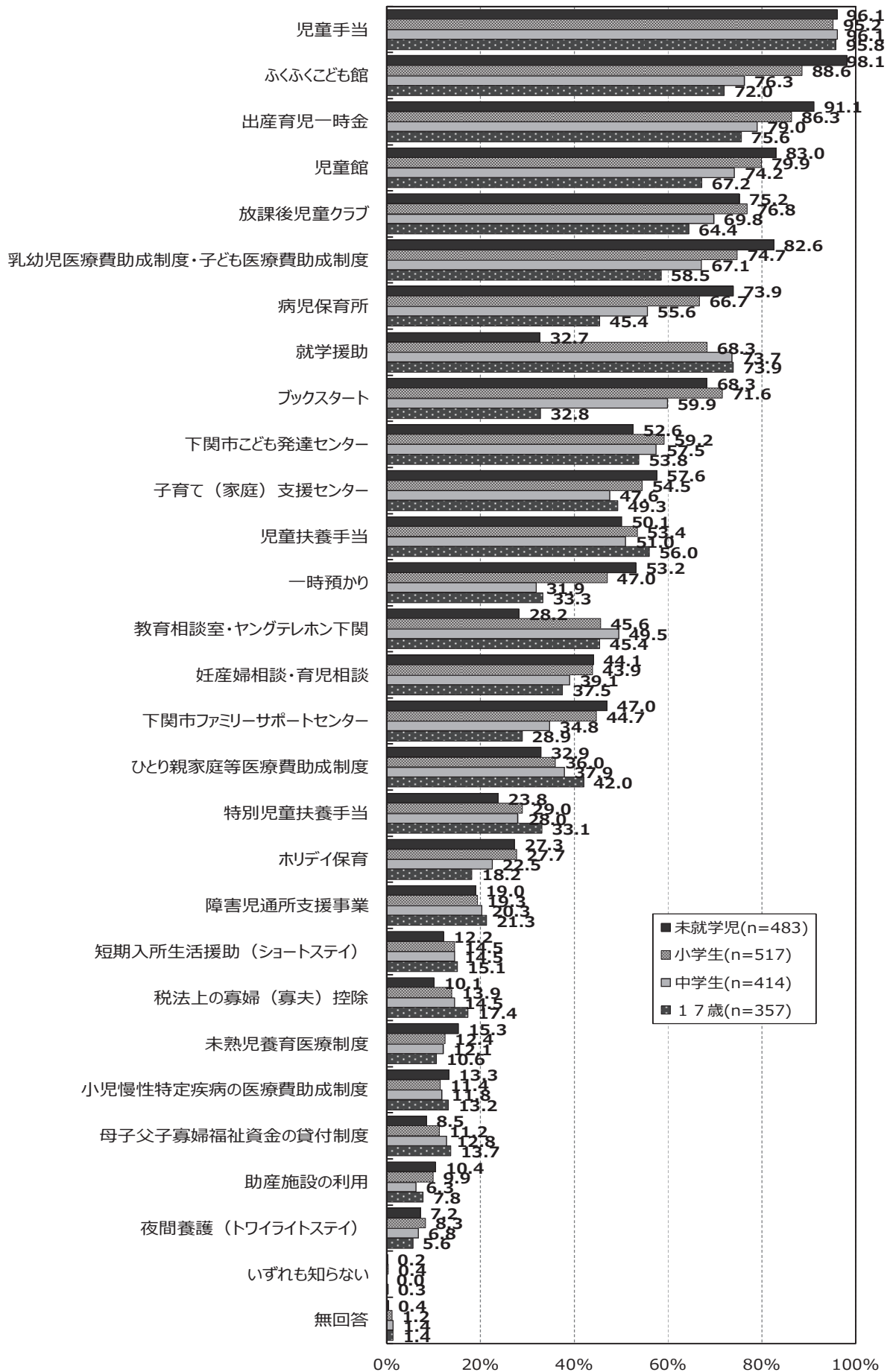
子育て支援サービスについて、あなたが知っているものを回答してください。（複数回答可）

知っている子育て支援サービスについて、「児童手当」と回答した割合は全体で 95.8%と最も高く、次いで「ふくふくこども館」85.0%、「出産育児一時金」83.7%の順となっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「児童手当」92.9%、「ふくふくこども館」76.5%、「出産育児一時金」77.1%となっている。



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	児童手当	ふくふくこども館	出産育児一時金	児童館	放課後児童クラブ	乳幼児医療費助成制度・子ども医療費助成制度	病児保育所	就学援助
困窮層	170	92.9%	76.5%	77.1%	62.9%	65.9%	71.8%	57.6%	75.9%
周辺層	235	97.4%	80.9%	85.5%	71.9%	70.2%	74.0%	63.8%	71.1%
一般層	1034	96.8%	88.3%	85.8%	81.0%	76.0%	73.3%	64.3%	58.6%

	回答数	ブックスタート	下関市こども発達センター	子育て（家庭）支援センター	児童扶養手当	一時預かり	教育相談室・ヤングテレホン下関	妊産婦相談・育児相談	下関市ファミリーサポートセンター
困窮層	170	41.8%	46.5%	43.5%	62.9%	37.1%	35.3%	35.3%	28.8%
周辺層	235	61.7%	51.1%	53.6%	50.2%	40.0%	41.3%	35.3%	37.0%
一般層	1034	63.6%	59.7%	54.6%	51.8%	45.0%	44.6%	45.2%	42.9%

	回答数	ひとり親家庭等医療費助成制度	特別児童扶養手当	ホリデイ保育	障害児通所支援事業	短期入所生活援助（ショートステイ）	税法上の寡婦（寡夫）控除	未熟児養育医療制度	小児慢性特定疾病の医療費助成制度
困窮層	170	51.2%	38.2%	27.1%	14.1%	16.5%	15.3%	11.8%	10.6%
周辺層	235	40.4%	25.5%	26.0%	17.4%	12.8%	14.0%	11.9%	8.9%
一般層	1034	34.9%	27.5%	25.2%	22.8%	14.9%	14.8%	13.2%	14.1%

	回答数	母子父子寡婦福祉資金の貸付制度	助産施設の利用	夜間養護（トワイライトステイ）	いずれも知らない	無回答
困窮層	170	20.6%	5.3%	9.4%	1.2%	2.4%
周辺層	235	12.3%	8.9%	7.2%	0.0%	0.9%
一般層	1034	10.3%	10.4%	7.6%	0.1%	0.4%

(世帯類型別)

	回答数	児童手当	ふくふくこども館	出産育児一時金	児童館	放課後児童クラブ	乳幼児医療費助成制度・子ども医療費助成制度	病児保育所	就学援助
ふたり親世帯	1422	96.3%	87.7%	85.7%	79.5%	73.4%	73.0%	63.5%	58.9%
母子世帯	134	96.3%	75.4%	76.9%	66.4%	72.4%	73.1%	64.9%	79.1%
父子世帯	13	92.3%	38.5%	30.8%	61.5%	61.5%	23.1%	15.4%	69.2%
3世代世帯	195	92.8%	75.9%	80.0%	67.2%	65.6%	67.7%	51.8%	63.6%

	回答数	ブックスタート	下関市こども発達センター	子育て（家庭）支援センター	児童扶養手当	一時預かり	教育相談室・ヤングテレホン下関	妊産婦相談・育児相談	下関市ファミリーサポートセンター
ふたり親世帯	1422	63.9%	58.3%	54.1%	49.1%	43.5%	42.5%	44.2%	41.5%
母子世帯	134	38.8%	47.8%	41.8%	88.8%	45.5%	40.3%	34.3%	33.6%
父子世帯	13	7.7%	30.8%	23.1%	84.6%	15.4%	23.1%	7.7%	30.8%
3世代世帯	195	51.8%	46.7%	51.8%	50.8%	34.9%	38.5%	31.3%	32.3%

	回答数	ひとり親家庭等医療費助成制度	特別児童扶養手当	ホリデイ保育	障害児通所支援事業	短期入所生活援助（ショートステイ）	税法上の寡婦（寡夫）控除	未熟児養育医療制度	小児慢性特定疾病の医療費助成制度
ふたり親世帯	1422	32.3%	26.5%	24.1%	20.5%	13.4%	11.5%	12.3%	12.1%
母子世帯	134	83.6%	42.5%	29.9%	17.2%	22.4%	32.1%	17.9%	16.4%
父子世帯	13	38.5%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%
3世代世帯	195	37.4%	29.7%	24.6%	17.9%	12.3%	17.4%	12.8%	11.8%

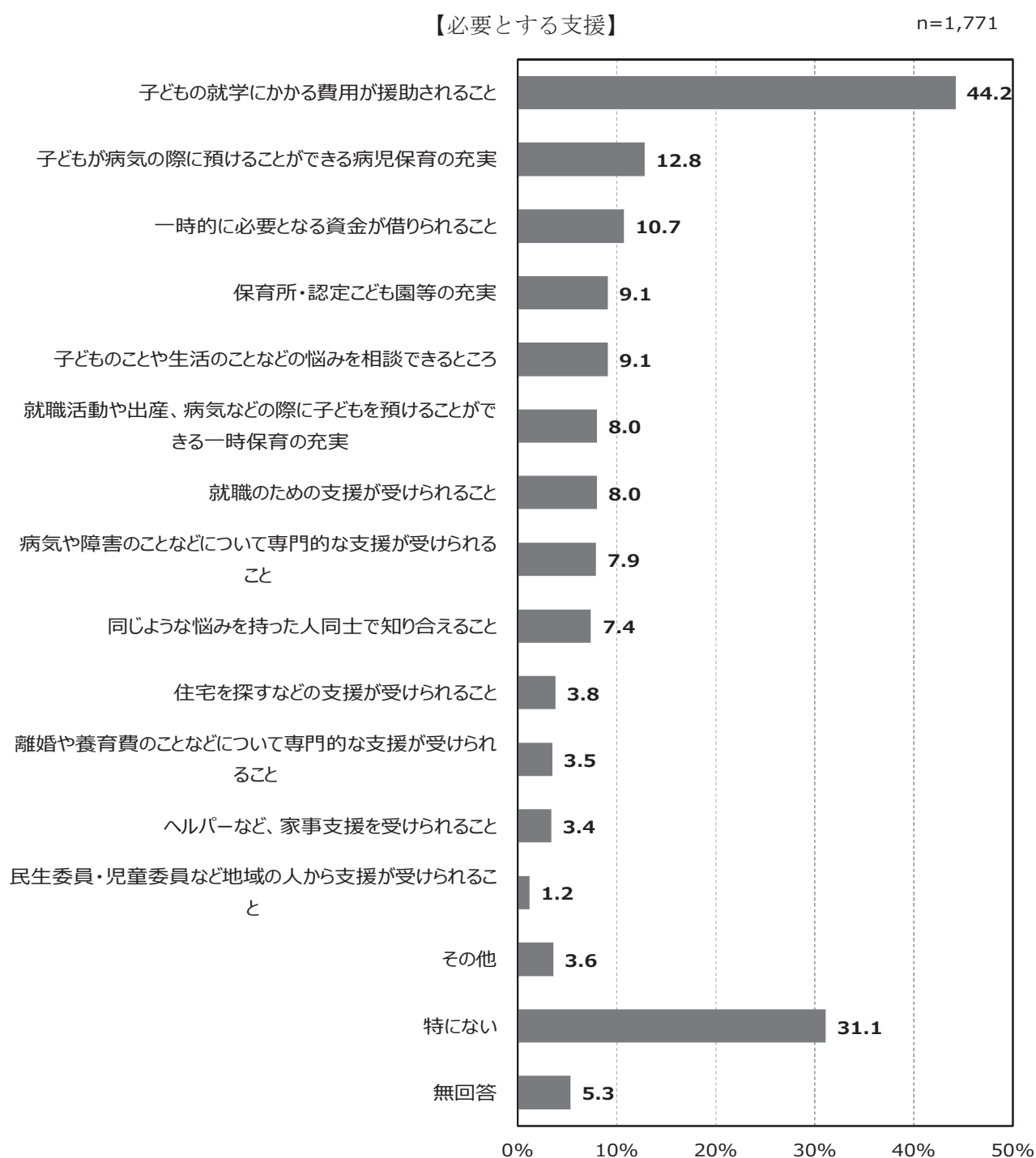
	回答数	母子父子寡婦福祉資金の貸付制度	助産施設の利用	夜間養護（トワイライトステイ）	いずれも知らない	無回答
ふたり親世帯	1422	8.7%	9.1%	6.8%	0.2%	0.8%
母子世帯	134	35.1%	9.0%	13.4%	0.0%	1.5%
父子世帯	13	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
3世代世帯	195	14.4%	6.7%	4.6%	0.0%	2.1%

問 28（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

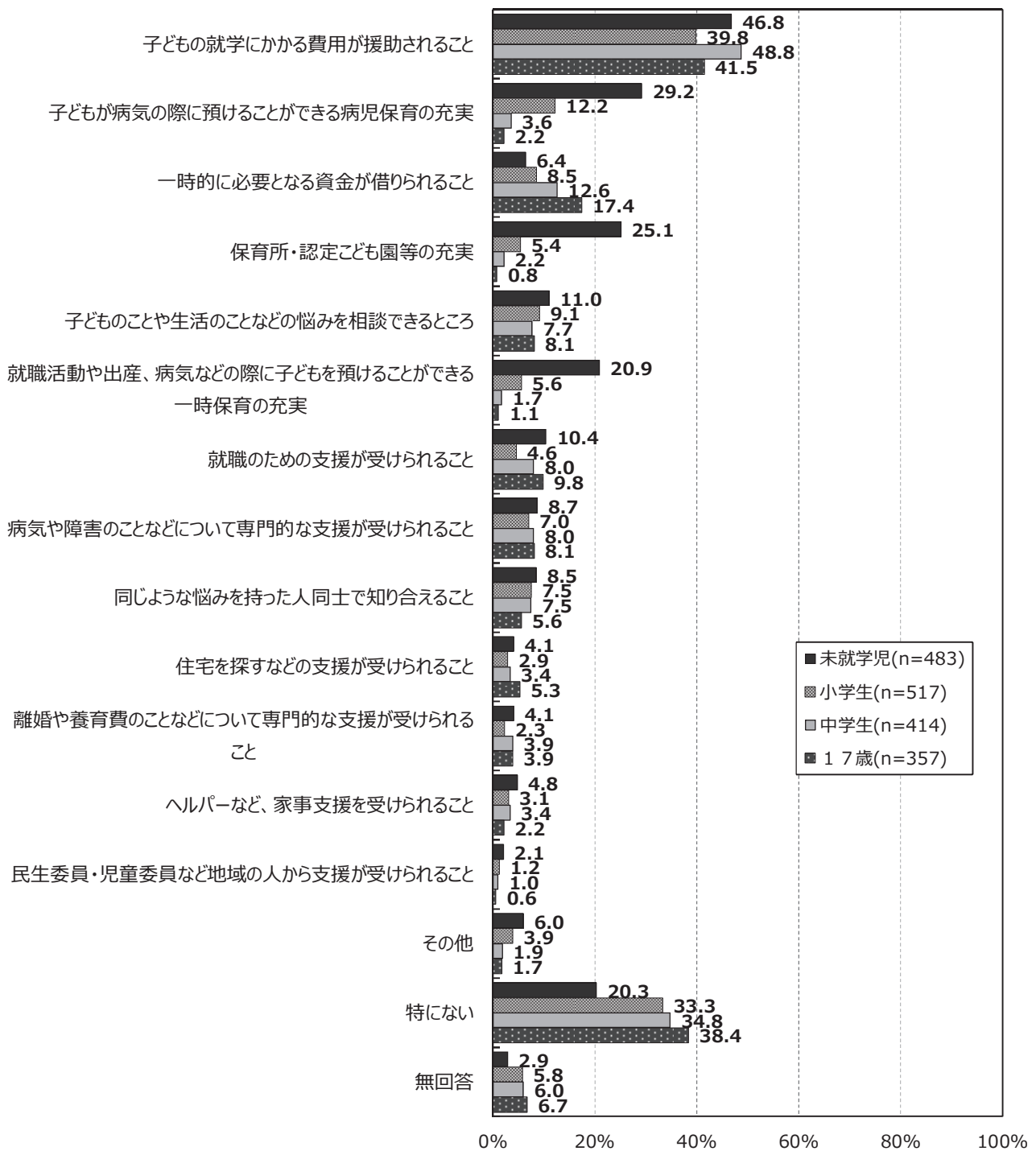
あなたが現在、必要としている支援はどのようなものですか。（複数回答可）

必要とする支援について、「子どもの就学にかかる費用が援助されること」と回答した割合は全体で44.2%と最も高く、次いで「子どもが病気の際に預けることができる病児保育の充実」12.8%、「一時的に必要な資金が借りられること」10.7%の順となっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層で「子どもの就学にかかる費用が援助されること」が77.1%、「一時的に必要な資金が借りられること」が32.9%で、一般層と比べ高くなっている。



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	子どもの就学にかかる費用が援助されること	子どもが病気の際に預けることができる病児保育の充実	一時的に必要となる資金が借りられること	保育所・認定こども園等の充実	子どものことや生活のことなどの悩みを相談できるところ	就職活動や出産、病気などの際に子どもを預けることができる一時保育の充実	就職のための支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
困窮層	170	77.1%	15.9%	32.9%	7.6%	15.3%	8.8%	18.8%	15.3%
周辺層	235	64.7%	13.2%	20.9%	11.9%	8.9%	9.4%	9.8%	11.1%
一般層	1034	36.1%	12.7%	6.0%	9.1%	8.2%	7.6%	5.9%	5.9%

	回答数	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	住宅を探すなどの支援が受けられること	離婚や養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	ヘルパーなど、家事支援を受けられること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	その他	特にない	無回答
困窮層	170	9.4%	11.8%	9.4%	2.4%	2.9%	6.5%	6.5%	2.9%
周辺層	235	8.5%	6.4%	5.5%	2.1%	1.7%	5.5%	17.0%	3.8%
一般層	1034	6.8%	1.9%	1.9%	3.7%	1.2%	3.1%	38.3%	3.6%

(世帯類型別)

	回答数	子どもの就学にかかる費用が援助されること	子どもが病気の際に預けることができる病児保育の充実	一時的に必要となる資金が借りられること	保育所・認定こども園等の充実	子どものことや生活のことなどの悩みを相談できるところ	就職活動や出産、病気などの際に子どもを預けることができる一時保育の充実	就職のための支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
ふたり親世帯	1422	43.2%	13.8%	9.1%	10.2%	9.2%	8.9%	8.1%	7.7%
母子世帯	134	59.7%	9.7%	22.4%	0.7%	7.5%	4.5%	10.4%	11.9%
父子世帯	13	61.5%	15.4%	30.8%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	15.4%
3世代世帯	195	39.5%	8.2%	12.3%	6.7%	8.2%	4.1%	6.7%	6.2%

	回答数	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	住宅を探すなどの支援が受けられること	離婚や養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	ヘルパーなど、家事支援を受けられること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	その他	特にない	無回答
ふたり親世帯	1422	7.1%	3.0%	1.8%	3.4%	1.3%	3.4%	31.4%	4.9%
母子世帯	134	6.0%	11.2%	19.4%	3.0%	0.0%	6.0%	19.4%	4.5%
父子世帯	13	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%
3世代世帯	195	8.7%	4.6%	3.6%	3.1%	1.0%	3.1%	39.5%	6.2%

問 29（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

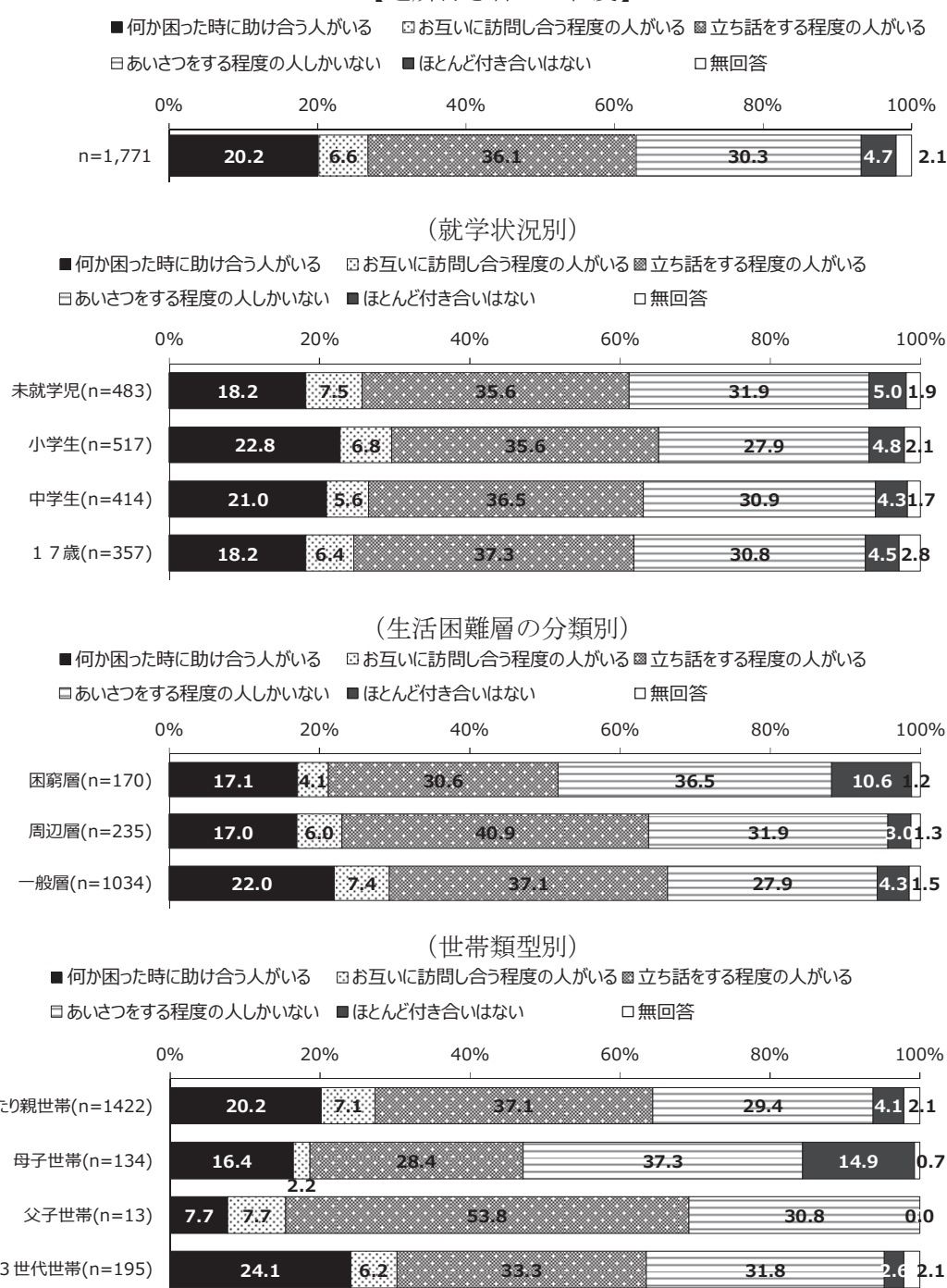
あなたは、近所の人とどの程度付き合いがありますか。

近所付き合いの程度について、「立ち話をする程度の人がいる」と回答した割合は全体で 36.1%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人しかいない」30.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「ほとんど付き合いはない」と回答した割合が困窮層で 10.6%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「ほとんど付き合いはない」と回答した割合が母子世帯で 14.9%と高くなっている。

【近所付き合いの程度】



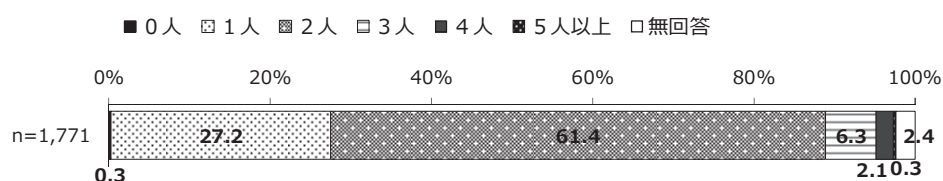
10 世帯の経済状況

問 30（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

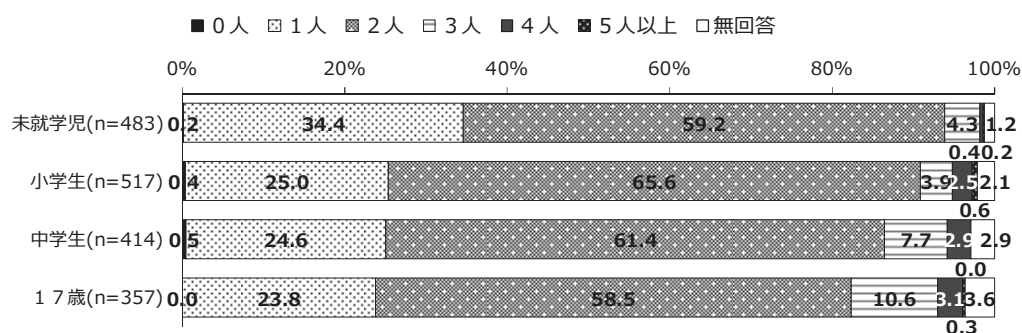
あなたの世帯で収入のある人の人数を教えてください。

収入のある人数について、「2人」と回答した割合は全体で61.4%となっている。
生活困難層の分類別にみると、「2人」と回答した割合は困窮層で45.9%、周辺層で57.4%、一般層で67.6%となっており、困難度が高いほど低くなっている。

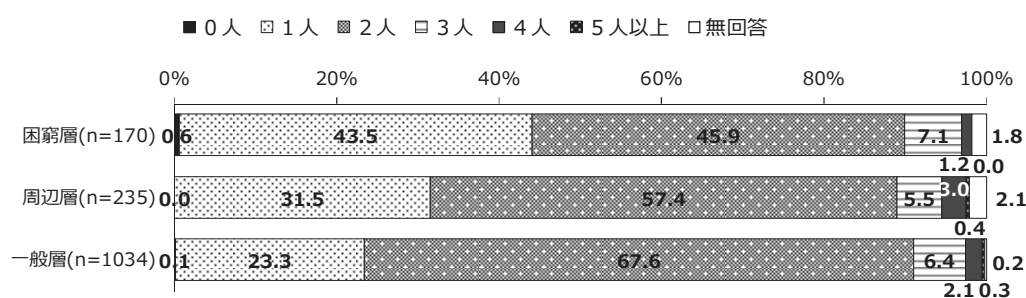
【収入のある人数】



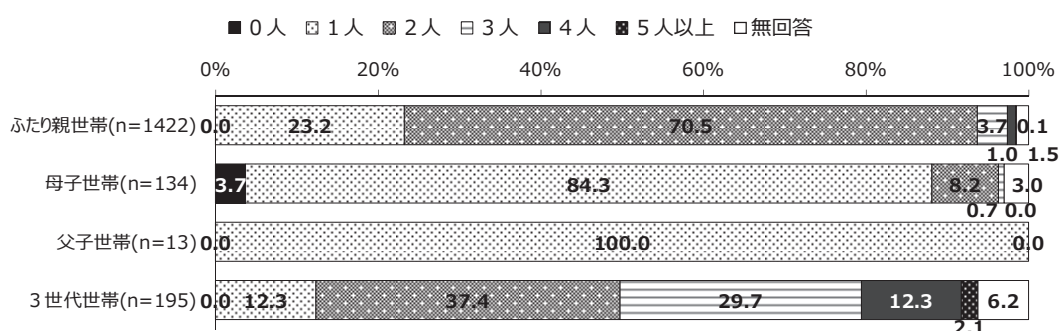
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



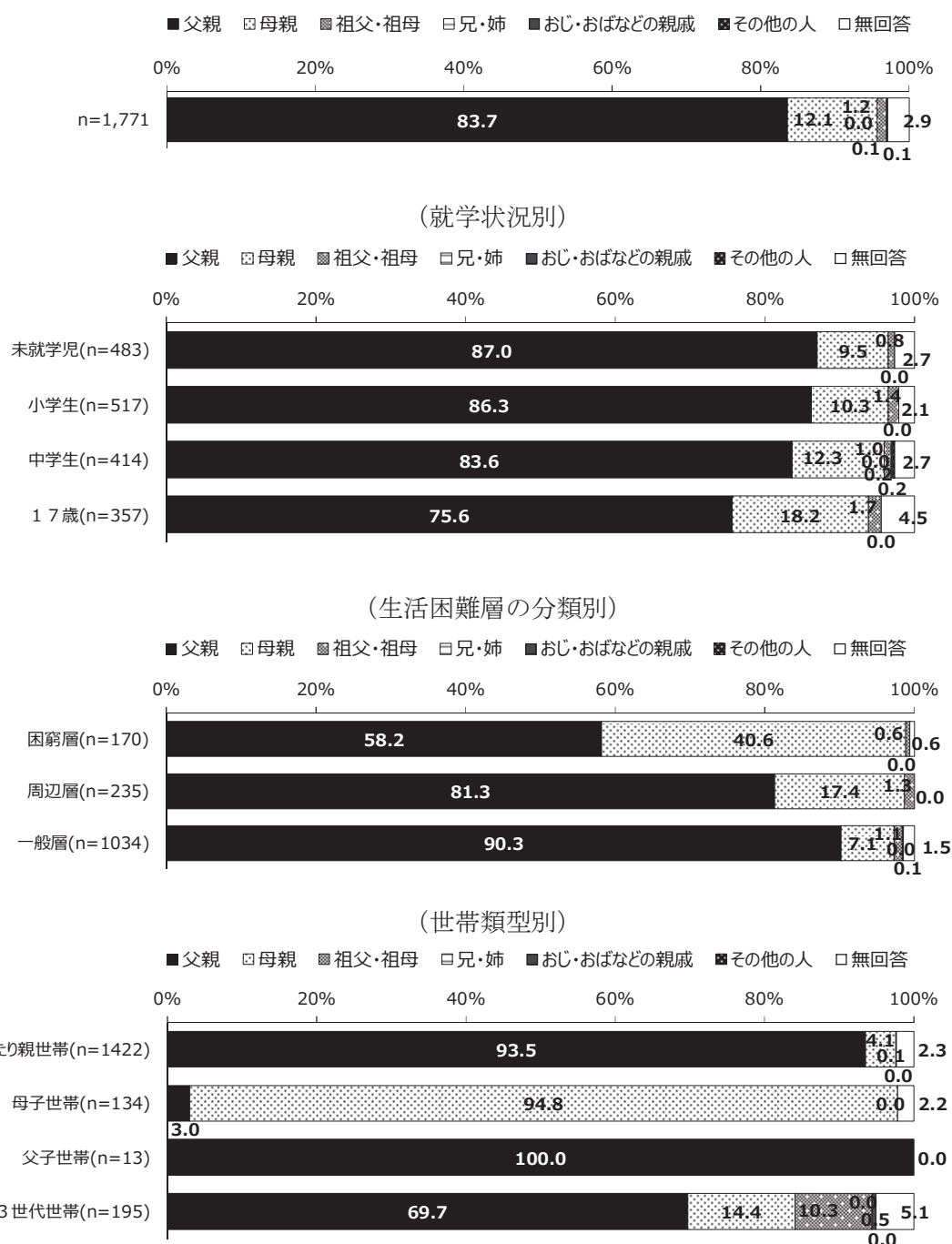
問 31（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたの世帯で主に家計を支えている方はどなたですか。お子さんからみた続柄で回答してください。

主に家計を支えている人について、「父親」と回答した割合は全体で 83.7%と最も高く、次いで「母親」12.1%となっている。

生活困難層の分類別にみると、困難度が高いほど「父親」と回答した割合が低くなっており、困窮層では 58.2%となっている。

【主に家計を支えている人】



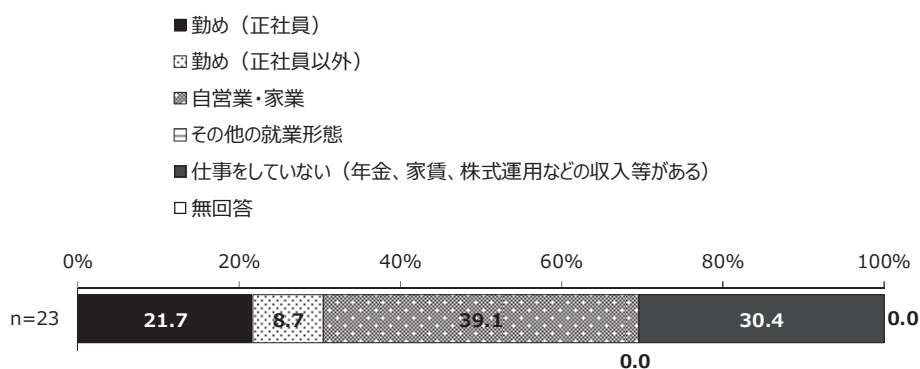
問 31-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

その方の就業状況について教えてください。

※回答者は、世帯で主に家計を支えている方が「祖父・祖母」、「兄・姉」、「おじ・おばなどの親戚」、「その他の人」と回答した保護者。

主に家計を支えている人の就業状況について、「自営業・家業」と回答した割合は全体で 39.1%と最も高く、次いで「仕事をしていない（年金、家賃、株式運用などの収入等がある）」30.4%となっている。

【主に家計を支えている人の就業状況】



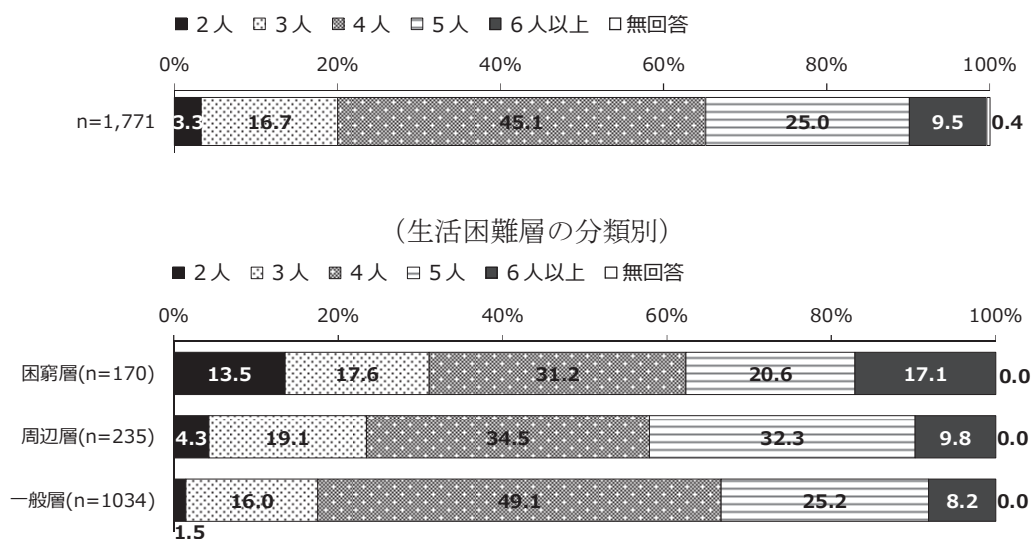
問 32（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

昨年1年間（平成28年1月1日～12月31日）のあなたの世帯員全員の人数と、その年間収入（税込）の合計額は、およそいくらでしたか。

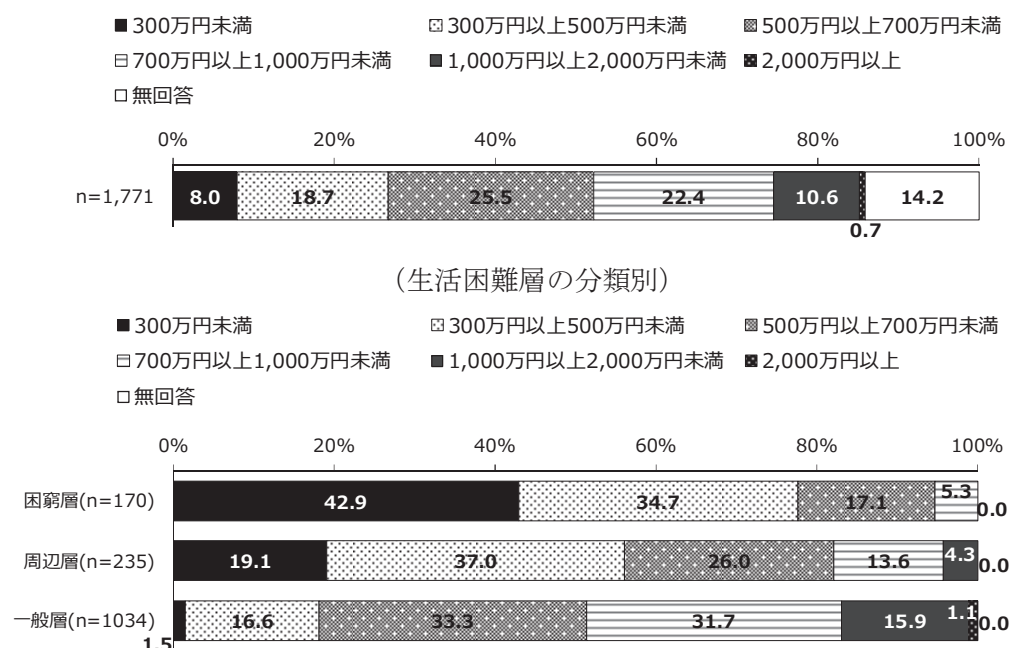
年間収入（税込）の合計額について、「500万円以上700万円未満」と回答した割合は全体で25.5%と最も高く、次いで「700万円以上1,000万円未満」「300万円以上500万円未満」となっている。

生活困難層の分類別にみると、「300万円未満」と回答した割合が困窮層で42.9%と高くなっている。

【昨年1年間（平成28年1月1日～12月31日）の世帯員数】



【昨年1年間（平成28年1月1日～12月31日）の年間収入（税込）の合計額】



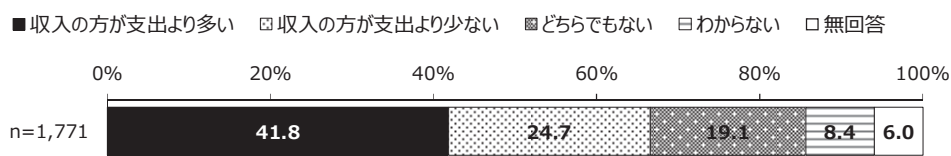
問 33（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたの家計の状況について教えてください。

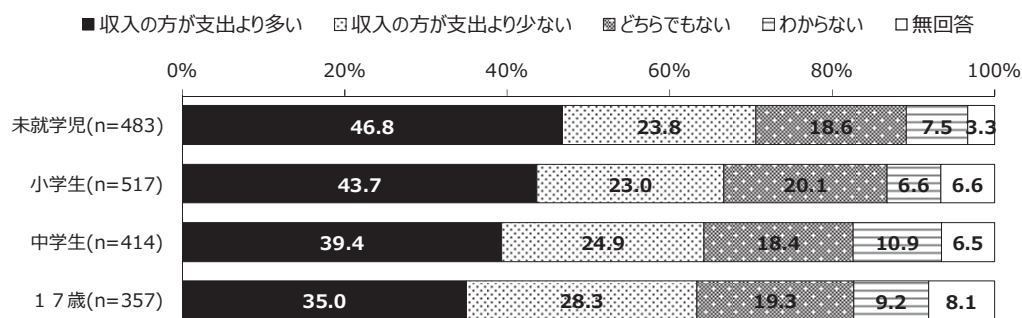
家計の状況について、「収入の方が支出より多い」と回答した割合は全体で 41.8%となっている。
就学状況別にみると、「収入の方が支出より多い」と回答した割合は子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。

生活困難層の分類別、世帯類型別にみると、「収入の方が支出より多い」と回答した割合が困窮層で 15.9%、母子家庭で 17.9%と低くなっている。

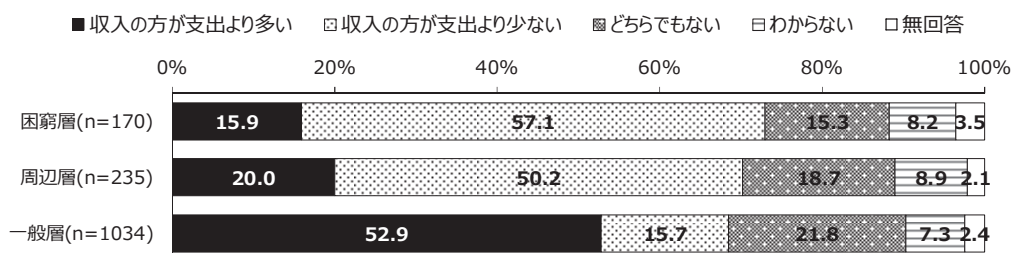
【家計の状況】



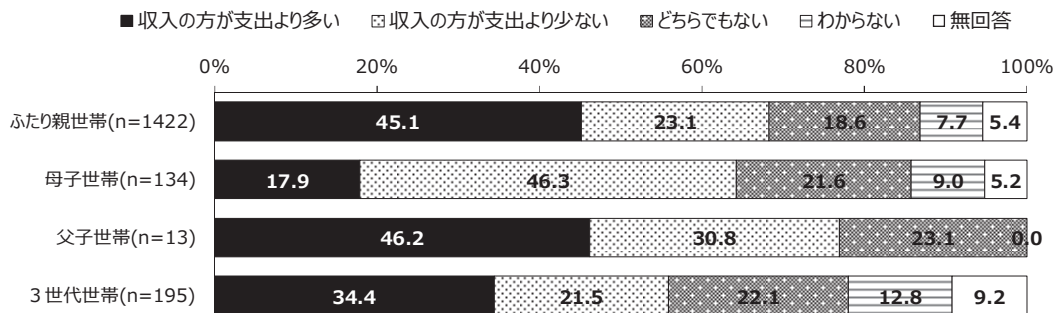
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



問 33-1（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

どのような費用が最も負担になっていますか。

※回答者は、家計の状況が「収入の方が支出より少ない」と回答した保護者。

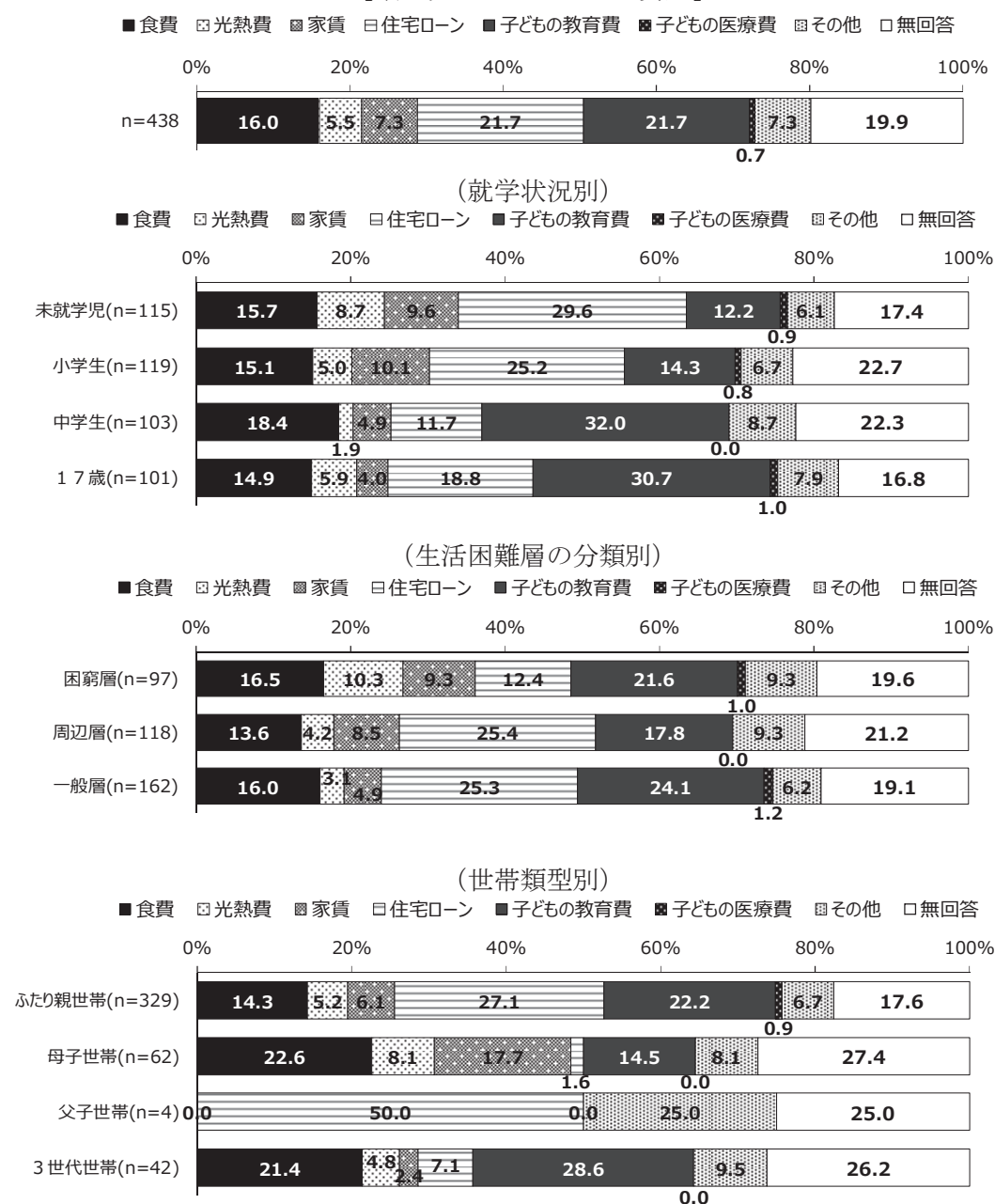
収入の方が支出より少ない世帯での、最も負担になっている費用について、「住宅ローン」、「子どもの教育費」と回答した割合は全体でそれぞれ21.7%と最も高く、次いで「食費」16.0%となっている。

就学状況別にみると、未就学児、小学生では「住宅ローン」と回答する割合が最も高くなっているが、中学生、17歳になると「子どもの教育費」の割合が高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「子どもの教育費」と回答した割合が最も高くなっている。

世帯類型別にみると、「家賃」と回答した割合が母子世帯で高くなっている。

【最も負担になっている費用】



問 33-2（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

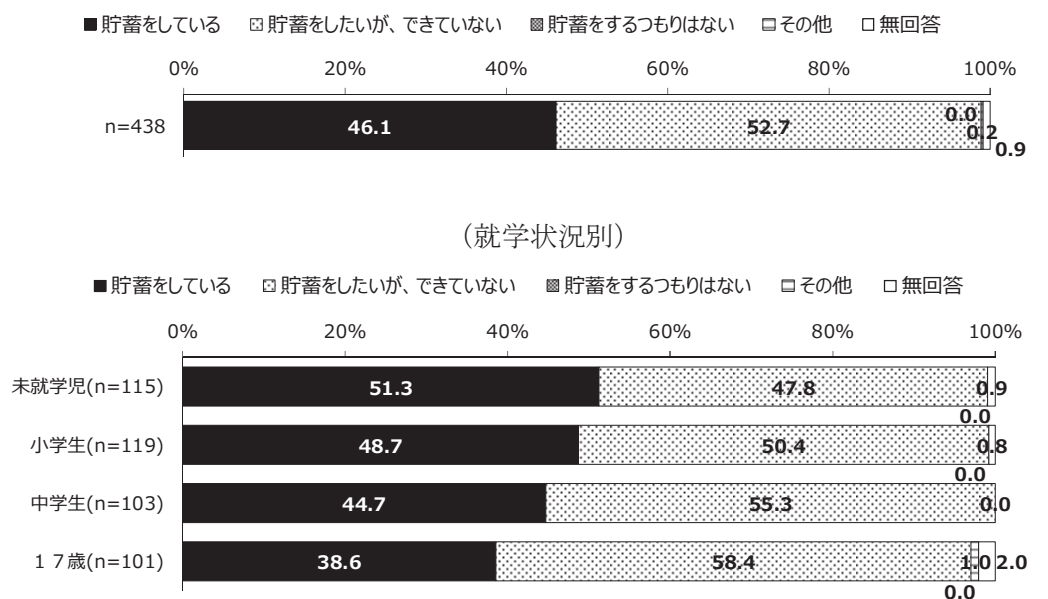
お子さんの将来のために貯蓄（学資保険等を含む）をしていますか。

※回答者は、家計の状況が「収入の方が支出より少ない」と回答した保護者。

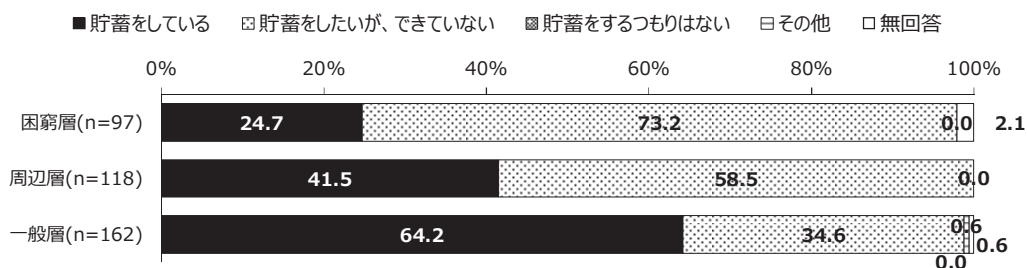
収入の方が支出より少ない世帯での、子どもの将来のための貯蓄の有無について、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合は全体の半数を超えている。

生活困難層の分類別にみると、困難度が高いほど「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており、困窮層では73.2%となっている。

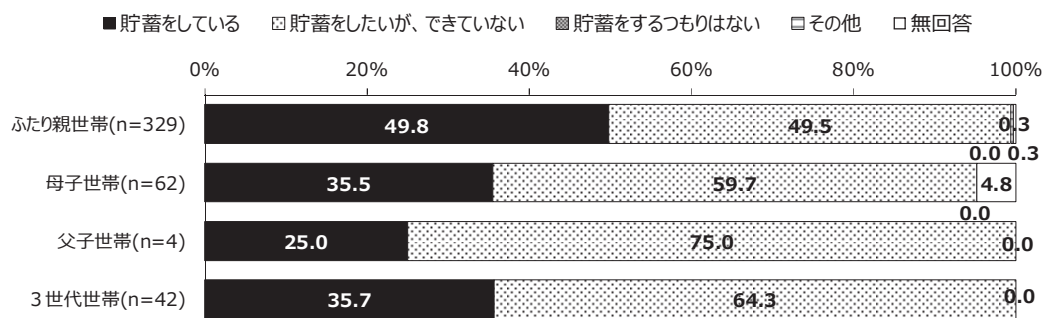
【子どもの将来のための貯蓄の有無】



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



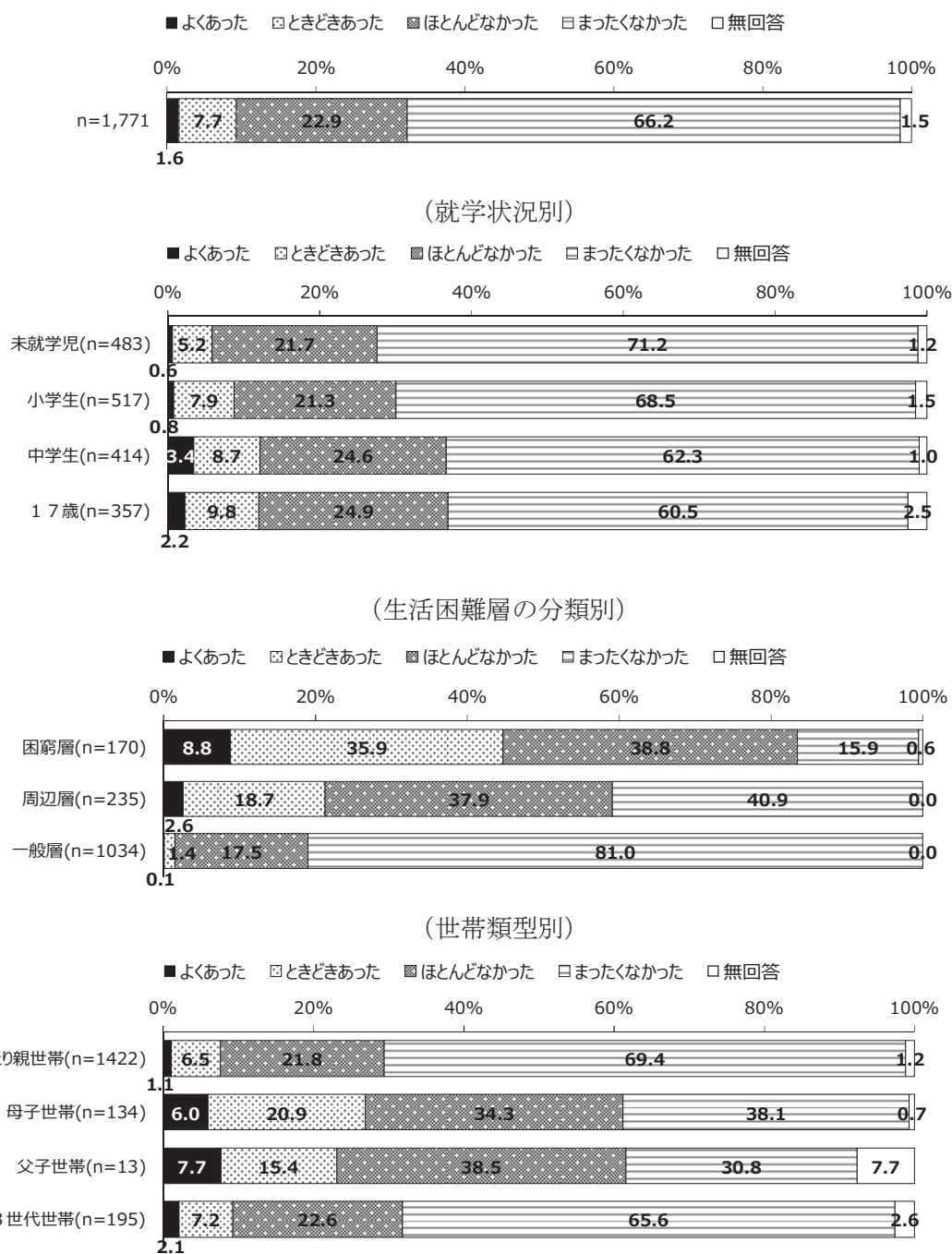
問 34（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、お子さんが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。

経済的理由で子どもの文具や教材を買えなかった経験の有無について、『あった』（「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた割合）と回答した割合は全体で9.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あった』と回答した割合は困窮層で44.7%と高くなっている。

【経済的理由で子どもの文具や教材を買えなかった経験の有無】



問 35（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

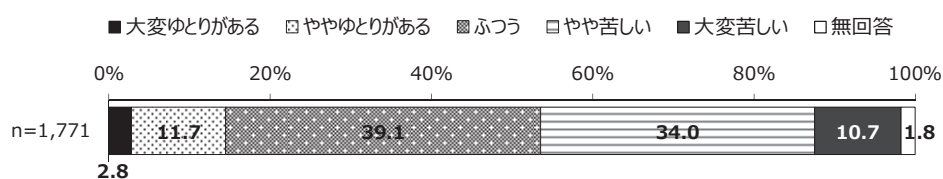
現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

現在の暮らしの状況について、『苦しい』（「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合）と回答した割合が全体で44.7%となっている。

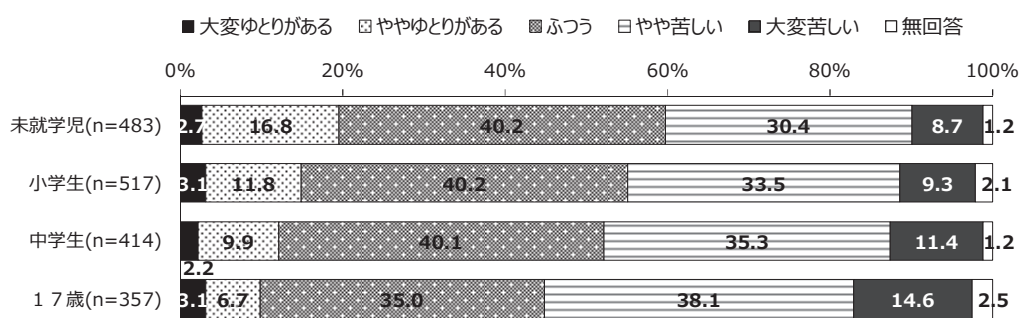
生活困難層の分類別にみると、『苦しい』と回答した割合は困窮層で95.9%、周辺層で79.2%と困難度が高いほど高くなっている。

世帯類型別にみると、『苦しい』と回答した割合が母子世帯で78.3%と高くなっている。

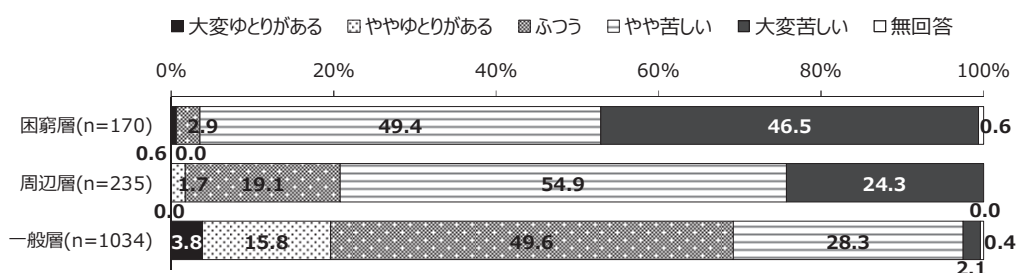
【現在の暮らしの状況】



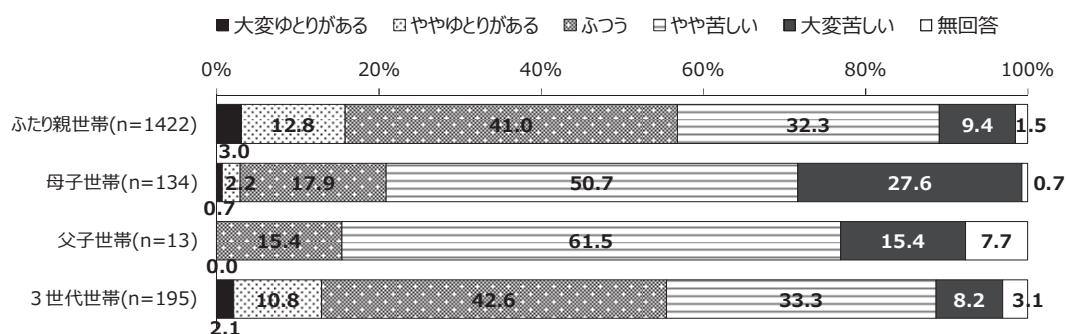
（就学状況別）



（生活困難層の分類別）



（世帯類型別）



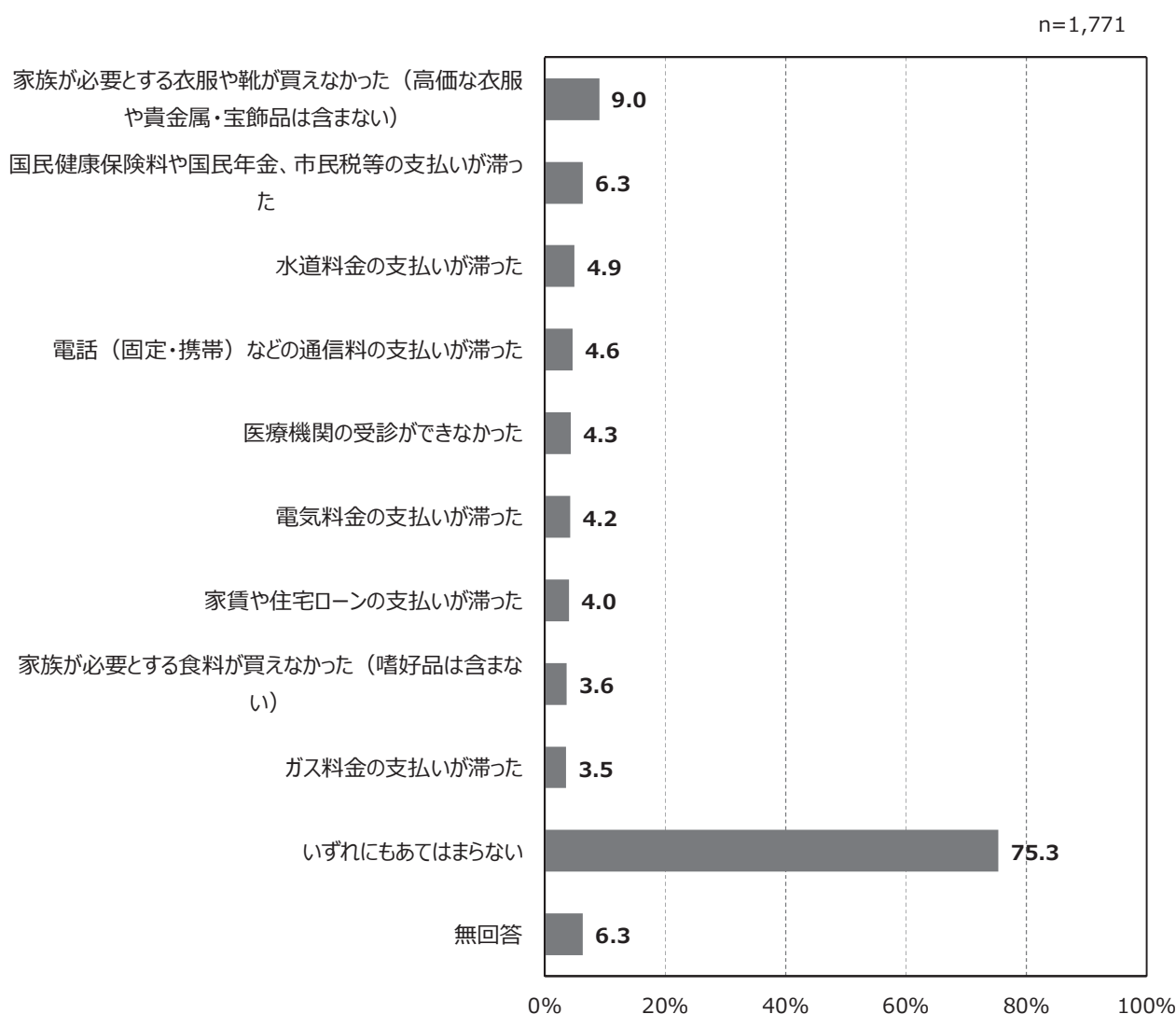
問 36（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。（複数回答可）

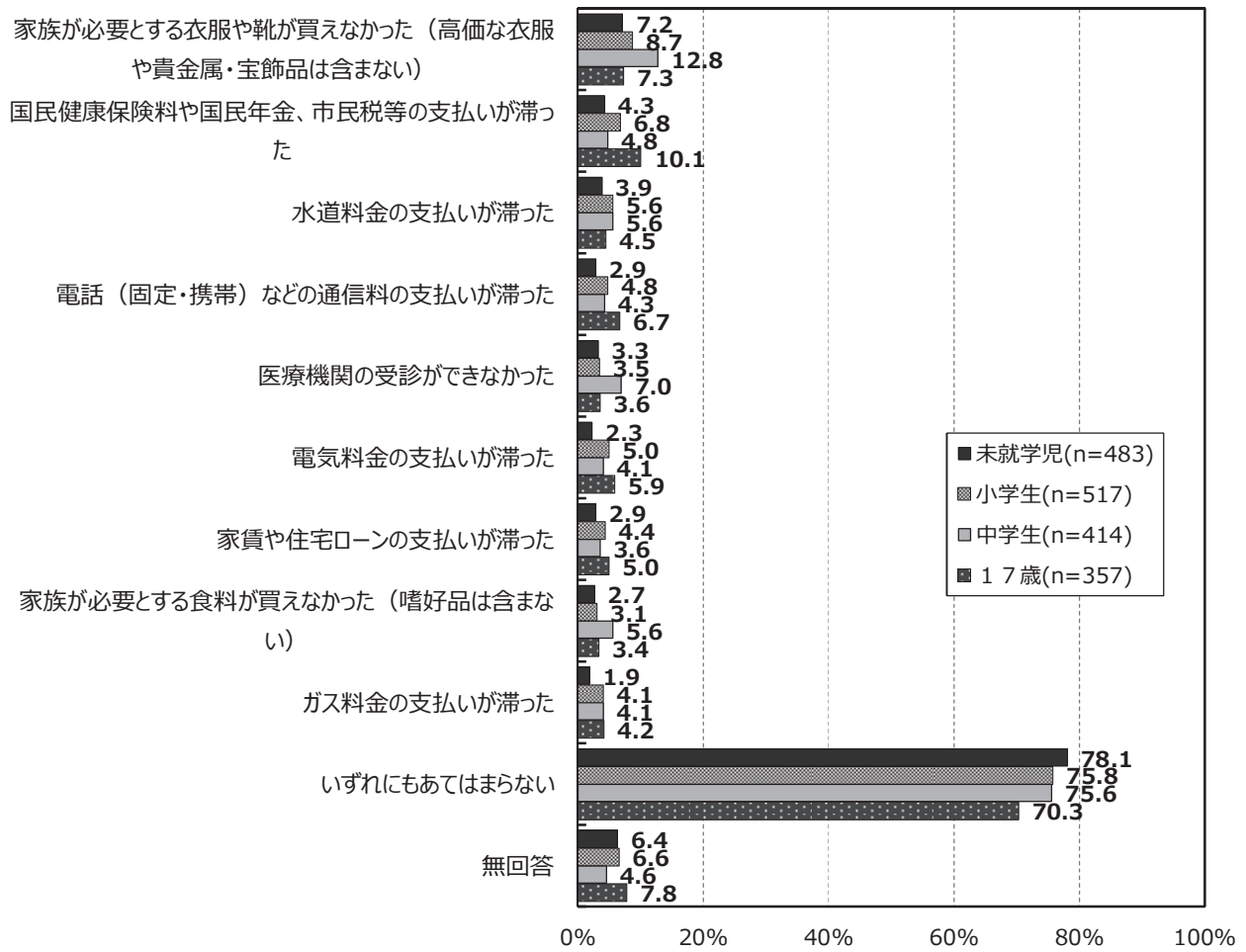
経済的な理由による経験について、「家族が必要とする衣服や靴が買えなかった（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含まない）」と回答した割合は全体で9.0%となっている。「いずれにもあてはまらない」は75.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、全ての項目において、困難度が高いほど回答した割合が高くなっている。

【経済的な理由による経験】



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	家族が必要とする衣服や靴が買えなかった（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含まない）	国民健康保険料や国民年金、市民税等の支払いが滞った	水道料金の支払いが滞った	電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った	医療機関の受診ができなかった	電気料金の支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った
困窮層	170	50.6%	30.0%	28.8%	25.3%	27.6%	23.5%	20.0%
周辺層	235	23.4%	19.6%	12.3%	9.4%	9.8%	11.1%	11.1%
一般層	1034	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	回答数	家族が必要とする食料が買えなかった（嗜好品は含まない）	ガス料金の支払いが滞った	いずれにもあてはまらない	無回答
困窮層	170	24.7%	22.4%	11.2%	0.0%
周辺層	235	6.8%	7.7%	42.6%	0.0%
一般層	1034	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(世帯類型別)

	回答数	家族が必要とする衣服や靴が買えなかった（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含まない）	国民健康保険料や国民年金、市民税等の支払いが滞った	水道料金の支払いが滞った	電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った	医療機関の受診ができなかった	電気料金の支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った
ふたり親世帯	1422	8.2%	5.1%	4.1%	3.4%	4.4%	3.6%	3.1%
母子世帯	134	20.9%	17.9%	17.2%	16.4%	6.0%	14.9%	12.7%
父子世帯	13	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%
3世代世帯	195	6.2%	7.7%	2.1%	5.1%	2.1%	2.1%	3.1%

	回答数	家族が必要とする食料が買えなかった（嗜好品は含まない）	ガス料金の支払いが滞った	いずれにもあてはまらない	無回答
ふたり親世帯	1422	2.9%	2.5%	78.0%	6.0%
母子世帯	134	11.9%	16.4%	47.0%	4.5%
父子世帯	13	7.7%	0.0%	46.2%	15.4%
3世代世帯	195	3.1%	2.1%	77.4%	8.2%

問 37（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

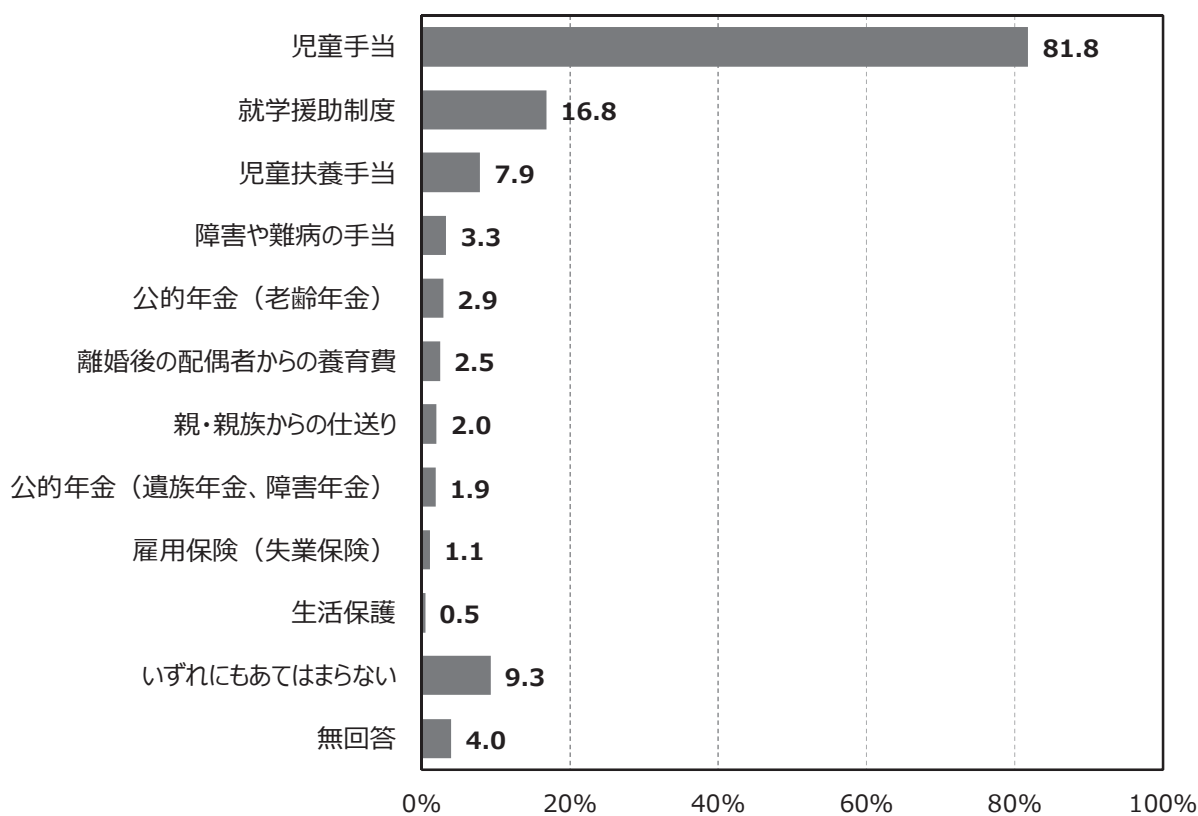
あなたの世帯では、昨年１年間（平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に、以下の手当等を受給していましたか。（複数回答可）

受給している手当について、「児童手当」と回答した割合は全体で 81.8%と最も高く、次いで「就学援助制度」16.8%となっている。

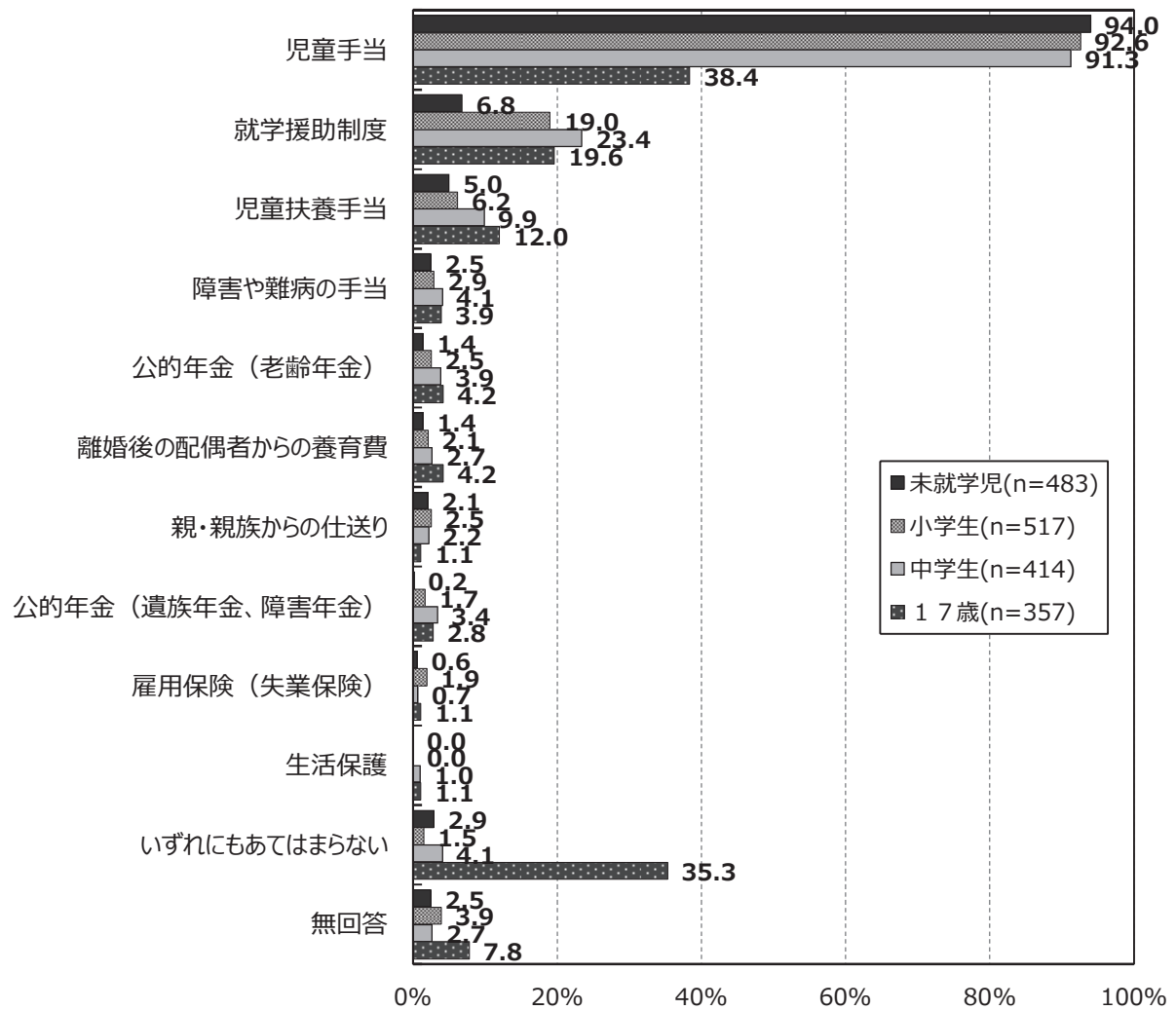
生活困難層の分類別にみると、「児童手当」はすべての分類で差はないものの、「就学援助制度」は困窮層で 50.0%と高くなっている。

【受給している手当】

n=1,771



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	児童手当	就学援助制度	児童扶養手当	障害や難病の 手当	公的年金 (老齢年金)	離婚後の配 偶者からの 養育費	親・親族か らの仕送り	公的年金 (遺族年金、 障害年金)
困窮層	170	80.0%	50.0%	31.2%	4.1%	0.0%	6.5%	9.4%	1.8%
周辺層	235	82.6%	31.5%	12.8%	3.4%	1.7%	6.0%	3.8%	3.0%
一般層	1034	84.1%	8.6%	2.7%	3.3%	3.1%	1.2%	0.7%	1.9%

	回答数	雇用保険 (失業保 険)	生活保護	いずれにも あてはまら ない	無回答
困窮層	170	2.9%	2.9%	4.7%	1.2%
周辺層	235	2.6%	0.4%	8.5%	1.7%
一般層	1034	0.5%	0.0%	11.1%	1.9%

(世帯類型別)

	回答数	児童手当	就学援助制度	児童扶養手当	障害や難病の 手当	公的年金 (老齢年金)	離婚後の配 偶者からの 養育費	親・親族か らの仕送り	公的年金 (遺族年金、 障害年金)
ふたり親世帯	1422	83.7%	13.3%	1.1%	2.9%	0.5%	0.1%	1.8%	0.8%
母子世帯	134	70.1%	53.7%	69.4%	4.5%	0.0%	20.1%	5.2%	6.0%
父子世帯	13	69.2%	30.8%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%
3世代世帯	195	78.5%	16.4%	13.3%	5.6%	22.1%	7.2%	1.5%	7.2%

	回答数	雇用保険 (失業保 険)	生活保護	いずれにも あてはまら ない	無回答
ふたり親世帯	1422	0.9%	0.1%	10.3%	3.8%
母子世帯	134	3.0%	4.5%	4.5%	0.7%
父子世帯	13	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
3世代世帯	195	1.5%	0.0%	6.2%	6.2%

問 38（就学前児童保護者・小中学生保護者・17歳の保護者）

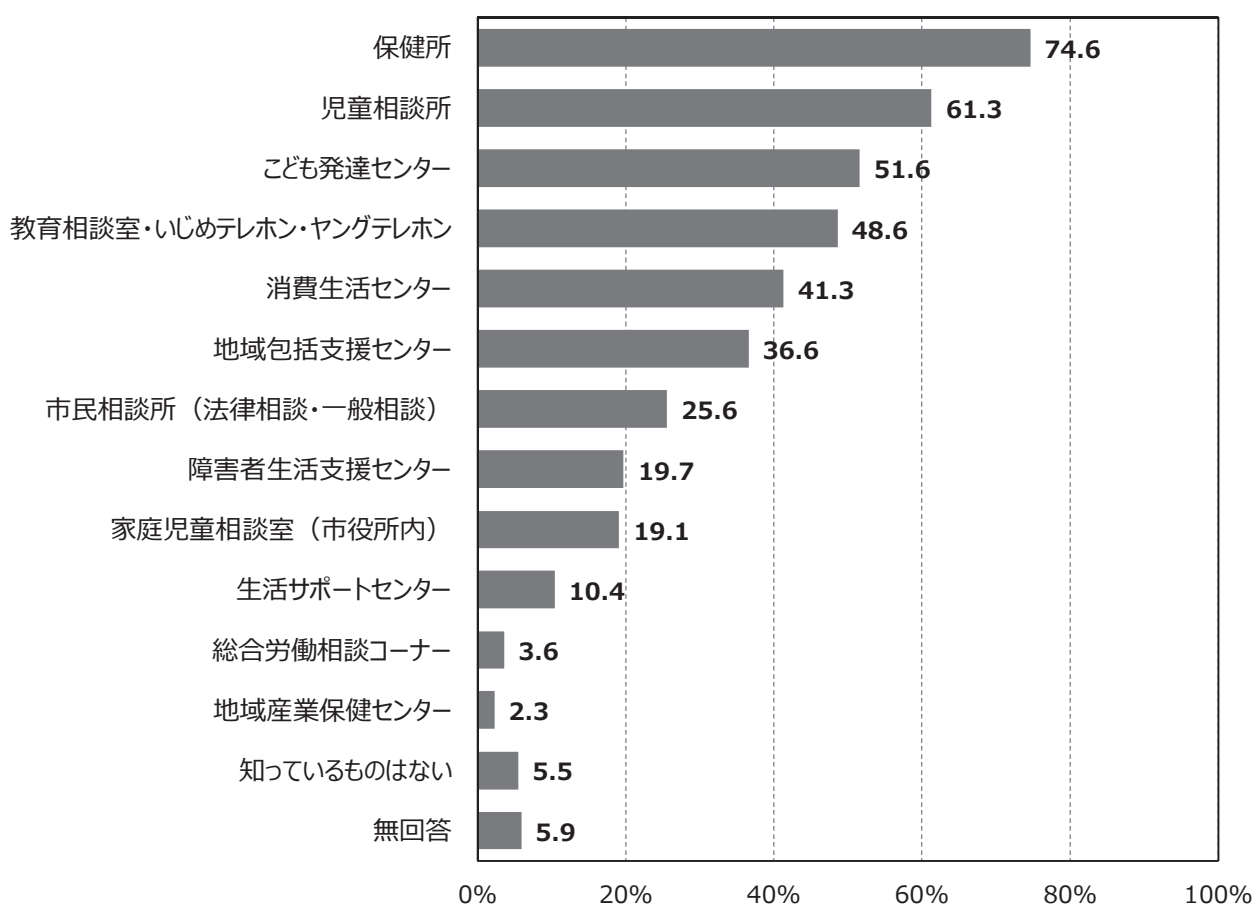
あなたは次の公的相談窓口を知っていますか。（複数回答可）

公的相談窓口の認知度について、「保健所」と回答した割合は全体で 74.6%と最も高く、次いで「児童相談所」61.3%となっている。

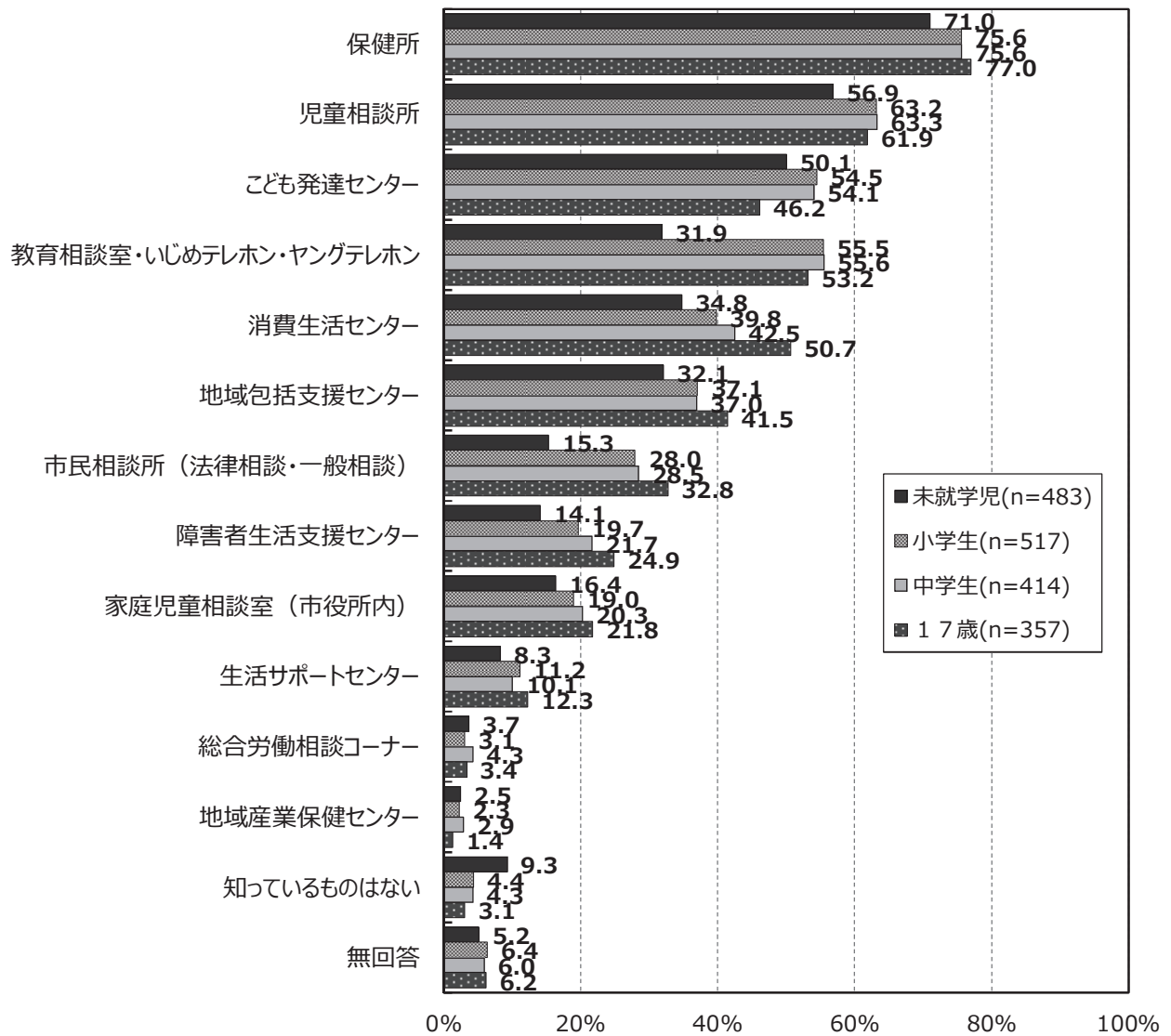
生活困難層の分類別にみると、困窮層では「保健所」58.8%、「児童相談所」52.4%と低くなっており、また、困難度が高いほど「知っているものはない」と回答した割合が高くなっている。

【公的相談窓口の認知度】

n=1,771



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	保健所	児童相談所	こども発達センター	教育相談室・いじめテレホン・ヤングテレホン	消費生活センター	地域包括支援センター	市民相談所（法律相談・一般相談）	障害者生活支援センター
困窮層	170	58.8%	52.4%	43.5%	38.8%	38.2%	26.5%	29.4%	20.0%
周辺層	235	73.2%	58.3%	45.1%	47.2%	37.4%	35.3%	21.3%	18.7%
一般層	1034	79.4%	64.4%	55.8%	52.4%	44.2%	40.2%	27.7%	20.7%

	回答数	家庭児童相談室（市役所内）	生活サポートセンター	総合労働相談コーナー	地域産業保健センター	知っているものはない	無回答
困窮層	170	18.2%	13.5%	3.5%	1.8%	11.2%	7.6%
周辺層	235	19.1%	7.7%	3.0%	2.1%	6.0%	4.7%
一般層	1034	19.6%	11.0%	3.8%	2.5%	5.4%	3.3%

(世帯類型別)

	回答数	保健所	児童相談所	こども発達センター	教育相談室・いじめテレホン・ヤングテレホン	消費生活センター	地域包括支援センター	市民相談所（法律相談・一般相談）	障害者生活支援センター
ふたり親世帯	1422	77.0%	62.0%	53.4%	49.7%	42.1%	36.6%	24.5%	19.5%
母子世帯	134	55.2%	55.2%	48.5%	46.3%	41.8%	31.3%	33.6%	21.6%
父子世帯	13	53.8%	69.2%	30.8%	30.8%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%
3世代世帯	195	73.8%	61.0%	43.1%	44.1%	37.4%	42.6%	29.2%	21.5%

	回答数	家庭児童相談室（市役所内）	生活サポートセンター	総合労働相談コーナー	地域産業保健センター	知っているものはない	無回答
ふたり親世帯	1422	18.3%	10.1%	3.4%	2.3%	5.1%	5.0%
母子世帯	134	24.6%	14.9%	4.5%	1.5%	8.2%	9.7%
父子世帯	13	46.2%	23.1%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%
3世代世帯	195	20.5%	8.7%	4.1%	3.6%	6.7%	8.2%